

新潟市 令和8年度 予算案の概要

令和8年2月



田園の恵みを感じながら
心豊かに暮らせる
日本海拠点都市

目次

令和8年度予算案の基本方針	1 頁
1 令和8年度当初予算の姿	2 頁
2 一般会計(歳入・歳出)予算の概要	6 頁
3 財政基盤の強化に向けた不断の見直し	8 頁
4 令和8年度における主な取組	9 頁
最優先課題	11 頁
能登半島地震からの復旧・復興	12 頁
物価高への対応	14 頁
令和8年度予算編成における3つの力点	16 頁
力点1 活力あふれるまち	18 頁
力点2 若者や子育て世代に選ばれるまち	20 頁
力点3 持続可能なまち	22 頁
新潟市総合計画2030 10の重点戦略の推進	25 頁
重点戦略 1 都市機能の充実と拠点性の向上	28 頁
重点戦略 2 地域企業の経営力強化、新たなビジネスや成長産業の創出・育成	33 頁
重点戦略 3 豊富な田園資源を活かした儲かる農業の実現	36 頁
重点戦略 4 魅力と拠点性を活かした交流人口の拡大	38 頁
重点戦略 5 新潟暮らしの魅力発信と多様な支援による移住・定住の促進	40 頁
重点戦略 6 誰もが個性と能力を発揮しながら、心豊かに暮らせる社会の実現	42 頁
重点戦略 7 子どもと子育てにやさしいまちづくりと新潟の将来を担う人材の育成	47 頁
重点戦略 8 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現	53 頁
重点戦略 9 脱炭素・循環型社会の実現	55 頁
重点戦略10 安心・安全で災害に強いまちづくり	57 頁
活力と魅力あふれる区づくりに向けた取組の強化	61 頁
北区 潟と大河と日本海、水の恵みに生まれ、人と人がつながり、心豊かに支え合い、発展するまち	64 頁
東区 産業と多様な魅力が調和し、心豊かに暮らせるまち	66 頁
中央区 にぎわう都心、豊かな自然、みなとまち文化が織りなす活気あふれる拠点のまち	68 頁
江南区 緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち	70 頁
秋葉区 里山と水に囲まれて 花と緑あふれる 笑顔咲きそろうまち	72 頁
南区 風と大地の恵みに新たな希望が芽吹く、郷土愛あふれるまち～みんなでつくる暮らし続けたい南区～	74 頁
西区 快適な暮らしと、豊かな自然や食が調和する、住み心地のよいまち	76 頁
西蒲区 豊かな自然、歴史と文化のかおりに満ちあふれ、人と人があたたかくつながるまち	78 頁
資料編	80 頁
1 令和8年度会計別予算	81 頁
2 令和8年度一般会計歳入・歳出予算内訳	82 頁
3 目的税および地方消費税交付金の使途	87 頁
4 市民一人当たりの予算の内訳など	89 頁
5 歳出の詳細について	90 頁
6 他都市との財政状況の比較(令和6年度普通会計決算)	92 頁

※精査の結果、数値が変更となる場合があります。

令和8年度予算案の基本方針

能登半島地震が発生し2年が経過したが、道路などの公共インフラの復旧をはじめ被災者の生活や住宅の再建はいまだ途上にあります。インフラの復旧を加速させるとともに被災者に寄り添った支援を行います。街区単位の液状化対策は対象地域の方々の理解が不可欠であり、引き続き丁寧な説明を行い次のステップとなる意向確認へ進めるよう取り組みます。

また、長引く物価高騰で多くの市民・事業者が厳しい状況に置かれています。市民生活を下支えするほか、事業者に対しては、賃上げ環境の整備をはじめとする安定的な事業継続を支援します。

これら「能登半島地震からの復旧・復興」と「物価高への対応」を最優先課題とし迅速に対応するため、令和7年度補正予算と令和8年度当初予算を一体予算とし、事業の早期着手と切れ目ない事業実施を図るとともに、「活力あふれるまち」「若者や子育て世代に選ばれるまち」「持続可能なまち」の3つを力点とした予算編成を行いました。

1 「活力あふれるまち」

全国的に本格的な人口減少社会を迎える中、「活力あふれるまち」として都市の活力を生み出し持続的に発展していくためには、地域の外から消費や投資を呼び込むことで地域経済を豊かにする必要があります。

拠点性の向上に取り組みながら、地域経済の活力を創出するとともに、大規模国際会議などを追い風に観光需要を取り込む体制を整え、交流人口の拡大を新潟経済の活性化につなげていきます。

2 「若者や子育て世代に選ばれるまち」

東京一極集中による若者の転出超過や、出生数の減少による人口減少の流れが続いています。こうした中で、若者や女性が夢や希望を持てる「若者や子育て世代に選ばれるまち」となるためには、人々を惹きつける都市としての魅力を高めるほか、希望する人が安心して子どもを産み育てられる環境を整える必要があります。

そのために、若者や女性が挑戦できる環境づくりを進め、結婚から子育てまでの切れ目ない支援を一層強化するとともに、社会全体で将来を担う子どもたちの育成に取り組んでいきます。

3 「持続可能なまち」

将来にわたって心豊かに暮らせる「持続可能なまち」となるためには、まず安心・安全なまちづくりの土台をより強固なものとする必要があります。

また、市民生活に密接する医療や介護、保育をはじめ、幅広い分野の労働力不足に対応するため、人材の確保と生産性向上に取り組みます。

さらに、市民の生活にとって重要な公共交通の確保に努めるなど、市民とともに持続可能な地域づくりを進めていきます。

以上3つを力点としながら、新潟市総合計画2030の重点戦略の推進や市内8つの区が持つ特色や魅力にさらに磨きをかけることで「田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる日本海拠点都市」新潟市の実現に向け着実に前進するための予算案としました。

1 令和8年度当初予算の姿

当初予算編成のポイント

「令和8年度一般会計当初予算」

◎ 当初予算総額 4,425億円 (4年連続過去最大：前年度比 +158億円 +3.7%)

○ 能登半島地震からの復旧・復興 約52億円

・ 街区単位の液状化対策 4.4億円 (前年度比 +3.4億円)

○ 物価高への対応

・ 給食費の保護者負担の軽減 27.5億円 (前年度比 +25.9億円)

○ 扶助費 前年度比 +29億円

・ 各種福祉サービスに係る物価や賃金上昇への対応等

1 活力あふれるまち

・ 国際会議等の開催 新規4事業 1.2億円 (新規)

・ 世界湿地都市ネットワーク市長会議関連 ・ ASPAC新潟大会関連 など

・ 白山エリアのスポーツ施設再編 0.2億円 (新規)

2 若者や子育て世代に選ばれるまち

・ 将来を担うこどもたちの育成

・ 中学生のための地域クラブ活動支援 0.9億円 (前年度比 +0.4億円)

・ 出張児童館の拡充 0.2億円 (前年度比 +0.1億円)

3 持続可能なまち

・ 安心・安全で災害に強いまちづくり 新規4事業 0.8億円 (新規)

・ 感震ブレーカー設置促進 ・ 災害リスク読み上げツールの導入 など

その他

・ 普通建設事業費 約443億円 (前年度比 △3.6億円 △0.8%)

・ 新潟駅万代広場の整備 (令和9年春全面供用予定)

・ 鳥屋野潟南部地区の道路整備 ・ 放課後児童クラブの環境改善

・ 市債残高 (臨時財政対策債除く) 前年度比 +74億円 (うち、地震分 約33億円)

・ 9年連続の収支均衡予算 主要3基金残高 92.7億円

令和8年度当初予算の概要

【一般会計・特別会計】

(単位：百万円)

	令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	増 ▲減	伸率%	備 考
一般会計規模	442,500	426,700	15,800	3.7 %	伸率 ⑥+5.2⇒⑦+2.0⇒⑧+3.7 地財 +1.7 +3.6 +5.5 人件費+8,911 物件費+1,123 維持補修費▲352 扶助費+2,922 補助費等▲585 公債費+417 出資金貸付金▲604 繰出金+105 積立金+2,602 投資的経費+1,261
特別会計規模	255,932	252,176	3,756	1.5 %	伸率 ⑥▲0.7⇒⑦+0.0⇒⑧+1.5
(以下、主な特別会計)					
国民健康保険事業会計	68,793	69,448	▲ 655	▲ 0.9 %	伸率 ⑥+0.9⇒⑦▲2.7⇒⑧▲0.9
介護保険事業会計	88,922	87,307	1,615	1.8 %	伸率 ⑥▲3.0⇒⑦+2.1⇒⑧+1.8
公債管理事業会計	81,080	80,063	1,017	1.3 %	伸率 ⑥▲2.1⇒⑦+0.1⇒⑧+1.3
後期高齢者医療事業会計	14,455	12,038	2,417	20.1 %	伸率 ⑥+13.8⇒⑦+4.1⇒⑧+20.1
投資的経費	48,344	47,479	865	1.8 %	伸率 ⑥+16.8⇒⑦+1.9⇒⑧+1.8 地財 +0.1 +1.0 +2.8
一般会計	47,810	46,549	1,261	2.7 %	伸率 ⑥+15.7⇒⑦+3.2⇒⑧+2.7
補助	23,669	22,087	1,582	7.2 %	増減の主な内容 <補助> 道路・街路整備+1,757 新亀田清掃センター整備+1,148 新潟駅万代口東地区優良建築物等整備+657 上所駅整備▲1,055
単独	20,582	22,524	▲ 1,942	▲ 8.6 %	<単独> 音楽文化会館改修▲1,536 新田清掃センター設備整備▲1,397 防災行政無線更新整備+745 巻斎場整備+357
災害復旧	3,559	1,938	1,621	83.6 %	<災害復旧> 道路災害復旧+1,621
特別会計	534	930	▲ 396	▲ 42.6 %	新潟西道路用地取得▲681 沼垂道路用地取得+480 食肉センター設備改修▲195

【企業会計】

(単位：百万円)

	令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	増 ▲減	伸率%	備 考
下水道事業会計	79,761	75,673	4,088	5.4 %	伸率 ⑥+13.3⇒⑦▲1.5⇒⑧+5.4
水道事業会計	35,751	30,447	5,304	17.4 %	伸率 ⑥▲6.3⇒⑦+2.8⇒⑧+17.4
病院事業会計	35,612	36,485	▲ 873	▲ 2.4 %	伸率 ⑥+5.2⇒⑦+9.9⇒⑧▲2.4
企業会計規模	151,124	142,605	8,519	6.0 %	

【全会計総計】

(単位：百万円)

	令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	増 ▲減	伸率%	備 考
合 計	849,556	821,481	28,075	3.4 %	

※端数処理の関係で合計数値と内訳が合致しない場合があります

※全会計総計は各会計の予算を足し上げたもので、各会計間におけるやり取りによる影響は反映させていません

◆ 市債の発行額

(単位:百万円)

	令和7年度 当初予算	令和8年度 当初予算	増▲減	伸率%	備考(依存度)		
市債発行額 (一般会計)	32,432	31,491	▲ 941	▲ 2.9%			
臨時財政 対策債					R6 本市 8.6%	R7 7.6%	R8 7.1%
その他	32,432	31,491	▲ 941	▲ 2.9%	地財 6.7%	6.1%	6.0%
うち 能登半島地震 災害復旧分	1,808	2,061	253	14.0%			

◆ 市債残高(繰越分含む決算見込)

(単位:百万円)

	令和6年度 年度末実績	令和7年度 年度末見込	令和8年度 年度末見込	増▲減 (R8-R7)
市債残高 (一般会計)	617,187	608,793	601,881	▲ 6,912
臨時財政対策債	250,563	236,415	222,108	▲ 14,307
その他	366,624	372,378	379,773	7,395
うち能登半島地震 災害復旧分	3,756	6,647	9,857	3,210

◆ 基金残高の推移(予算計上済額ベース)

(単位:百万円)

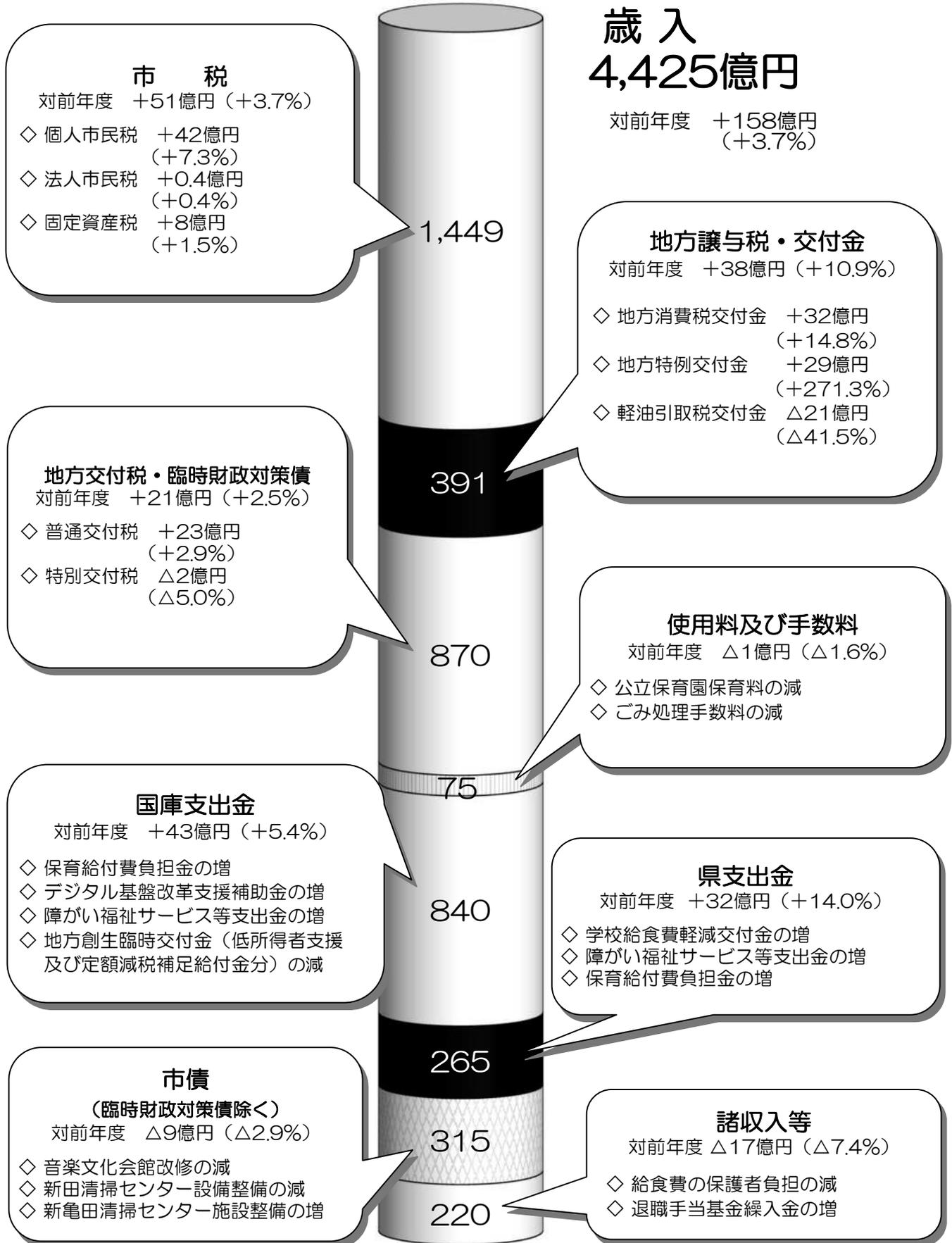
	令和6年度 年度末実績	令和7年度 年度末見込	令和8年度 年度末見込
基金残高	6,584	9,274	9,274

※ 基金残高は、財政調整基金・都市整備基金・市債管理基金の合算額です。

※ 市債管理基金の満期一括償還分及び臨時財政対策債償還基金費積立分を除きます。

※ 上記令和7年度末見込の数値は、2月補正後の見込みです。

2 一般会計(歳入・歳出)予算の概要



※端数処理の結果により、合計数値と内訳が合致しないものがあります。

歳出 4,425億円

対前年度 +158億円
(+3.7%)

475

総務費

対前年度 +3億円 (+0.8%)

- ◇ システム標準化対応の増
- ◇ 職員退職手当の増
- ◇ 各種選挙経費の増
- ◇ 音楽文化会館改修の減

1,463

民生費

対前年度 +46億円 (+3.2%)

- ◇ 私立保育園等運営費の増
- ◇ 障がい福祉サービス等扶助費の増
- ◇ 低所得者支援及び定額減税補足給付金の減

衛生費

対前年度 +2億円 (+0.7%)

- ◇ 新亀田清掃センター施設整備の増
- ◇ 巻斎場整備の増
- ◇ 新田清掃センター整備・修繕の減

309

農林水産業費

対前年度 +0億円 (+0.3%)

- ◇ 強い農業づくり交付金事業の増

商工費

対前年度 △12億円 (△10.2%)

- ◇ スマートビル建設促進補助金の減
- ◇ 制度融資貸付金の減

60

102

土木費

対前年度 △2億円 (△0.3%)

- ◇ 新潟駅周辺整備の減
- ◇ 上所駅整備の減
- ◇ 道路・街路整備の増

606

消防費

対前年度 +5億円 (+4.0%)

- ◇ 職員退職手当の増
- ◇ 消防車両整備の減

118

災害復旧費

対前年度 +17億円 (83.6%)

- ◇ 道路災害復旧の増

660

教育費

対前年度 +55億円 (+9.0%)

- ◇ 教職員退職手当の増
- ◇ 教育委員会人件費の増
- ◇ 給食食材購入費の増

36

公債費

対前年度 +45億円 (+9.3%)

- ◇ 臨時財政対策債償還基金費積立の増
- ◇ 利子償還金の増

530

その他

66

※端数処理の結果により、合計数値と内訳が合致しないものがあります。

3 財政基盤の強化に向けた不断の見直し

社会情勢の変化に対応した行財政改革により、安定した財政運営の基盤づくりを継続するため、不断の見直しに取り組みました。

【事業の見直し】

(単位：百万円)

項 目	見直し 効果額	主 な 取 組 内 容
歳入確保の取り組みによる 縮減	△ 22	企画展収入の増、新たな協賛金の確保による縮減 +13百万円 など
情報システムの効率化によ る縮減	△ 132	庁内システムの賃借方法や運用保守等の見直し △53百万円 など 介護事業所用システムのクラウド化及び事務センター の新設による効率化 △58百万円 など
各種団体等への補助金等 交付額の見直しによる縮減	△ 27	効果検証を踏まえた補助制度の見直し △6百万円 など
効率的な執行や事業内容の 見直し等による縮減	△ 690	内部管理事務の見直し 委託業務の仕様や回数等の見直し 過去実績を踏まえた事業費の精査
合 計	△ 871	

※ 精査の結果、数値を変更することがあります。

4 令和8年度における主な取組

【事業一覧の見方】

令和8年度に取り組む主な事業を掲載しています。
令和8年度当初予算のほか、令和7年度補正予算等の繰越分も含めて掲載しています。

令和8年度当初予算の新規事業は【新規】と記載しています。

(繰越分)と表示しているものは、令和7年度補正予算等のうち繰越明許費を設定した事業費です。令和8年度当初予算にも計上している場合は2段で表示しています。(上段が繰越分、下段が当初予算分)

事業名	事業概要	予算額
安心・安全で災害に強いまちづくり		
街区単位の液状化対策事業	液状化対策検討範囲内の土地所有者に事業内容を丁寧に説明するとともに、事業実施に関する意向確認アンケート調査を実施します。試験施工を実施するとともに、集水管などの施設配置計画を作成します。	(繰越分) 280,000 千円
		440,000 千円
拠点性の向上		
【新規】アリーナの実現を核とした白山エリアのスポーツ施設再編事業	令和7年度に実施したスポーツ施設再編基礎調査の結果を踏まえ、白山エリアにおけるアリーナの実現に向けて本格的に取り組みます。	20,000 千円
若者や女性が挑戦できる環境づくり		
【拡充】地域の潜在資源を活用したリノベーションまちづくり推進事業	地域の潜在資源を活用した民間主導によるリノベーションまちづくりの推進に向け、民間プレイヤーと共に今後の指針となる戦略をまとめあげます。また、古町地区において、エリアマネジメントを担う、新たなプレイヤーの発掘や育成、事業化に向けた支援を行います。	20,000 千円

令和8年度当初予算で拡充する事業は【拡充】と記載しています。

当該ページより前に事業を記載している場合は、(再掲)と表示しています。

最優先課題

能登半島地震からの復旧・復興

事業名	事業概要	予算額
公共インフラ等の復旧		
道路災害復旧事業	安全な道路交通の確保のため、破損した道路などの復旧工事を行います。	(繰越分) 2,130,000 千円 3,262,000 千円
坂井輪中学校改築事業	坂井輪中学校の校舎及び屋内体育館等を改築するための実施設計を行います。	297,170 千円
鳥屋野運動公園野球場再整備事業	鳥屋野運動公園野球場の現地での再整備に向けて、詳細計画策定及びPPP導入可能性調査、地質調査を実施します。	52,700 千円
その他施設災害復旧事業	被害を受けた排水路等の市有施設の災害復旧工事を行います。	(繰越分) 5,000 千円
生活の再建支援		
被災者見守り・相談支援等事業	被災者が、それぞれの環境において安心した日常生活を営むことができるよう、見守りや日常生活上の相談を行うとともに、関係支援機関へつなぐ等の支援を行います。	48,000 千円
液状化被災宅地等復旧支援事業	被災者の生活再建を後押しするため、液状化被害を受けた宅地等の復旧費用を支援します。	(繰越分) 300,000 千円 602,000 千円
液状化等被害住宅建替・購入支援事業	液状化の被害が大きかったことから、本市独自の制度により住宅の建替や購入を支援します。	(繰越分) 238,000 千円
液状化等被害住宅修繕支援事業	住宅の修繕だけでなく、駐車場など国・県の支援制度では対象とならない部分を市独自の制度により支援します。	(繰越分) 130,000 千円
被災住宅応急修理事業	災害救助法に基づき、一定規模以上の被害が発生した世帯を対象に、日常生活に必要な部分の応急修理について支援します。(国・県制度)	243,700 千円
賃貸型応急住宅借上げ事業	被災された市民を対象に、民間賃貸住宅を借上げ、応急住宅(みなし仮設住宅)として提供します。	107,900 千円
災害被災者住宅復興資金貸付金利子補給事業	被災者やその親族が、住宅の復興のために必要な住宅再建融資を受ける場合、借入利子相当額の一部を補助します。	23,700 千円
私道災害復旧支援事業	被災した私道について、生活再建等に向け迅速な原形復旧を支援することにより、被災者(私道地権者)の負担軽減を図ります。	(繰越分) 82,000 千円
新潟県被災者生活再建支援システム運用事業	生活支援策や支援の進捗状況を記録する機能を有するシステムを活用し、被災者への支援状況の一元管理を行います。	8,017 千円
安心・安全で災害に強いまちづくり		
街区単位の液状化対策事業	液状化対策検討範囲内の土地所有者に事業内容を丁寧に説明するとともに、事業実施に関する意向確認アンケート調査を実施します。試験施工を実施するとともに、集水管などの施設配置計画を作成します。	(繰越分) 280,000 千円 440,000 千円
住宅・建築物耐震改修等補助事業	建築物の地震対策の重要性について市民理解を深めるとともに、民間の住宅・建築物の耐震改修工事等や旧耐震基準の住宅の除却に係る費用の一部を助成します。	40,860 千円

事業名	事業概要	予算額
公共インフラ等の復旧(つづき)		
避難環境等整備事業	津波からの避難時に、階段が登れない高齢者などを上層階へ避難させるためのストレッチャーや、備蓄物資としての蓄電池などを整備します。	(繰越分) 110,000 千円
備蓄物資整備事業	発災直後における本市の想定避難者数に基づき、避難者が必要とする食料や保存水等の備蓄物資を整備します。	33,749 千円
避難所運営デジタル化事業	新潟県と県内市町村が連携して開発した「新潟県避難者支援システム」の運用を通して、避難所における入退手続きの簡素化が図られるとともに、避難者情報を迅速に把握できることにより、避難生活の支援向上に繋がります。	4,821 千円
災害時被害情報収集事業	災害発生時の被害情報をAIを活用して、SNSなどから収集するシステムにより、速やかな被害状況の把握と市民への情報提供を図ります。	4,752 千円
地域防災力育成事業	自主防災組織の防災訓練に対し助成金を交付し、地域における防災力向上及び自主防災組織の機能強化を図ります。また、防災訓練の実施促進のための講習会などを開催します。	27,000 千円
避難所運営促進事業	避難所運営委員会の新規結成に向けて、講習会などを開催するとともに、既存の避難所運営委員会の実践力強化を図るため、模擬訓練などを実施します。また、避難所運営のさらなる女性参画に向けた啓発を行います。	10,950 千円
地域防災リーダー育成事業	地域の防災リーダー育成のため、防災士の資格取得に係る費用の助成人数を拡充します。また、西区において、モデル事業として防災士のスキルアップを後押しする講習会を開催します。	2,772 千円
生業の再建支援※		
※能登半島地震からの復旧・復興経費(約52億円)には含めず		
経営支援特別融資貸付金	事業活動に影響のある中小企業者に対し、必要な経費を融資するとともに、信用保証料の補助を実施し、資金繰りを支援します。	997,000 千円
公共インフラ等の復旧(下水道事業会計分)※		
※能登半島地震からの復旧・復興経費(約52億円)には含めず		
下水道災害復旧事業	被害を受けた下水道施設の災害復旧工事を行います。	5,985,479 千円

物価高への対応

事業名	事業概要	予算額
生活者への支援		
食料品の物価高騰に対する支援金給付事業	食料品の高騰に対する支援として、すべての市民に対し、1人あたり3千円の給付金を支給します。	(繰越分) 2,750,000 千円
生活応援プレミアム付デジタル商品券発行事業	物価高に直面している生活者を支援し、消費の下支えを通じた地域経済の活性化を図るため、プレミアム付デジタル商品券を発行します。	(繰越分) 1,200,000 千円
住民税非課税世帯灯油購入費等給付金	物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対し、灯油購入費相当分として、1世帯あたり5千円の給付金を支給します。	(繰越分) 545,000 千円
住民税非課税世帯水道料金給付金	物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対し、水道料金の基本料金相当分として、1世帯あたり3千円の給付金を支給します。	(繰越分) 246,000 千円
新潟市生活困窮者等支援活動補助金	物価高騰等の影響により増加すると考えられる民間団体による生活困窮者及びひとり親家庭への食料支援及び相談支援活動について、持続可能な活動を図るため、その活動経費の一部を補助します。	2,500 千円
【拡充】給食費の保護者負担の軽減	小学校の給食について、新たに始まる国の支援制度と併せて、交付金を活用することで、令和8年度は保護者負担を求めません。また、中学校の給食について、交付金を活用し、令和7年度に引き続き給食費を据え置きます。	2,753,335 千円
保育施設等食材料費物価高騰対策支援金	物価高騰により食材料費が増加していることから、保護者の負担を軽減し、栄養価を満たす豊かな給食を提供するため、市立保育施設の賄材料費を増額するとともに、私立保育施設等の食材料費を支援します。	61,000 千円
物価高騰対応子育て応援手当	物価高の影響が長期化しその影響が様々な人々に及び中、特にその影響を強く受けている子育て世帯を力強く支援し、子どもたちの健やかな成長を応援する観点から、0歳から高校3年生年代までの子どもに1人あたり2万円の物価高対応子育て応援手当を支給します。	(繰越分) 2,250,000 千円
こども食堂物価高騰対策支援事業	食料費等が高騰するなか、こども食堂が安定的に継続して活動できるよう支援するため、令和7年度に引き続き令和8年度も開催頻度に応じて事業実施のための支援金を支給します。	7,500 千円
事業者への支援		
ブランド力向上・魅力発信サポート事業	従業員の賃上げ環境整備のため一層の利益確保を図る市内中小企業者に対し、自社の企業・商品・サービスイメージをブランディングし発信する広報・宣伝等の取組を支援します。	(繰越分) 80,000 千円
業務効率専門家派遣事業	デジタル技術活用による市内中小企業者の業務効率化・生産性向上を図るため、民間専門家派遣を実施し、デジタル化に向けた取組を支援します。	(繰越分) 10,000 千円
LED照明導入促進補助金	エネルギー価格高騰の影響を受ける市内中小企業者に対し、消費電力を大幅に抑え、電気料金の削減を図るため、投資効果の高いLED照明の導入を支援します。	(繰越分) 100,000 千円
省エネ・創エネ対応設備導入支援事業	エネルギー価格高騰の影響を受ける市内中小企業等に対し、太陽光発電設備等の導入への補助を通じ、電力価格高騰への対策を促し、脱炭素経営を支援します。	(繰越分) 40,000 千円
生成AIビジネスリサーチ・システム運用事業	市内事業者の採用力強化を図り、人手不足の解消と稼ぐ力の向上につなげるため、ビジネスリサーチの一連のプロセスをAIが自動的に実行するシステムを構築し、市内事業者等がいつでも利用できる環境を提供します。	(繰越分) 12,000 千円
介護テクノロジー導入補助金	介護事業所の生産性向上や介護人材の確保及び定着促進を図るため、介護現場の省力化や業務負担の軽減が期待される介護テクノロジー（ICT機器、介護ロボット等）の導入を支援します。	(繰越分) 30,000 千円

事業名	事業概要	予算額
事業者への支援(つづき)		
公共調達における賃上げ環境整備(指定管理者)	近年の社会情勢を勘案し賃金上昇を下支えするため、指定管理者の 人件費上昇相当分を指定管理料に上乘せします。	24,773 千円
公共調達における賃上げ環境整備(受託事業者)	近年の社会情勢を勘案し賃金上昇を下支えするため、長期継続契約 等を締結している労働集約型業務の委託契約事業について、人件費 上昇相当分を委託料に上乘せします。	75,011 千円
【新規】 救急指定病院等物価高騰対策支援金	本市の救急医療体制を確保するため、物価高騰の影響を受けている 市内の救急指定病院等に対して支援を行います。	155,000 千円
化学肥料低減・有機質肥料活用促進事業	肥料価格高騰対策および有機質肥料の活用促進を図るため、堆肥製 造機や堆肥化施設の導入・修繕、および堆肥散布機の導入を支援しま す。	(繰越分) 15,000 千円
畜産飼料価格高騰対策支援事業	配合飼料価格の高騰に対応するため、配合飼料価格の上昇に備える 安定基金への加入を支援するとともに、配合飼料価格の高騰分の一 部を助成することで、畜産農家の経営継続を支援します。	(繰越分) 10,000 千円
農業生産高度化事業	農業生産資材価格の高騰に対応するため、スマート農機の導入を支 援し、農業者の生産コスト低減や生産の効率化を図ります。	(繰越分) 130,000 千円
土地改良区電気料金高騰対策支援事業	エネルギー価格高騰により、農業者が構成員となる土地改良区の農 業水利施設にかかる電気料金が高騰しているため、土地改良区が負 担する高騰分の一部を補助します。	31,000 千円
漁業燃油等高騰対策事業	燃油価格及び物価高騰に対応するため、漁船の低燃費航行につな がる船底塗装、漁船のメンテナンスや漁具の購入費用に加え、漁協の製 氷施設及び貯蔵施設の電気料を補助し、本市漁業の安定的な経営を 支援します。	(繰越分) 10,000 千円
【新規】 新潟空港設備整備支援事業費負担金	エネルギー価格等の物価高騰による影響を受けている新潟空港の機 能維持を図るため、空港の耐災害性の確保に向けた電気設備の整備 などに係る費用について、県と連携して支援します。	79,500 千円
【拡充】 空港アクセス改善事業	エネルギー価格等の物価高騰による影響を受けている新潟駅と新潟 空港間を結ぶリムジンバスの運行経費等を県と連携して支援します。	70,530 千円
【新規】 病院事業会計繰出金(救急指定病院等物価高騰対策支援)	救急医療体制を確保するため、物価高騰の影響を受けている市民病 院に対して、開設者として支援を行います。	50,000 千円

**令和 8 年度予算案
3つの力点**

令和8年度予算編成における 3つの力点

「能登半島地震からの復旧・復興」と「物価高への対応」を最優先課題として、迅速に対応するとともに、本市のさらなる発展に向けて、「活力あふれるまち」「若者や子育て世代に選ばれるまち」「持続可能なまち」の3つを力点とした予算編成を行いました。

力点1 活力あふれるまち

人口減少に伴い、地域経済の縮小や労働力不足など様々な影響が懸念される中、「地域の外から消費や投資を呼び込む」ことが一層重要になっています。

そのために、さらなる拠点性の向上により本市の魅力を高めるとともに、地域資源の高付加価値化や新技術の活用により事業者の稼ぐ力を高め、地域経済の活力を創出します。

さらに、国際会議や大規模イベント等の開催を通じて、地域資源を活かした国内外への魅力発信や受入環境の強化により交流人口の拡大を図ることで、新潟の経済の活性化につなげる必要があります。

力点2 若者や子育て世代に選ばれるまち

東京一極集中の傾向に歯止めがかからず、本市は若者の県外への転出超過が続いています。こうした状況の中、若い世代が主体的にまちづくりにかかわる機会や魅力的な雇用の創出などにより、若者や女性が挑戦できる環境づくりを推進します。

本市においても出生数の減少が続き、合計特殊出生率も低下傾向にある中、希望する人が安心して子どもを産み育てられるよう、結婚から子育てまでの切れ目ない支援に取り組んでいきます。

また、将来を担う子どもたちの健全な育成に向け、安心して過ごせる居場所の充実や、中学生の地域クラブ活動への支援などに取り組みます。

力点3 持続可能なまち

近年、自然災害が激甚化・頻発化する中、本市においても令和6年1月の能登半島地震発生により大きな被害を受けました。今後の災害に備え、防災・減災の強化に取り組み、安心・安全なまちづくりを推進します。

また、生産年齢人口の減少により様々な分野で人手不足が生じています。この状況へ対応するため、官民連携による人材の確保や採用力強化に取り組むとともに、ICTの活用による業務効率化や生産性の向上を支援します。

さらに、地域の細やかな移動に対するニーズに対応するなど、持続可能な地域づくりの実現を目指します。

3つの力点

1 活力あふれるまち

人口減少に伴い、地域経済の縮小や労働力不足など様々な影響が懸念される中、「地域の外から消費や投資を呼び込む」ことが一層重要になっています。

そのために、さらなる拠点性の向上により本市の魅力を高めるとともに、地域資源の高付加価値化や新技術の活用により事業者の稼ぐ力を高め、地域経済の活力を創出します。

さらに、国際会議や大規模イベント等の開催を通じて、地域資源を活かした国内外への魅力発信や受入環境の強化により交流人口の拡大を図ることと、新潟の経済の活性化につなげる必要があります。

事業名	事業概要	予算額
拠点性の向上		
新潟駅周辺地区の整備	鉄道を挟んだ南北市街地の一体化や自動車・自転車・歩行者の安全かつ円滑な交通の確保など、「日本海拠点都市にいがた」としてふさわしい都市機能の強化を図ることを目的に、駅前広場や幹線道路などの整備を進めます。	(繰越分) 2,982,519 千円
		3,414,902 千円
【拡充】 東大通”人中心の空間づくり”推進事業	東大通において、人中心の魅力ある空間づくりを推進するため、万代広場供用後の検証など、道路空間の再構築に向けた検討を行います。	9,000 千円
鳥屋野潟南部地区の総合的な整備	都心の機能を補完する鳥屋野潟南部地区において、交流・にぎわいなどの複合拠点の形成に向け、都市計画道路(鳥屋野潟南部東西線)の整備に取り組みます。	982,146 千円
【拡充】 路線バス運行の円滑化	バス交通ネットワークの維持、市民の移動手段の確保に向けた調査検討を行うとともに、南北軸強化に向けて、新たに駅南方面への連節バス運行の社会実験を実施します。	13,000 千円
西堀地下施設活用検討事業	実現可能性調査結果を踏まえ、用途やコストに関するより詳細な調査を実施し、また、多方面から専門的知見を収集するための有識者会議を開催し、西堀地下施設に係る今後の活用方針の検討を進めます。	(繰越分) 28,400 千円
【新規】 アリーナの実現を核とした白山エリアのスポーツ施設再編事業	まちの活力と賑わいのさらなる創出を図り、県都・政令市新潟の拠点性向上や交流人口の拡大につなげるため、アリーナの実現を核とした白山エリアのスポーツ施設再編について、本格的な検討を進めます。	20,000 千円
地域経済の活力創出		
ブランド力向上・魅力発信サポート事業	(再掲) 従業員の賃上げ環境整備のため一層の利益確保を図る市内中小企業者に対し、自社の企業・商品・サービスイメージをブランディングし発信する広報・宣伝等の取組を支援します。	(繰越分) 80,000 千円
【拡充】 「にいがたふうど」で繋ぐブランド力強化事業	本市の食の魅力や背景をまとめた「にいがたふうど」で「食」に関する取組を繋ぎ、ブランド力を強化することで、輸出促進やインバウンド需要喚起等による地域内の消費拡大を図ります。	15,000 千円
【拡充】 海外ビジネス支援事業	本市の強みである「食」分野を中心に、海外バイヤー等との商談機会を創出し、市内企業等の海外販路開拓を支援します。特に、東アジアなど有力市場をターゲットに「にいがたふうど」をブランドの核とし輸出拡大に取り組みます。	12,966 千円
にいがた2km「おいしさDX」産学官共創プロジェクト	にいがた2kmを拠点に、新潟大学やIT事業者、飲食事業者、食品製造事業者と連携し「おいしさ」のDX化を図ることで、本市が誇る食関連産業の高付加価値化と、食による地域の魅力向上、フードデータを駆使する人材の輩出を目指します。	139,000 千円
【新規】 食の1.5次加工調査分析事業	食の1.5次産業の確立に向け、市内生産者等に対し現状の調査を行い、結果の分析と課題の洗い出しを行ったうえで、効果的な支援策を検討します。	4,500 千円
【新規】 ペロプスカイト太陽電池社会実装推進事業	次世代型太陽電池「ペロプスカイト太陽電池」の原料の産地である本市において、地域の活性化及び脱炭素の加速化につなげるため、同電池の実証支援や普及啓発等により、地域の需要創出を図ります。	8,000 千円
交流人口の拡大		
【新規】 世界湿地都市ネットワーク市長会議	ラムサール条約の湿地都市認証を受けた都市による国内初の国際会議「世界湿地都市ネットワーク市長会議」を、令和8年11月30日～12月2日に本市で開催します。	35,000 千円

事業名	事業概要	予算額
交流人口の拡大(つづき)		
【拡充】 ラムサール条約都市推進事業	11月の「世界湿地都市ネットワーク市長会議」の開催に向けて、様々なプロモーション等を展開しながら、都市と自然が調和する本市の特色や保全・利活用の取組みを「国際湿地都市NIIGATA」として、内外に発信するとともに、市民団体等の活動への支援のほか、佐潟の再生などに引き続き取り組みます。	27,200 千円
【新規】 ASPAC新潟大会魅力発信等事業	国際会議として約8,000人の来訪が見込まれる2026 JCI ASPAC新潟大会において、新潟の魅力の発信や来訪者のおもてなし、市民の歓迎機運の醸成を図る取組みを支援することで、交流人口の拡大につなげます。	18,000 千円
【新規】 全国消防救助技術大会	全国から選抜された救助隊員が一堂に集結し、高度な救助技術や体力を競い合う全国消防救助技術大会を本州日本海側で初めて開催することで、消防の力強さや優しさをアピールするとともに、約2万人の来場者を見込んでおり、他自治体との連携により本市のみならず、交流人口の拡大を図ります。	11,385 千円
【新規】 賑わい創出・魅力発信事業	若者に向けた大規模ファッションイベントである「東京ガールズコレクション」を通じて、県や民間企業とも連携しながら、若者が集い・賑わい・参画する場を創出し、本市の魅力の再認識・愛着心(シビックプライド)の醸成につなげます。	30,000 千円
クルーズ船誘致推進事業	国内・海外クルーズ船のさらなる誘致に向け、県や関係団体と連携した船社、旅行社へのセールス活動や、クルーズ船寄港時の受入体制の強化に取り組みます。	27,300 千円
外国人向け案内表示整備事業	外国人観光客等のまちなかでの回遊性を高め、来訪者の満足度向上を図るため、万代及び古町エリアに矢羽根型の案内サインを整備します。	16,700 千円
観光客おもてなし態勢推進事業	多言語メニュー整備やキャッシュレス決済導入など、外国人観光客等の受入れ環境の整備を支援するとともに、着地型観光コンテンツの造成を促進するなど、民間事業者と連携して観光客のおもてなし態勢の充実を図ります。	8,000 千円
【拡充】 「食」を活かした誘客の推進	「食といえば新潟」のイメージ定着を図るとともに、滞在時間の延長と消費の拡大につなげるため、新潟ラーメンと日本酒をはじめとした本市の多様な食の情報をインフルエンサーから発信してもらうほか、民間事業者による観光コンテンツ化の支援などに取り組みます。	26,000 千円
【拡充】 外国人誘客促進事業	外国人観光客の来訪意欲と消費を促すため、地域の商業施設と連携した各種特典を整備するとともに、新たに本市ならではの「食体験」をテーマとしたツアー造成に取り組むほか、旅行会社への支援を拡充し誘客活動を強化します。	34,000 千円
【拡充】 佐渡連携誘客事業	佐渡・新潟エリアへの新規観光客の獲得と周遊を促し、本市での滞在時間の延長及び消費拡大を図るため、新たにアニメキャラクター等を活用したプロモーションに取り組みます。	18,000 千円
【新規】 にしかん・やびこ 遊・誘・湯めぐりプロジェクト	岩室温泉と弥彦温泉の連携を強化し、泉質の違いを活かした誘客キャンペーンを実施するとともに、広域でのプロモーションを展開することで、エリア全体のさらなる交流人口の拡大と魅力向上を図ります。	8,700 千円

3つの力点

2 若者や子育て世代に選ばれるまち

東京一極集中の傾向に歯止めがかからず、本市は若者の県外への転出超過が続いています。こうした状況の中、若い世代が主体的にまちづくりにかかわる機会や魅力的な雇用の創出などにより、若者や女性が挑戦できる環境づくりを推進します。

本市においても出生数の減少が続き、合計特殊出生率も低下傾向にある中、希望する人が安心してこどもを産み育てられるよう、結婚から子育てまでの切れ目ない支援に取り組んでいきます。

また、将来を担うこどもたちの健全な育成に向け、安心して過ごせる居場所の充実や、中学生の地域クラブ活動への支援などに取り組みます。

事業名	事業概要	予算額
若者や女性が挑戦できる環境づくり		
【拡充】 地域の潜在資源を活用したリノベーションまちづくり推進事業	地域の潜在資源を活用した民間主導によるリノベーションまちづくりの推進に向け、民間プレイヤーと共に今後の指針となる戦略をまとめあげます。また、古町地区において、エリアマネジメントを担う、新たなプレイヤーの発掘や育成、事業化に向けた支援を行います。	20,000 千円
【新規】 女性に魅力ある職場づくり支援事業	女性が働きやすく・活躍できる職場を増やすために、中小企業等を対象に、専門家や学生の生の声を聴く機会を設け、企業の意識向上を図ります。	1,000 千円
【新規】 女性の就農環境改善事業	女性の就農・就業の定着に向けて、女性が働きやすい就労環境の改善のためのトイレ等の設備導入や女性活躍のための新たな取組みを支援します。	5,000 千円
【拡充】 市内就労促進事業	次代の担い手である若者の地元就職への意識醸成を促進するため、経済団体や地元大学など関係機関と連携して交流会などを開催するとともに、新たに新潟で暮らす魅力・働く魅力を伝えるためのセミナーを実施するほか、市内外に企業情報を発信することで人口の流出抑制と流入促進を図ります。	4,000 千円
結婚から子育てまでの切れ目ない支援		
不妊治療費助成事業	こどもを持ちたいという夫婦の経済的負担軽減のため、不妊治療（一般不妊治療・生殖補助医療・先進医療）費用の一部を助成します。	75,491 千円
【新規】 5歳児健康診査事業	言語の理解能力や社会性が高まる5歳児に対して健診を行い、こどもの特性を早期に把握し、関係機関が一体となって特性に合わせた適切な支援につなげます。令和8年度は試行的に1区で実施します。	3,375 千円
【拡充】 多様な保育・子育て支援サービスの充実事業	多様な保育・子育て支援ニーズに対応するため、休日保育や一時預かりなどを実施するほか、保育コンシェルジュを全区に配置し、利用者に応じた適切なサービスを提供します。また、病児・病後児保育の予約システム導入や隣接自治体と連携して利用可能施設を拡充することで、保護者の利便性向上を図ります。	712,121 千円
将来を担うこどもたちの育成		
<北区> 出張児童館事業	既存の公共施設等を活用し、児童館のない地域へのサービスの拡充を図り、こどもの居場所づくりを推進します。	9,900 千円
【新規】 <江南区> 出張児童館事業	コミュニティセンターなどの既存施設を活用して、児童館のない地域でこどもの健全な遊びの場を提供することで、こどもの居場所づくりを推進します。	2,000 千円
【拡充】 <秋葉区> アキハ移動式こどもの居場所づくり（出張児童館事業）	地域でこどもたちが安全・安心に過ごせる居場所づくりを推進するため、コミュニティ協議会と協力し、コミュニティセンターなど既存施設を活用して、こどもたちに様々な遊びや学びを提供する「移動式こどもの居場所づくり」を、5地域に拡大して実施します。	5,000 千円
【拡充】 <南区> 児童館利用促進事業 ～もっと身近に児童館～（出張児童館事業）	地域でのこどもたちの居場所づくりを推進するため、児童館・児童センターの職員が向かい、こどもたちに様々な遊びや体験を提供する「出張児童館」の実施回数を増やします。	3,240 千円
【新規】 <西蒲区> 出張！あそVIVA（遊び場）児童館（出張児童館事業）	こどもの居場所づくりの一環として、既存の公共施設等を活用し、児童館等のない地域で出張児童館を開催します。	2,000 千円
秋葉区児童館設置事業	既存の公共施設「新津健康センター」を有効活用して、児童福祉法に基づく秋葉区初の児童館を、秋ごろを目途に整備し、こどもたちがいつでも自由に利用できる遊びや学びの場を提供します。	（繰越分） 108,000 千円

事業名	事業概要	予算額
将来を担う子どもたちの育成(つづき)		
【拡充】 子どもの学習・生活支援事業	生活保護世帯等の中学生等を対象とした学習会の会場を5区から全区に拡大し、どの区に住んでいても身近なところで支援を受けられる環境を整備します。	35,350 千円
【拡充】 不登校対策事業	不登校を未然に防止するとともに、不登校児童生徒の登校復帰を支援するために、SSR設置校を拡大するとともに、支援するスタッフを配置します。また、潜在している事案を早期に発見し、問題を深刻化させないために、SCやSSWを配置します。SSWは処遇改善を行い、配置を充実させ支援体制を強化します。	92,308 千円
【拡充】 中学生のための地域クラブ活動支援事業	地域クラブ活動を持続可能で充実したものにするため、指導者謝金等の補助に加えて要望のある物品購入費補助を拡充します。また、令和9年度から認定地域クラブ制度を開始し、中学生がより安心・安全なクラブ活動を実施できるよう、令和8年度中に指導者登録制度を構築します。	88,300 千円

近年、自然災害が激甚化・頻発化する中、本市においても令和6年1月の能登半島地震発生により大きな被害を受けました。今後の災害に備え、防災・減災の強化に取り組み、安心・安全なまちづくりを推進します。

また、生産年齢人口の減少により様々な分野で人手不足が生じています。この状況へ対応するため、官民連携による人材の確保や採用力強化に取り組むとともに、ICTの活用による業務効率化や生産性の向上を支援します。

さらに、地域の細やかな移動に対するニーズに対応するなど、持続可能な地域づくりの実現を目指します。

事業名	事業概要	予算額
安心・安全なまちづくり		
【拡充】 下水道施設の機能確保	令和8年1月に発生した東区の道路陥没事故を受け、陥没箇所の本復旧工事を進めるとともに、下水道管路における点検・調査の強化を踏まえた計画的な改築更新を行い、老朽化が進む下水道施設の予防保全的な維持管理を着実に実施します。	13,372,898 千円
【新規】 感震ブレーカー設置促進事業	過去の教訓を踏まえ、大規模な地震による住宅からの出火および延焼火災による被害を防止・軽減するため、感震ブレーカーの設置費用を助成します。	20,000 千円
【新規】 災害リスク読み上げツール導入事業	視覚障がいのある方や外国人等へ向けて、スマートフォンアプリにより気象情報や周辺の災害リスク等を読み上げる多言語対応のシステムを導入します。	2,000 千円
【新規】 AI防犯カメラ整備事業	新潟駅周辺繁華街にAI防犯カメラを整備し、悪質な客引きを防止するとともに、客引き行為の実態を把握し、環境健全化と安心・安全なまちづくりを推進します。	9,000 千円
【新規】 循環器救急医療体制強化事業	新潟大学に寄附講座を設置し、循環器疾患の急性期から回復期・慢性期への医療連携の基盤整備に係る研究を行うことで、持続可能な循環器救急医療体制の構築を図ります。	20,000 千円
人材の確保と生産性向上		
新規採用活動支援事業	市内中小企業の人材確保と大学生等の市内就労を促進するため、自社の採用ホームページ等を有効活用して魅力を発信する企業のほか、リクルーターの養成やインターンシッププログラムの構築に取り組む企業を支援します。	16,000 千円
デジタル技術を活用した地域就労モデル構築事業	事業者の人手不足の解消と多様で柔軟な働き方ができる環境を広げるため、本市公式の単日短時間就労マッチングサービス「にいがたCITYマッチボックス」を運営するとともに、在宅テレワーカー育成・活用支援のための施策を実施します。	32,200 千円
【拡充】 にいがたagribase事業	新規就農者の栽培技術向上をはじめ、経営安定化のため、伴走型の支援を行うほか、親元等で就農する農業者を支援するとともに、新たに企業の農業参入を支援するなど、新規就農者をはじめ多様な担い手の確保・育成に取り組めます。	27,800 千円
【新規】 新規就農者の確保体制の整備事業	本市農業の持続的発展のため、就農に関する相談体制を整備するとともに支援内容の情報発信や周知啓発を行い新規就農者の確保に取り組めます。	2,000 千円
【新規】 保育士の魅力発信事業	市内保育施設への就業促進を図るため、本市で保育士として働く魅力を伝える動画を制作し、保育士養成校学生や中高生等に広く発信します。	2,000 千円
【新規】 官民連携による建設業担い手確保事業	若年就業者の減少や高齢化が他産業と比較しても特に顕著な建設業は、将来にわたる担い手不足が深刻化しています。地域からの人材流出の防止や持続可能な建設業の実現に向け、具体的な適応策の検討にあたるプラットフォームの立ち上げ支援に取り組めます。	500 千円
業務効率専門家派遣事業 (再掲)	デジタル技術活用による市内中小企業者の業務効率化・生産性向上を図るため、民間専門家派遣を実施し、デジタル化に向けた取組を支援します。	(繰越分) 10,000 千円
介護テクノロジー導入補助金 (再掲)	介護事業所の生産性向上や介護人材の確保及び定着促進を図るため、介護現場の省力化や業務負担の軽減が期待される介護テクノロジー(ICT機器、介護ロボット等)の導入を支援します。	(繰越分) 30,000 千円

事業名	事業概要	予算額
持続可能な地域づくり		
【拡充】 区バス・住民バス等運行事業	区バス、エリアバス×タクの運行や、地域が主体となって運行する住民バスに対して、運行費補助や新規立ち上げに向けた社会実験等の支援を行い、生活交通の確保に努めます。	229,725 千円
【新規】 みんなで支える生活交通サポート事業	地域の実情に合わせた移動の確保に向け、現行住民バスの制度の見直しに取り組むとともに、地域の細やかなニーズに対応するため、新たなサポート制度創出の検討を行います。	9,000 千円
【新規】 生活交通効率化事業	予約型乗合バスの社会実験を南区、西蒲区の一部地域で開始し、利便性向上を図ります。	40,600 千円
新たなバス運転士応援事業	路線バス等を運行する事業者の運転士不足の解消に向け、大型二種運転免許の取得支援や、新たに就業した運転士への家賃補助など、運転士人材の確保を公民連携で取り組みます。	12,000 千円
バス利用者の維持・増加に向けた取り組みを通じた公共交通の維持	バス無料デーや中高生世代のりゅうとポイント等の配布など、バスの利用喚起、利用促進の取り組みを通じて、バス利用者の定着、増加へとつなげていき、バス交通の維持に取り組めます。	(繰越分) 12,000 千円
		98,000 千円
財産経営推進事業	公共施設の再編に向け、地域との対話を通じて、質・量・コストの視点で最適化を図るとともに、複合化・多機能化等により機能向上を進めます。	34,000 千円
【新規】 越後石山駅前地域交流拠点施設等整備事業	公共施設の再編に向けた取り組みとして、公民連携による事業手法により、駅前に新施設を設置して老朽化した既存施設(まちづくりセンター、出張所、図書館、公民館)の機能集約を図り、多世代が集える多機能拠点を作ります。令和8年度は、施設整備等を担う民間事業者の募集・選定に向けた準備を進めます。	35,000 千円
【拡充】 大江山農村環境改善センター改修事業	大江山地域実行計画に基づき、多世代交流を図る、地域の拠点施設を目指し、現在の施設規模を維持したまま、コミセン化に向けた大規模改修を行います。令和7年度の基本設計に引き続き、令和8年度は実施設計、令和9年度は着工の予定です。	20,000 千円

**新潟市総合計画2030
10の重点戦略の推進**

新潟市総合計画2030 10の重点戦略について

新潟市総合計画2030とは

- 目指す都市像『田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市』の実現に向けた、新潟市のまちづくりの方向性を示す計画であり、新潟市における最上位計画に位置付けられます。
- 計画期間は2023年度から2030年度までの8年間ですが、人口減少・少子高齢化の進行に的確に対応するため、さらに一步先の将来(2040年頃)にかけて想定される変化・課題を見据えて、現時点から取り組むべき政策・施策の方向性を示しています。

重点戦略とは

- 新潟市総合計画2030に記載した各分野の政策・施策の中から、目指す都市像の実現に大きく貢献する施策を重点化したものです。10の重点戦略を一つの政策パッケージとして推進することで、総合計画全体を牽引していきます。

重点戦略を中心とした施策の総動員により人口減少を和らげる

- 人口減少時代において新潟市が持続的に発展していくためには、「人口減少を和らげること」と「人口減少社会に適応すること」が重要です。
- 人口減少を和らげるためには、市民や民間事業者など多様な主体との連携・協働のもと、あらゆる施策を総動員し、点ではなく面として対応していく必要があります。
- 重点戦略を中心に各分野の政策・施策を一体的に推進することで、都市機能の充実や魅力的な雇用環境の創出を図り、そこから生み出される財源をもとに子ども・子育て支援を充実させるなど、都市の活力向上と住民福祉の向上の好循環を創出します。

新潟市総合計画2030の内容は、
本市HPで確認できます。



目指す都市像 『田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市』

都市が生み出す活力と財源を
住民福祉の向上に活用



市民の活躍が更なる活力を創出

政策パッケージ

- 重点戦略1 都市機能の充実と拠点性の向上
- 重点戦略2 地域企業の経営力強化、新たなビジネスや成長産業の創出・育成
- 重点戦略3 豊富な田園資源を活かした儲かる農業の実現
- 重点戦略4 魅力と拠点性を活かした交流人口の拡大
- 重点戦略5 新潟暮らしの魅力発信と多様な支援による移住・定住の促進
- 重点戦略6 誰もが個性と能力を発揮しながら、心豊かに暮らせる社会の実現
- 重点戦略7 子どもと子育てにやさしいまちづくりと新潟の将来を担う人材の育成
- 重点戦略8 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現
- 重点戦略9 脱炭素・循環型社会の実現
- 重点戦略10 安心・安全で災害に強いまちづくり

各分野の政策・施策の中から目指す都市像の実現に大きく貢献する施策を重点化し、総合計画全体を牽引

市民活躍

文化・
スポーツ

子育て・
教育

健康・
福祉

産業・
交流

安心・
安全

まちづくり・
インフラ

環境

重点戦略

1 都市機能の充実と拠点性の向上

新潟市が有している国際拠点港湾や拠点空港、高速道路や新幹線など、国内外と結ばれた広域交通基盤を大いに活かしながら、人・モノ・情報が行き交う活力あふれるまちづくりを進めることが戦略展開の大きな柱となります。

都市機能の充実と拠点性の向上に取り組み、日本海拠点都市としての力と存在感を高め、経済活動の活性化や戦略的な企業誘致による産業集積、文化・スポーツをはじめとした様々な分野の活性化につなげ、その効果を市域全体に広く波及させていきます。

事業名	事業概要	予算額
拠点機能の充実・強化		
新潟駅周辺地区の整備 (再掲)	鉄道を挟んだ南北市街地の一体化や自動車・自転車・歩行者の安全かつ円滑な交通の確保など、「日本海拠点都市にいがた」としてふさわしい都市機能の強化を図ることを目的に、駅前広場や幹線道路などの整備を進めます。	(繰越分) 2,982,519 千円
		3,414,902 千円
新潟駅交通ターミナル(仮称:バスタ新潟)の整備	新潟駅周辺における広域的な交通結節機能の強化による交流人口の拡大や賑わいの創出を図るため、新潟駅の南北に分散している高速乗合バス乗降場を集約し、待合空間を併せ持つ中・長距離バスターミナルの整備を進めます。	21,667 千円
都心部の戦略的な再開発促進		
市街地再開発事業等の促進	都市再生緊急整備地域の規制緩和制度や市街地再開発事業、優良建築物等整備事業等の補助事業を活用し、民間開発事業を促進します。	656,259 千円
戦略的な企業立地・誘致の推進		
【拡充】 デジタル・イノベーション企業立地促進補助金	にいがた2kmエリアを中心に、情報通信関連産業の集積と、多様で魅力的な雇用の場の創出を図るため、本市に進出するIT企業に対し、オフィス賃借料を支援します。既存ビルへの賃料補助を拡充し、企業誘致をさらに推進します。	283,000 千円
企業誘致促進事業@新潟サテライトオフィス	民間のネットワークと知見を活用し、首都圏等に本社を置く企業を対象に本市のビジネス環境を体験する機会を提供するとともに、市内企業や教育機関とのマッチングなど事業活動を支援することで、企業誘致をさらに推進します。	17,750 千円
社会の変化を見据えた新規事業創出の支援		
新潟IPC財団補助金(地域イノベーション戦略推進事業)	新潟IPC財団と連携し、地域産業の持続的な発展に向け、航空機関連産業における販路拡大支援のほか、市内企業のデジタル化やDXの推進による生産性や付加価値の向上に向けた支援をしていきます。	13,586 千円
特色ある文化芸術で地域振興		
【新規】 「アニメのまちにいがた」PRプロジェクト事業	2026 JCI ASPAC新潟大会の開催に合わせ、会場周辺などでアニメ音楽の演奏を行うほか、マンガ・アニメ情報館やマンガの家の取り組みを積極的に広報し回遊性を高めるなど、「アニメのまちにいがた」のPRを図り、国内外からの継続的な誘客につなげます。	3,000 千円
水がつながく各地域の歴史・文化の魅力発信事業(広域合併20周年企画)	広域合併20周年を記念し、本市に特徴的な川湊や潟の歴史・文化を発信する映像を作成し、文化観光の発展を図ります。	3,000 千円
アニメーションを活用したまちの魅力向上事業	アニメーション映画のコンパティションやシンポジウム、人材育成プログラムなどを実施する「新潟国際アニメーション映画祭」を支援し、「マンガ・アニメのまち にいがた」のイメージアップとマンガ・アニメによる地域振興を図ります。	5,000 千円
マンガ・アニメのまちづくり推進事業	「マンガ・アニメを活用したまちづくり構想」に基づき、多分野活用に向けた民間団体等との意見交換会やプロが講師を務める体験機会の提供などを行い、マンガ・アニメ文化のさらなる発展を目指します。	2,597 千円
マンガ・アニメ情報館及びマンガの家の管理運営	マンガ・アニメの魅力や楽しさに触れる機会を広く提供するため、多様な作品の展示を行うほか、こどもたちを対象に制作体験などを実施します。	104,172 千円
歴史博物館企画展等実施事業	市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めるとともに、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与することを目的として、館所蔵資料などの研究・活用を通して企画展を開催します。	8,708 千円

事業名	事業概要	予算額
スポーツを通じた交流の推進		
【新規】	アリーナの実現を核とした白山エリアのスポーツ施設再編事業 (再掲) まちの活力と賑わいのさらなる創出を図り、県都・政令市新潟の拠点性向上や交流人口の拡大につなげるため、アリーナの実現を核とした白山エリアのスポーツ施設再編について、本格的な検討を進めます。	20,000 千円
	新潟シティマラソンの開催 フルマラソン等に加え、年齢や障がいの有無を問わず参加できる種目、ユニバーサルランを実施し、市民の健康保持・増進を図ります。さらに、姉妹大会の佐渡トキマラソンとの連携により、一層魅力的な大会を開催します。	37,500 千円
新潟の個性・魅力と拠点性を活かした誘客の促進		
【新規】	にしかん・やひこ 遊・誘・湯めぐりプロジェクト (再掲) 岩室温泉と弥彦温泉の連携を強化し、泉質の違いを活かした誘客キャンペーンを実施するとともに、広域でのプロモーションを展開することで、エリア全体のさらなる交流人口の拡大と魅力向上を図ります。	8,700 千円
【拡充】	「食」を活かした誘客の推進 (再掲) 「食といえば新潟」のイメージ定着を図るとともに、滞在時間の延長と消費の拡大につなげるため、新潟ラーメンと日本酒をはじめとした本市の多様な食の情報をインフルエンサーから発信してもらうほか、民間事業者による観光コンテンツ化の支援などに取り組みます。	26,000 千円
【拡充】	外国人誘客促進事業 (再掲) 外国人観光客の来訪意欲と消費を促すため、地域の商業施設と連携した各種特典を整備するとともに、新たに本市ならではの「食体験」をテーマとしたツアー造成に取り組むほか、旅行会社への支援を拡充し誘客活動を強化します。	34,000 千円
【拡充】	佐渡連携誘客事業 (再掲) 佐渡・新潟エリアへの新規観光客の獲得と周遊を促し、本市での滞在時間の延長及び消費拡大を図るため、新たにアニメキャラクター等を活用したプロモーションに取り組みます。	18,000 千円
	外国人向け案内表示整備事業 (再掲) 外国人観光客等のまちなかでの回遊性を高め、来訪者の満足度向上を図るため、万代及び古町エリアに矢羽根型の案内サインを整備します。	16,700 千円
	観光資源・観光イベントの充実 新潟まつりやにいがた総おどりなど、本市の魅力発信や交流人口拡大に資する観光イベントの開催を支援します。	86,300 千円
	魅力発信・誘客の推進 観光パンフレットの作成や公式観光ホームページ等により観光情報を発信するとともに、首都圏や近県、国内線就航地等での誘客キャンペーンやセールスを実施することで、本市へのさらなる誘客につなげます。	20,288 千円
	新潟観光コンベンション協会との連携 交流人口の拡大につなげるため、「新潟観光コンベンション協会」と連携し、本市の魅力発信をはじめ、MICE誘致、観光案内センターの運営などの活動を展開します。	176,879 千円
	MICE開催の支援 各種会合やスポーツ大会の主催者等に対し、開催補助金をはじめとする充実した支援制度を有することや、食、みなどまち文化、豊かな自然といった本市の魅力を積極的にアピールすることで、経済波及効果の大きいMICE誘致を推進します。	50,000 千円
	広域連携誘客の推進 観光振興に関する連携協定を締結している会津若松市などとの都市間連携をはじめ、テーマで結ばれた都市との連携により交流拡大や地域活性化につなげるとともに、本市をメイン会場に北前船寄港地フォーラムを開催します。	17,800 千円
地域経済の持続的発展に向けた取組		
	つながる商店街支援事業 地域コミュニティの大切な拠点である商店街の独自の文化や魅力が将来につながるよう、商店街が行う賑わい創出、消費拡大の取り組みに係る費用の一部を補助します。	37,000 千円
	空き店舗等活用事業 市内商店街エリア等の賑わいの創出を図るため、エリア内の空き店舗等を活用して事業を始める方を対象に、改装費の一部を補助します。	12,819 千円
	商店街環境整備事業 商店街の振興及び美化を図り、あわせて消費者に便利で快適な買い物場を提供するため、商店街の共同施設の改修等に係る費用を支援します。	18,900 千円
新潟の農水産物と食文化を全国に発信		
【拡充】	「にいがたふうど」で繋ぐブランド力強化事業 (再掲) 本市の食の魅力や背景をまとめた「にいがたふうど」で「食」に関する取組を繋ぎ、ブランド力を強化することで、輸出促進やインバウンド需要喚起等による地域内の消費拡大を図ります。	15,000 千円

事業名	事業概要	予算額
新潟の農水産物と食文化を全国に発信(つづき)		
【拡充】 海外ビジネス支援事業 (再掲)	本市の強みである「食」分野を中心に、海外バイヤー等との商談機会を創出し、市内企業等の海外販路開拓を支援します。特に、東アジアなど有力市場をターゲットに「にいがたふうど」をブランドの核とし輸出拡大に取り組みます。	12,966 千円
農産物販売力強化促進事業	儲かる農業の実現に向け、県や農業団体と連携して、首都圏をはじめとする国内や海外の販路開拓・販売促進につなげます。	5,000 千円
食文化創造都市の推進	食や食文化を通じて新たな地域交流を生み出すため、民間事業者の食を活用した取組を支援します。また、「にいがたふうど」を広く魅力発信することにより、本市の食や食文化への理解や関心を深め、市産農水産物への誇りや親しみを醸成します。	2,946 千円
食と花のまちなかマルシェ支援事業	にいがた2kmエリアにおいて、食と花の魅力を発信するマルシェの開催を通じ、農村と都市の交流やまちの賑わい創出を図る取組を支援します。	4,000 千円
生産性向上と持続性の両立に向けたスマート農業技術の導入促進		
元気な農業応援事業	本市農業の持続的発展と、効率的で安定した農業の担い手の育成を目的に、需要に応じた米生産や園芸作物導入による経営の複合化、規模拡大や経営改善、農産物の付加価値向上のほか、園芸産地づくりに向けた取組を支援します。	778,309 千円
起業・創業しやすい環境づくり		
新潟IPC財団補助金 (コンサルティング事業ほか)	起業・創業相談や中小企業の経営課題の解決を総合的にサポートするとともに、各種支援事業の実施により、経営改善や新事業展開、人材育成など、経営力の向上に取り組みます。	87,186 千円
中小企業の開業へ向けた資金繰り支援	創業にかかる資金調達の円滑化を図るため、必要な経費を融資するとともに、信用保証料の補助や利子補給を実施します。	1,555,100 千円
新チャレンジショップ展開事業	店舗創業の希望者向けに創業支援セミナーを開催し、セミナー参加者のうち希望者に対し、期間限定で出店体験の機会を提供します。	6,000 千円
人中心のウォーカブルな空間形成		
【拡充】 地域の潜在資源を活用したリノベーションまちづくり推進事業 (再掲)	地域の潜在資源を活用した民間主導によるリノベーションまちづくりの推進に向け、民間プレイヤーと共に今後の指針となる戦略をまとめあげます。また、古町地区において、エリアマネジメントを担う、新たなプレイヤーの発掘や育成、事業化に向けた支援を行います。	20,000 千円
【拡充】 緑のまちなか空間創造事業	にいがた2kmエリアにおけるみどり豊かな魅力ある空間の創出と市民の緑化意識の向上を目的に、令和9年春の新潟駅万代広場のリニューアルにあわせた緑化イベント開催に向けた取組を進めるとともに、令和8年6月に花とみどりのイベントを開催します。あわせて、にいがた2kmエリアのみどりの演出を行います。	44,500 千円
【拡充】 東大通”人中心の空間づくり”推進事業 (再掲)	東大通において、人中心の魅力ある空間づくりを推進するため、万代広場供用後の検証など、道路空間の再構築に向けた検討を行います。	9,000 千円
にいがた2km「おいしさDX」産学官共創プロジェクト (再掲)	にいがた2kmを拠点に、新潟大学やIT事業者、飲食事業者、食品製造事業者と連携し「おいしさ」のDX化を図ることで、本市が誇る食関連産業の高付加価値化と、食による地域の魅力向上、フードデータを駆使する人材の輩出を目指します。	139,000 千円
歴史的まちなみの保全・活用事業	景観計画特別区域内において、歴史的建造物の保全又はこれと調和した街並みを創出する事業に対して助成を行います。さらに、同区域及びその周辺において、歴史的建造物を活用する事業に対し助成を行い、歴史的なまちなみの保全を図ります。	8,000 千円
新潟都心地区の魅力ある夜間景観創出事業	快適な都市空間の形成や、夜間の滞在率向上による交流人口の拡大を図るため、夜間の目的地となるための拠点整備(公共施設のライトアップ整備)を進めるなど、都心エリアの魅力ある夜間景観の創出に取り組みます。	2,500 千円
新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン推進事業	新潟駅・万代地区周辺将来ビジョンの具現化に向け、エリア関係者で情報と課題を共有するとともに、公民連携のまちづくりを推進し、エリアの新たな魅力と価値を創出するため、エリアプラットフォームでの事業の実施や運営等を行います。	7,000 千円
にいがた2km・8区連携オープンイノベーション推進事業	にいがた2kmと8区の連携をさらに推進し、国内外から稼げる事業を創造することを目的に、多様な主体が繋がり・共創する「オープンイノベーション」を実施するとともに、創出された民間事業を支援します。	10,000 千円

事業名	事業概要	予算額
人中心のウォーカブルな空間形成(つづき)		
にいがた2km魅力創造・8区連携支援補助金	稼げる都心の実現と賑わいの創出を図るため、にいがた2kmエリアにおいて新たな魅力やビジネスを創造する事業、「にいがた2km×8区連携」の促進に寄与する事業などに対し補助を行います。	20,000 千円
にいがたまちあそび学校KAIKOU! 推進事業	若い世代が「まち」や「ひと」とつながり、主体的にまちづくりに関わってもらうことを目的に、公民連携で「にいがたまちあそび学校KAIKOU!」を運営し、都心エリア「にいがた2km」で、まちを知る、学ぶ、体験する＝まちあそびを通してまちの豊かさに触れる機会を作ります。	2,000 千円
にいがた2km魅力発信事業	「にいがた2km」のまちづくりの取組について、市内外の関心を高め、共感を呼び、ワクワク感や期待感を醸成するため、「にいがた2km」特設HP「ニイガタニキロニュース」の運用などを通じて魅力発信を行います。	3,700 千円
都心エリア水辺空間にぎわい創出事業	都心の水辺空間のにぎわい創出のため、「ミズベリング信濃川やすらぎ堤」を実施します。	1,650 千円
古町フル周辺公共空間滞在価値向上事業	古町エリアの滞在価値向上につなげるため、古町7モールの自転車駐輪のあり方を含む道路空間の再構築や、良好な景観の誘導など、公共空間の居心地の良さや利活用の向上に取り組みます。	11,000 千円
万代島にぎわい空間創出事業	万代島地区の更なるにぎわい創出と活性化のために、行政と民間企業が一体となり進めている「万代島地区将来ビジョン」の実現に向け、万代島多目的広場やピアBandaiの取組を通じ、万代島地区のにぎわいを創出します。	29,828 千円
交通ネットワークの強化・充実		
【新規】 みんなで支える生活交通サポート事業 (再掲)	地域の実情に合わせた移動の確保に向け、現行住民バスの制度の見直しに取り組むとともに、地域の細やかなニーズに対応するため、新たなサポート制度創出の検討を行います。	9,000 千円
【新規】 生活交通効率化事業 (再掲)	予約型乗合バスの社会実験を南区、西蒲区の一部地域で開始し、利便性向上を図ります。	40,600 千円
【拡充】 路線バス運行の円滑化 (再掲)	バス交通ネットワークの維持、市民の移動手段の確保に向けた調査検討を行うとともに、南北軸強化に向けて、新たに駅南方面への連節バス運行の社会実験を実施します。	13,000 千円
【拡充】 区バス・住民バス等運行事業 (再掲)	区バス、エリアバス×タクの運行や、地域が主体となって運行する住民バスに対して、運行費補助や新規立ち上げに向けた社会実験等の支援を行い、生活交通の確保に努めます。	229,725 千円
新たなバス運転士応援事業 (再掲)	路線バス等を運行する事業者の運転士不足の解消に向け、大型二種運転免許の取得支援や、新たに就業した運転士への家賃補助など、運転士人材の確保を公民連携で取り組みます。	12,000 千円
バス利用者の維持・増加に向けた取り組みを通じた公共交通の維持 (再掲)	バス無料デーや中高生世代のりゅうとポイント等の配布など、バスの利用喚起、利用促進の取り組みを通じて、バス利用者の定着、増加へとつなげていき、バス交通の維持に取り組みます。	(繰越分) 12,000 千円
		98,000 千円
高齢者おでかけ促進事業	高齢者のおでかけを促進するため、バス運賃を半額にする「シニア半わり」を実施し、公共交通の利用促進と健康寿命の延伸につなげます。	273,911 千円
自転車走行空間の整備	歩行者、自転車、自動車が安全に利用できる道路空間を確保するため、車道路肩に自転車の走行空間を示す路面標示の設置などの整備を実施します。	17,300 千円
上所駅周辺整備事業	公共交通の利便性向上を図るため、上所駅の駅前広場の整備を推進します。	228,000 千円
巻駅周辺整備事業	巻駅について、西口駅前広場、自由通路の整備と併せてバリアフリー化を推進します。	62,500 千円

事業名	事業概要	予算額
交通ネットワークの強化・充実(つづき)		
越後石山駅周辺整備事業	越後石山駅について、東口駅前広場、自由通路の整備と併せてバリアフリー化を推進します。	336,200 千円
拠点機能の充実・強化		
【新規】 新潟空港特定天井改修工事費負担金	新潟空港の耐災害性を強化するため、ターミナルビルの特定天井改修に係る工事費について、県と連携して支援します。	102,000 千円
新潟空港整備事業費負担金	国が行う新潟空港の滑走路改良や、灯火施設等の整備費を負担することで、空港機能の改善、強化を図ります。	120,887 千円
新潟空港利用活性化促進事業	県や関係団体と連携し、既存路線の維持・拡充や新規路線の誘致、新潟空港の利用促進に向けた機運醸成に取り組みます。食や自然、佐渡島への周遊など、本市の観光の魅力をPRすることで路線の認知度向上を図り、利用促進に繋がります。	206,587 千円
クルーズ船誘致推進事業 (再掲)	国内・海外クルーズ船のさらなる誘致に向け、県や関係団体と連携した船社、旅行社へのセールス活動や、クルーズ船寄港時の受入体制の強化に取り組みます。	27,300 千円
鳥屋野潟南部地区の総合的な整備 (再掲)	都心の機能を補完する鳥屋野潟南部地区において、交流・にぎわいなどの複合拠点の形成に向け、都市計画道路(鳥屋野潟南部東西線)の整備に取り組みます。	982,146 千円
みなと拠点化・活性化推進事業	新潟港の利用活性化を図るため、コンテナ貨物の輸出支援や、ポートセールス、港湾施設の整備促進等に取り組みます。	1,500 千円

ポストコロナの社会経済環境の変化への対応を後押しし、付加価値の高い新事業への展開や、新たな市場への販路開拓、設備投資による生産性の向上を支援するとともに、デジタル化・脱炭素化による競争力強化に取り組む企業を支援します。

起業・創業しやすい環境を整えるとともに、食や農をはじめとする新潟市の強みを活かした新たなビジネスの創出と成長産業の育成を図ります。高等教育機関の人口当たりの数が政令指定都市トップクラスであり、未来を支える優れた人材を輩出している強みも活かしながら、企業誘致や産業集積を図り、多様で魅力ある雇用を創出します。

事業名	事業概要	予算額
経営課題の解決に向けた支援		
ブランド力向上・魅力発信サポート事業 (再掲)	従業員の質上げ環境整備のため一層の利益確保を図る市内中小企業者に対し、自社の企業・商品・サービスイメージをブランディングし発信する広報・宣伝等の取組を支援します。	(繰越分) 80,000 千円
オープンネーム事業承継推進事業	後継者確保に課題を抱える市内中小事業者を支援するため、事業者名等を公開して後継者を募集するオープンネームによる第三者承継を推進することで、事業活動の継続及び雇用の維持を図るとともに、承継に伴う創業者・移住者の増加を目指します。	3,200 千円
新潟IPC財団補助金 (コンサルティング事業ほか) (再掲)	起業・創業相談や中小企業の経営課題の解決を総合的にサポートするとともに、各種支援事業の実施により、経営改善や新事業展開、人材育成など、経営力の向上に取り組みます。	87,186 千円
地域経済の持続的発展に向けた取組		
【新規】 食の1.5次加工調査分析事業 (再掲)	食の1.5次産業の確立に向け、市内生産者等に対し現状の調査を行い、結果の分析と課題の洗い出しを行ったうえで、効果的な支援策を検討します。	4,500 千円
【拡充】 地域の潜在資源を活用したリノベーションまちづくり推進事業 (再掲)	地域の潜在資源を活用した民間主導によるリノベーションまちづくりの推進に向け、民間プレイヤーと共に今後の指針となる戦略をまとめあげます。また、古町地区において、エリアマネジメントを担う、新たなプレイヤーの発掘や育成、事業化に向けた支援を行います。	20,000 千円
デジタルを活用したまちづくりプラットフォーム推進事業	にいがた2kmエリアを再現した3D仮想空間において、人々の行動や思いなどのAIによるデータ分析や、人流・交通の変化などのシミュレーションを行うデジタルツインの構築に向け、先端技術を有する企業群等とのプラットフォームにより検討を行います。	10,000 千円
にいがた2km「おいしさDX」産学官共創プロジェクト (再掲)	にいがた2kmを拠点に、新潟大学やIT事業者、飲食事業者、食品製造事業者と連携し「おいしさ」のDX化を図ることで、本市が誇る食関連産業の高付加価値化と、食による地域の魅力向上、フードデータを駆使する人材の輩出を目指します。	139,000 千円
にいがた2km・8区連携オープンイノベーション推進事業 (再掲)	にいがた2kmと8区の連携をさらに推進し、国内外から稼げる事業を創造することを目的に、多様な主体が繋がり・共創する「オープンイノベーション」を実施するとともに、創出された民間事業を支援します。	10,000 千円
にいがた2km魅力創造・8区連携支援補助金 (再掲)	稼げる都心の実現と賑わいの創出を図るため、にいがた2kmエリアにおいて新たな魅力やビジネスを創造する事業、「にいがた2km×8区連携」の促進に寄与する事業などに対し補助を行います。	20,000 千円
つながる商店街支援事業 (再掲)	地域コミュニティの大切な拠点である商店街の独自の文化や魅力が将来につながるよう、商店街が行う賑わい創出、消費拡大の取り組みに係る費用の一部を補助します。	37,000 千円
空き店舗等活用事業 (再掲)	市内商店街エリア等の賑わいの創出を図るため、エリア内の空き店舗等を活用して事業を始める方を対象に、改装費の一部を補助します。	12,819 千円
商店街環境整備事業 (再掲)	商店街の振興及び美化を図り、あわせて消費者に便利で快適な買い物場を提供するため、商店街の共同施設の改修等に係る費用を支援します。	18,900 千円
海外ビジネスの推進		
【拡充】 海外ビジネス支援事業 (再掲)	本市の強みである「食」分野を中心に、海外バイヤー等との商談機会を創出し、市内企業等の海外販路開拓を支援します。特に、東アジアなど有力市場をターゲットに「にいがたふうど」をブランドの核とし輸出拡大に取り組みます。	12,966 千円

事業名	事業概要	予算額
所得拡大に向けた販売力の強化		
【拡充】 「にいがたふうど」で繋ぐブランド力強化事業	(再掲) 本市の食の魅力や背景をまとめた「にいがたふうど」で「食」に関する取組を繋ぎ、ブランド力を強化することで、輸出促進やインバウンド需要喚起等による地域内の消費拡大を図ります。	15,000 千円
農産物販売力強化促進事業	(再掲) 儲かる農業の実現に向け、県や農業団体と連携して、首都圏をはじめとする国内や海外の販路開拓・販売促進につなげます。	5,000 千円
食と花の世界フォーラム	産官学で構成する食と花の世界フォーラム組織委員会による食の国際総合見本市「フードメッセinにいがた」の開催などを通じ、本市の強みである食と農の新たなビジネスチャンスにつなげます。	29,000 千円
デジタル化・脱炭素化による競争力強化		
【新規】 ペロブスカイト太陽電池社会実装推進事業	(再掲) 次世代型太陽電池「ペロブスカイト太陽電池」の原料の産地である本市において、地域の活性化及び脱炭素の加速化につなげるため、同電池の実証支援や普及啓発等により、地域の需要創出を図ります。	8,000 千円
業務効率専門家派遣事業	(再掲) デジタル技術活用による市内中小企業者の業務効率化・生産性向上を図るため、民間専門家派遣を実施し、デジタル化に向けた取組を支援します。	(繰越分) 10,000 千円
LED照明導入促進補助金	(再掲) エネルギー価格高騰の影響を受ける市内中小企業者に対し、消費電力を大幅に抑え、電気料金の削減を図るため、投資効果の高いLED照明の導入を支援します。	(繰越分) 100,000 千円
省エネ・創エネ対応設備導入支援事業	(再掲) エネルギー価格高騰の影響を受ける市内中小企業等に対し、太陽光発電設備等の導入への補助を通じ、電力価格高騰への対策を促し、脱炭素経営を支援します。	(繰越分) 40,000 千円
人材育成支援事業	製造業及び物流業のデジタル化や生産性向上を図る人材を育成するとともに、情報通信業において不足するIT人材の育成を促進するため、研修費用の一部を助成します。	2,300 千円
省力化・省エネ化補助金	製造業及び物流業における、人手不足の緩和や生産コストの削減を図るため、省力化・省エネ化に資する生産設備やデジタル技術の導入に要する費用の一部を補助します。	26,000 千円
新潟地域脱炭素社会推進パートナーシップ会議運営	市内事業者や団体等と行政をメンバーとし、勉強会や情報交換等を通じて、省エネ・再エネなど脱炭素に関する事業展開を支援します。	2,390 千円
働き方改革など職場環境の整備		
【新規】 女性に魅力ある職場づくり支援事業	(再掲) 女性が働きやすく活躍できる職場を増やすために、中小企業等を対象に、専門家や学生の生の声を聴く機会を設け、企業の意識向上を図ります。	1,000 千円
働き方改革推進事業	経営者等に向けたセミナーの開催、働きやすい職場づくりに取り組む企業の表彰を実施します。また、専用サイトを活用し、国・県・市の支援制度の情報発信や企業間ネットワークの活性化を図り、支援機関や経済団体等と連携しながら、企業の働き方改革の推進及び人材確保・定着を支援します。	5,716 千円
人材確保・育成に向けた支援		
【新規】 官民連携による建設業担い手確保事業	(再掲) 若年就業者の減少や高齢化が他産業と比較しても特に顕著な建設業は、将来にわたる担い手不足が深刻化しています。地域からの人材流出の防止や持続可能な建設業の実現に向け、具体的な適応策の検討にあたるプラットフォームの立ち上げ支援に取組みます。	500 千円
【拡充】 市内就労促進事業	(再掲) 次代の担い手である若者の地元就職への意識醸成を促進するため、経済団体や地元大学など関係機関と連携して交流会などを開催するとともに、新たに新潟で暮らす魅力・働く魅力を伝えるためのセミナーを実施するほか、市内外に企業情報を発信することで人口の流出抑制と流入促進を図ります。	4,000 千円
生成AIビジネスリサーチ・システム運用事業	(再掲) 市内事業者の採用力強化を図り、人手不足の解消と稼ぐ力の向上につなげるため、ビジネスリサーチの一連のプロセスをAIが自動的に実行するシステムを構築し、市内事業者等がいつでも利用できる環境を提供します。	(繰越分) 12,000 千円
新規採用活動支援事業	(再掲) 市内中小企業の人材確保と大学生等の市内就労を促進するため、自社の採用ホームページ等を有効活用して魅力を発信する企業のほか、リクルーターの養成やインターンシッププログラムの構築に取り組む企業を支援します。	16,000 千円

事業名	事業概要	予算額
人材確保・育成に向けた支援(つづき)		
企業参加型奨学金返済支援事業	若者の市内就労の促進と企業の人材不足解消を目指し、奨学金の返済を抱える新規学卒者等の経済的負担を諸手当等により支援する企業の支援額の一部を支援します。	4,400 千円
デジタル技術を活用した地域就労モデル構築事業	(再掲) 事業者の人手不足の解消と多様で柔軟な働き方ができる環境を広げるため、本市公式の単日短時間就労マッチングサービス「にいがたCITYマッチボックス」を運営するとともに、在宅テレワーカー育成・活用支援のための施策を実施します。	32,200 千円
探究学習推進事業	市立高等学校等の魅力化・特色化を図るとともに、将来の市内就労やUIJターンにつながるよう、地元への誇りと愛着の醸成を図るため、市立高等学校等の探究的な学習の充実に向けた取組を実施します。	2,472 千円
起業・創業しやすい環境づくり		
中小企業の開業へ向けた資金繰り支援	(再掲) 創業にかかる資金調達の円滑化を図るため、必要な経費を融資するとともに、信用保証料の補助や利子補給を実施します。	1,555,100 千円
新チャレンジショップ展開事業	(再掲) 店舗創業の希望者向けに創業支援セミナーを開催し、セミナー参加者のうち希望者に対し、期間限定で出店体験の機会を提供します。	6,000 千円
社会の変化を見据えた新規事業創出の支援		
新潟IPC財団補助金(地域イノベーション戦略推進事業)	(再掲) 新潟IPC財団と連携し、地域産業の持続的な発展に向け、航空機関連産業における販路拡大支援のほか、市内企業のデジタル化やDXの推進による生産性や付加価値の向上に向けた支援をしていきます。	13,586 千円
戦略的な企業立地・誘致の推進		
【拡充】 デジタル・イノベーション企業立地促進補助金	(再掲) にいがた2kmエリアを中心に、情報通信関連産業の集積と、多様で魅力的な雇用の場の創出を図るため、本市に進出するIT企業に対し、オフィス賃借料を支援します。既存ビルへの賃料補助を拡充し、企業誘致をさらに推進します。	283,000 千円
企業誘致促進事業@新潟サテライトオフィス	(再掲) 民間のネットワークと知見を活用し、首都圏等に本社を置く企業を対象に本市のビジネス環境を体験する機会を提供するとともに、市内企業や教育機関とのマッチングなど事業活動を支援することで、企業誘致をさらに推進します。	17,750 千円

意欲ある担い手への農地の利用集積・集約化を推進するとともに、需要に応じた多様な米生産への取組を進めます。園芸作物の導入による経営の複合化や、大規模な園芸産地の形成、6次産業化や農商工連携を進めるとともに、スマート農業技術やデジタル技術の導入を支援することで、生産性・収益性の向上を図ります。さらに園芸作物の生産拡大とあわせて多様な販売先を確保するため、オール新潟体制で新たな需要開拓や市内農産物のPR活動に積極的に取り組みます。また、子どもたちが農業や食文化に触れ、理解を深める機会の拡大にも取り組みます。

事業名	事業概要	予算額
「儲かる農業」に向けた農業生産基盤の整備・保全		
未来へつなぐ地域農業支援事業	効率的な農業経営に向け、簡易な基盤整備を推進するとともに、「田んぼダム」の取組地域において、国事業を活用した農業用排水路の更新整備を支援します。また、農地バンクを活用した分散農地の集約化と合わせ、農業法人の経営発展に向けた設備投資を推進します。	28,544 千円
農地集約化促進事業	地域の中心となる経営体への農地集積や分散化している農地の集約化を円滑に進めるため、農地中間管理機構を通じた農地の集約化に取り組む地域を支援します。	8,974 千円
ほ場整備の推進	本市農業の競争力向上に繋がる、農地の大区画化や汎用化を促進し、併せて、担い手への農地の集積・集約を進めるために、ほ場整備事業を支援します。	(繰越分) 306,000 千円 62,386 千円
農業水利施設等の保全管理・長寿命化	市域の25%がゼロメートル地帯である本市において、豊かな農業生産を支え、都市部における安心・安全な生活を守る農業水利施設の適正な維持管理・整備更新を図るとともに、老朽化した施設の長寿命化対策を進めます。	602,351 千円
新たな需要に応える農産物の生産体制の強化		
元気な農業応援事業 (再掲)	本市農業の持続的発展と、効率的で安定した農業の担い手の育成を目的に、需要に応じた米生産や園芸作物導入による経営の複合化、規模拡大や経営改善、農産物の付加価値向上のほか、園芸産地づくりに向けた取組を支援します。	778,309 千円
地域資源を活用し、コミュニティの活力を創出		
農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮	農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農用地・水路・農道等の地域資源の適切な保全管理の推進を目的に、農業者や地域住民が実施する共同活動を支援します。また、活動組織の体制強化や地域共同で行う環境負荷低減の取組を促進します。	1,585,550 千円
6次産業化サポート事業	農業者や食品関連事業者を対象に、農産物の付加価値向上に向けた相談業務やセミナーを実施するほか、新たな事業展開に必要な加工機械・施設の導入等を支援することで、6次産業化や農商工連携の取り組みを進めます。	4,535 千円
生産性向上と持続性の両立に向けたスマート農業技術の導入促進		
みどりの農業推進事業 (J-クレジット普及推進事業)	温室効果ガスの排出削減量・吸収量を国が認証する「J-クレジット制度 (AG005:水稲栽培における中干し期間の延長)」を活用し、環境に配慮した持続可能な農業を推進するとともに、事業で得られたクレジットにより、地域農業や企業の環境保全活動の活性化を図ります。	6,300 千円
みどりの農業推進事業 (環境負荷低減農業研究費)	持続可能な農業の実現を目的に、新潟県、JA、市場、研究機関等と連携し、生産性の向上・猛暑高温対策・環境負荷低減等、産地の抱える課題を解決するための栽培実証試験を行い、その結果や技術情報を産地に向けて発信します。	1,290 千円
所得拡大に向けた販売力の強化		
農産物販売力強化促進事業 (再掲)	儲かる農業の実現に向け、県や農業団体と連携して、首都圏をはじめとする国内や海外の販路開拓・販売促進につなげます。	5,000 千円
食と花の世界フォーラム (再掲)	産官学で構成する食と花の世界フォーラム組織委員会による食の国際総合見本市「フードメッセinにいがた」の開催などを通じ、本市の強みである食と農の新たなビジネスチャンスにつなげます。	29,000 千円
新潟の農水産物と食文化を全国に発信		
【拡充】 「にいがたふうど」で繋ぐブランド力強化事業 (再掲)	本市の食の魅力や背景をまとめた「にいがたふうど」で「食」に関する取組を繋ぎ、ブランド力を強化することで、輸出促進やインバウンド需要喚起等による地域内の消費拡大を図ります。	15,000 千円

事業名	事業概要	予算額
新潟の農水産物と食文化を全国に発信(つづき)		
【拡充】 海外ビジネス支援事業 (再掲)	本市の強みである「食」分野を中心に、海外バイヤー等との商談機会を創出し、市内企業等の海外販路開拓を支援します。特に、東アジアなど有力市場をターゲットに「にいがたふうど」をブランドの核とし輸出拡大に取り組みます。	12,966 千円
食文化創造都市の推進 (再掲)	食や食文化を通じて新たな地域交流を生み出すため、民間事業者の食を活用した取組を支援します。また、「にいがたふうど」を広く魅力発信することにより、本市の食や食文化への理解や関心を深め、市産農水産物への誇りや親しみを醸成します。	2,946 千円
食と花のまちなかマルシェ支援事業 (再掲)	にいがた2kmエリアにおいて、食と花の魅力を発信するマルシェの開催を通じ、農村と都市の交流やまちの賑わい創出を図る取組を支援します。	4,000 千円
意欲ある担い手等の確保・育成		
【新規】 女性の就農環境改善事業 (再掲)	女性の就農・就業の定着に向けて、女性が働きやすい就労環境の改善のためのトイレ等の設備導入や女性活躍のための新たな取組を支援します。	5,000 千円
【新規】 新規就農者の確保体制の整備事業 (再掲)	本市農業の持続的発展のため、就農に関する相談体制を整備するとともに支援内容の情報発信や周知啓発を行い新規就農者の確保に取り組みます。	2,000 千円
【拡充】 にいがたagribase事業 (再掲)	新規就農者の栽培技術向上をはじめ、経営安定化のため、伴走型の支援を行うほか、親元等で就農する農業者を支援するとともに、新たに企業の農業参入を支援するなど、新規就農者をはじめ多様な担い手の確保・育成に取り組みます。	27,800 千円
新規就農者経営開始資金	独立・自営する認定新規就農者の、初期投資の軽減や経営の安定化を図るため、経営開始資金の支援を行います。	20,333 千円
食と農への理解促進とシビックプライドの醸成		
食と農のわくわくSDGs学習推進事業	主に小学校高学年から専門学校・大学までを対象とした食と農に関する探究的な学習を推進し、本市の豊かな食や農への理解を深め、地域への誇りや愛着、生きる力を培うとともに、本市の農業や食品産業を支える人材づくりにつなげます。	7,113 千円
食と花の交流センターの管理運営、食育・花育センターの管理運営	本市が誇る食と花の魅力を市内外に発信し、多くの人にその魅力に触れる機会を提供することにより、食と花の販路拡大及び農村と都市の交流を推進します。また、食と花を一体的に学ぶことができる場を提供することにより、市民の食育及び花育を推進します。	112,790 千円
食育推進事業	食育推進計画に基づき、本市の特色ある基盤を生かした食育活動を推進し、市民の食育に関する理解と関心を深めます。特に、食の課題が多い若い世代に向けて、大学や企業等と連携しながら重点的に働きかけ、食に対する興味・関心を高める取り組みを実施します。	1,997 千円
林業・水産業の環境整備		
森林経営管理事業	森林資源の適切な管理を推進するため、森林経営管理制度に基づく意向調査や境界明確化などを行います。	16,500 千円
【新規】 民有林整備支援事業	森林整備のさらなる促進に向け、林業経営体が森林経営計画に基づいて行う森林整備に対し、林齢や地形条件等に応じた支援を行います。	26,000 千円
森林整備活動支援事業	市民と協働して海岸保安林等の森林環境を保全するため、ボランティア団体等が行う森林整備活動に対して支援を行います。	4,500 千円
漁港整備事業	国の補助事業を活用し、松浜漁港の長寿命化に資する計画策定、新川漁港の浚渫工事、離岸堤復旧工事、巻漁港の飛砂防止柵の実施設計などを行い、漁港施設の長寿命化および効率的な維持管理に努めます。	(繰越分) 108,000 千円 29,000 千円

重点戦略

4 魅力と拠点性を活かした交流人口の拡大

新潟市が有する文化やスポーツ、食や農をはじめとした多彩な魅力をさらに磨き上げるとともに、デジタル技術やデータなどを活用しながら、外国人旅行者への対応など来訪者へのおもてなし態勢を強化します。また、全国・世界とつながる高速交通ネットワークを有する拠点性を活かし、県内外の自治体との広域連携による誘客活動を積極的に展開します。

そして、官民のパートナーシップによりポストコロナに適した観光スタイルを構築・推進し、新潟市への観光マインドを活性化させ、訪れたいまちとして国内外から選ばれる新潟市を目指します。

事業名	事業概要	予算額
持続可能な観光の推進とおもてなし態勢の強化		
観光客おもてなし態勢推進事業 (再掲)	多言語メニュー整備やキャッシュレス決済導入など、外国人観光客等の受入れ環境の整備を支援するとともに、着地型観光コンテンツの造成を促進するなど、民間事業者と連携して観光客のおもてなし態勢の充実に図ります。	8,000 千円
古町芸妓等の育成支援	みなとまち新潟の文化を象徴する古町芸妓のほか、万代太鼓や民謡の担い手育成を支援し、本市の特徴ある観光資源の保全及びその発展を図ります。	6,580 千円
観光循環バス運行事業	市内中心部の観光スポットを結ぶ観光循環バスを運行し、来訪者の利便性の向上とまちなかへの誘客を図ります。	7,492 千円
特色ある文化芸術で地域振興		
【新規】「アニメのまちにいがた」PRプロジェクト事業 (再掲)	2026 JCI ASPAC新潟大会の開催に合わせ、会場周辺などでアニメ音楽の演奏を行うほか、マンガ・アニメ情報館やマンガの家の取り組みを積極的に広報し回遊性を高めるなど、「アニメのまちにいがた」のPRを図り、国内外からの継続的な誘客につなげます。	3,000 千円
アニメーションを活用したまちの魅力向上事業 (再掲)	アニメーション映画のコンペティションやシンポジウム、人材育成プログラムなどを実施する「新潟国際アニメーション映画祭」を支援し、「マンガ・アニメのまちにいがた」のイメージアップとマンガ・アニメによる地域振興を図ります。	5,000 千円
マンガ・アニメのまちづくり推進事業 (再掲)	「マンガ・アニメを活用したまちづくり構想」に基づき、多分野活用に向けた民間団体等との意見交換会やプロが講師を務める体験機会の提供などを行い、マンガ・アニメ文化のさらなる発展を目指します。	2,597 千円
マンガ・アニメ情報館及びマンガの家の管理運営 (再掲)	マンガ・アニメの魅力や楽しさに触れる機会を広く提供するため、多様な作品の展示を行うほか、こどもたちを対象に制作体験などを実施します。	104,172 千円
水がつながる各地域の歴史・文化の魅力発信事業 (広域合併20周年企画) (再掲)	広域合併20周年を記念し、本市に特徴的な川湊や潟の歴史・文化を発信する映像を作成し、文化観光の発展を図ります。	3,000 千円
歴史博物館企画展等実施事業 (再掲)	地域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めるとともに、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与することを目的として、館所蔵資料などの研究・活用を通して企画展を開催します。	8,708 千円
新津鉄道資料館企画展等実施事業	新津鉄道資料館の充実とまちなかの活性化や交流人口の拡大を目的に、新潟・新津の地域資源である「鉄道文化」を積極的に活用し、その魅力を、地域や各種関連団体等との連携により、全国に向けて発信します。	3,518 千円
スポーツを通じた交流の推進		
【新規】アリーナの実現を核とした白山エリアのスポーツ施設再編事業 (再掲)	まちの活力と賑わいのさらなる創出を図り、県都・政令市新潟の拠点性向上や交流人口の拡大につなげるため、アリーナの実現を核とした白山エリアのスポーツ施設再編について、本格的な検討を進めます。	20,000 千円
新潟シティマラソンの開催 (再掲)	フルマラソン等に加え、年齢や障がいの有無を問わず参加できる種目、ユニバーサルランを実施し、市民の健康保持・増進を図ります。さらに、姉妹大会の佐渡トキマラソンとの連携により、一層魅力的な大会を開催します。	37,500 千円
新潟の個性・魅力と拠点性を活かした誘客の促進		
【新規】ASPAC新潟大会魅力発信等事業 (再掲)	国際会議として約8,000人の来訪が見込まれる2026 JCI ASPAC新潟大会において、新潟の魅力の発信や来訪者のおもてなし、市民の歓迎機運の醸成を図る取組を支援することで、交流人口の拡大につなげます。	18,000 千円

事業名	事業概要	予算額
新潟の個性・魅力と拠点性を活かした誘客の促進(つづき)		
【新規】 世界湿地都市ネットワーク市長会議	(再掲) ラムサール条約の湿地都市認証を受けた都市による国内初の国際会議「世界湿地都市ネットワーク市長会議」を、令和8年11月30日～12月2日に本市で開催します。	35,000 千円
【拡充】 ラムサール条約都市推進事業	(再掲) 11月の「世界湿地都市ネットワーク市長会議」の開催に向けて、様々なプロモーション等を展開しながら、都市と自然が調和する本市の特色や保全・利活用の取組みを「国際湿地都市NIIGATA」として、内外に発信するとともに、市民団体等の活動への支援のほか、佐潟の再生などに引き続き取り組みます。	27,200 千円
【新規】 にしかん・やひこ 遊・誘・湯めぐりプロジェクト	(再掲) 岩室温泉と弥彦温泉の連携を強化し、泉質の違いを活かした誘客キャンペーンを実施するとともに、広域でのプロモーションを展開することで、エリア全体のさらなる交流人口の拡大と魅力向上を図ります。	8,700 千円
【新規】 広報力強化推進事業	シティブロモーション分野を中心に、デザイン、広報PRなどの専門人材を活用し、庁内の情報発信を支援することで、来訪者や利用者の増加などにつながる広報力強化を推進します。	4,500 千円
【拡充】 「食」を活かした誘客の推進	(再掲) 「食といえば新潟」のイメージ定着を図るとともに、滞在時間の延長と消費の拡大につなげるため、新潟ラーメンと日本酒をはじめとした本市の多様な食の情報インフルエンサーから発信してもらうほか、民間事業者による観光コンテンツ化の支援などに取り組みます。	26,000 千円
【拡充】 外国人誘客促進事業	(再掲) 外国人観光客の来訪意欲と消費を促すため、地域の商業施設と連携した各種特典を整備するとともに、新たに本市ならではの「食体験」をテーマとしたツアー造成に取り組みほか、旅行会社への支援を拡充し誘客活動を強化します。	34,000 千円
【拡充】 佐渡連携誘客事業	(再掲) 佐渡・新潟エリアへの新規観光客の獲得と周遊を促し、本市での滞在時間の延長及び消費拡大を図るため、新たにアニメキャラクター等を活用したプロモーションに取り組みます。	18,000 千円
外国人向け案内表示整備事業	(再掲) 外国人観光客等のまちなかでの回遊性を高め、来訪者の満足度向上を図るため、万代及び古町エリアに矢羽根型の案内サインを整備します。	16,700 千円
にいがた2km「おいしさDX」産学官共創プロジェクト	(再掲) にいがた2kmを拠点に、新潟大学やIT事業者、飲食事業者、食品製造事業者と連携し「おいしさ」のDX化を図ることで、本市が誇る食関連産業の高付加価値化と、食による地域の魅力向上、フードデータを駆使する人材の輩出を目指します。	139,000 千円
クルーズ船誘致推進事業	(再掲) 国内・海外クルーズ船のさらなる誘致に向け、県や関係団体と連携した船社、旅行社へのセールス活動や、クルーズ船寄港時の受入体制の強化に取り組みます。	27,300 千円
新潟空港利用活性化促進事業	(再掲) 県や関係団体と連携し、既存路線の維持・拡充や新規路線の誘致、新潟空港の利用促進に向けた機運醸成に取り組みます。食や自然、佐渡島への周遊など、本市の観光の魅力PRすることで路線の認知度向上を図り、利用促進に繋がります。	206,587 千円
MICE開催の支援	(再掲) 各種会合やスポーツ大会の主催者等に対し、開催補助金をはじめとする充実した支援制度を有することや、食、みなどまち文化、豊かな自然といった本市の魅力を積極的にアピールすることで、経済波及効果の大きいMICE誘致を推進します。	50,000 千円
広域連携誘客の推進	(再掲) 観光振興に関する連携協定を締結している会津若松市などとの都市間連携をはじめ、テーマで結ばれた都市との連携により交流拡大や地域活性化につなげるとともに、本市をメイン会場に北前船寄港地フォーラムを開催します。	17,800 千円
観光資源・観光イベントの充実	(再掲) 新潟まつりやにいがた総おどりなど、本市の魅力発信や交流人口拡大に資する観光イベントの開催を支援します。	86,300 千円
魅力発信・誘客の推進	(再掲) 観光パンフレットの作成や公式観光ホームページ等により観光情報を発信するとともに、首都圏や近県、国内線就航地等での誘客キャンペーンやセールスを実施することで、本市へのさらなる誘客につなげます。	20,288 千円
新潟観光コンベンション協会との連携	(再掲) 交流人口の拡大につなげるため、「新潟観光コンベンション協会」と連携し、本市の魅力発信をはじめ、MICE誘致、観光案内センターの運営などの活動を展開します。	176,879 千円

5 新潟暮らしの魅力発信と多様な支援による移住・定住の促進

新潟への誇りと愛着を醸成しながら、市内外で新潟暮らしの魅力を実感するとともに、若者に対する市内就労への意識醸成や、市内企業を知ってもらう取組を強化します。

移住セミナーでの情報発信はもとより、移住検討者・UIターンによる就業者・移住者向けの多様な支援の展開に加え、将来的なUターンや移住を見据えた継続的なつながりを持ち続ける「関係人口」の創出に取り組むことで、新しい人の流れを生み出します。

事業名	事業概要	予算額
自己実現していく力の育成		
探究学習推進事業 (再掲)	市立高等学校等の魅力化・特色化を図るとともに、将来の市内就労やUIターンにつながるよう、地元への誇りと愛着の醸成を図るため、市立高等学校等の探究的な学習の充実に向けた取組を実施します。	2,472 千円
地域と学校・社会教育施設の協働		
コミュニティ・スクール推進事業	各学校の学校運営協議会において保護者、地域、学校が一体となつてこどもを取り巻く課題や育てたいこどもの姿について議論や協働を重ね、共にこどもの成長を支える学校づくりを進めます。	29,094 千円
地域とともにある学校づくり推進事業	コミュニティ・スクール講座の開催により、学校運営協議会の協働プロセスの構築やマネジメントスキルの向上など機能の充実を図ります。また、学校や地域を取り巻く課題解決に先進的に取り組んでいる学校を募集し、その取組を支援します。	2,628 千円
こどもふれあいスクール事業	小学校PTAと教育委員会の共催により、週1～3回平日の放課後や土曜日の午前中に小学校の体育館や余裕教室などで、児童の自由遊びを基本にした「こどもふれあいスクール」を開催します。	21,910 千円
地域と学校パートナーシップ事業	学校教育活動のさらなる充実を図り、学・社・民の融合による教育を進めることを目的として、地域教育コーディネーターを配置し、学校と社会教育施設、地域活動を結ぶネットワークづくりなどに取り組みます。	167,286 千円
活動の担い手育成・確保		
地域力UPチャレンジ事業	地域コミュニティ協議会が実施する、地域課題解決の実践にかかる経費の一部を補助します。本事業を通じて、地域課題を解決に導ける地域人材の育成や新たな担い手の発掘、課題解決力の向上を目指します。	4,805 千円
市民活動支援センターの運営	市民活動支援センターにおいて、市民公益活動に関する情報収集・情報提供や各種団体の交流支援、人材育成などの事業を行い、さまざまな団体の市民公益活動を全般的に支援します。	27,115 千円
新潟暮らしの魅力発信		
新潟暮らし魅力発信事業	新潟暮らしの優位性や魅力について、移住定住ポータルサイトや移住相談、移住セミナーなどで市内外に広く発信し、本市へ移住者を呼び込みます。また、移住後の生活を安心して送れるよう、移住者の定住に向けた取組を行います。	8,500 千円
市内への就労促進		
【拡充】 市内就労促進事業 (再掲)	次代の担い手である若者の地元就職への意識醸成を促進するため、経済団体や地元大学など関係機関と連携して交流会などを開催するとともに、新たに新潟で暮らす魅力・働く魅力を伝えるためのセミナーを実施するほか、市内外に企業情報を発信することで人口の流出抑制と流入促進を図ります。	4,000 千円
デジタル技術を活用した地域就労モデル構築事業 (再掲)	事業者の人手不足の解消と多様で柔軟な働き方ができる環境を広げるため、本市公式の単日短時間就労マッチングサービス「にいがたCITYマッチボックス」を運営するとともに、在宅テレワーカー育成・活用支援のための施策を実施します。	32,200 千円
新規採用活動支援事業 (再掲)	市内中小企業の人材確保と大学生等の市内就労を促進するため、自社の採用ホームページ等を有効活用して魅力を発信する企業のほか、リクルーターの養成やインターンシッププログラムの構築に取り組む企業を支援します。	16,000 千円
働きがいのある新潟地域創造事業	中小企業の団体が行う「地域で人を育成・採用する仕組み」(中小企業有志による社員定着の取組とその成果の効果的な広報による採用の取組)を構築することにより、若者から選ばれる新潟地域として人口の流出抑制へとつなげます。	290 千円

事業名	事業概要	予算額
働き方改革など職場環境の整備		
働き方改革推進事業 (再掲)	経営者等に向けたセミナーの開催、働きやすい職場づくりに取り組む企業の表彰を実施します。また、専用サイトを活用し、国・県・市の支援制度の情報発信や企業間ネットワークの活性化を図り、支援機関や経済団体等と連携しながら、企業の働き方改革の推進及び人材確保・定着を支援します。	5,716 千円
移住・定住(UIJターン)の促進		
移住支援事業	東京圏(埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県)から本市へ要件を満たして移住した方に支援金を交付し、本市への移住・定住促進及び中小企業等における人材不足の解消を図ります。また、東京圏から就職活動で本県を訪れた大学生への交通費の支援と、学生が就職し本市に移住した際の移転費の支援を行います。	91,400 千円
テレワーカー移住・定住促進事業	地域おこし協力隊を活用した情報発信などにより、テレワーカー移住者を本市に呼び込むとともに、オンラインのコミュニティを通じ、移住者が移住者をさらに呼び込みます。また、三大都市圏から一定要件を満たして移住したテレワーカーや本市で体験居住をした方に支援金を交付し、移住・定住を促進します。	29,950 千円
関係人口の創出		
副業関係人口創出事業	市外の副業人材等と市内の企業・団体とのマッチングを通して、副業をきっかけとした関係人口を創出してきたこれまでの取組について、広く情報発信していくことで、市内企業の外部人材活用に関する機運を醸成し、企業の経営上の課題解決につなげます。	6,000 千円

重点戦略

6 誰もが個性と能力を発揮しながら、心豊かに暮らせる社会の実現

新潟市の住民自治の力を土台に、地域コミュニティ協議会やNPO、民間企業など多様な主体が連携して地域住民の抱える課題を主体的に把握し解決を試みる環境づくりを進めるとともに、障がいや介護、子育てなどに関する様々な機関が協働し包括的に支援する重層的支援体制を構築します。

市民がいつまでも元気でいきいきと暮らせるよう、文化やスポーツの一層の振興を図るとともに、一人一人の健康づくりを推進します。多様性を認め合い、誰もが自分らしく個性と能力を発揮しながら、心豊かに暮らせる社会を実現します。

事業名	事業概要	予算額
地域団体・市民団体の活動支援		
共創コミュニティ推進事業	持続可能な地域づくりを推進するため、地域おこし協力隊制度やクラウドファンディング型ふるさと納税等を活用し、地域で主体的に活動する人たちのコミュニティの充実や課題解決に向けた取り組みを支援します。	28,000 千円
にいがたまちあそび学校KAIKOU！推進事業 (再掲)	若い世代が「まち」や「ひと」とつながり、主体的にまちづくりに関わってもらうことを目的に、公民連携で「にいがたまちあそび学校KAIKOU!」を運営し、都心エリア「にいがた2km」で、まちを知る、学ぶ、体験する＝まちあそびを通してまちの豊かさに触れる機会を作ります。	2,000 千円
自治会・町内会の支援	自治会・町内会に対し、市政情報の回覧・配布業務などの事務委託に伴う活動財源を提供するとともに、集会所確保に関する費用の一部を補助するなどの支援を行います。	421,664 千円
地域コミュニティ協議会の支援	地域コミュニティ協議会が活発な活動を展開できるよう、運営にかかる経費や事務所借上経費の一部を補助するなどの支援を行います。	94,674 千円
地域活動補助金	自治会・町内会や地域コミュニティ協議会、NPO団体などが、地域課題解決を図る活動を行う際に必要な経費や設備の整備に係る経費の一部を補助し、地域福祉や防災、防犯などさまざまな地域活動を活性化することで、市民との協働のまちづくりを進めます。	110,000 千円
まちづくりパートナーシップ事業	行政課題の解決に向け、各区役所や本庁各々が設定したテーマについて、広く民間企業やNPO等と協働で事業を実施することで、多様な主体とのパートナーシップによるまちづくりを進めます。	14,239 千円
活動の担い手育成・確保		
地域力UPチャレンジ事業 (再掲)	地域コミュニティ協議会が実施する、地域課題解決の実践にかかる経費の一部を補助します。本事業を通じて、地域課題を解決に導ける地域人材の育成や新たな担い手の発掘、課題解決力の向上を目指します。	4,805 千円
市民活動支援センターの運営 (再掲)	市民活動支援センターにおいて、市民公益活動に関する情報収集・情報提供や各種団体の交流支援、人材育成などの事業を行い、さまざまな団体の市民公益活動を全般的に支援します。	27,115 千円
全ての市民の健康づくりの推進		
児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業	児童生徒等のむし歯・歯肉炎予防につなげるため、フッ化物洗口や歯科衛生士による歯科保健指導等を実施します。	10,900 千円
健幸になれるまちづくり推進事業	健康寿命の延伸に向け、運動習慣の定着を目的に、事業所単位や市民個人で参加する「ウォーキングチャレンジ」を実施します。また、市民の減塩意識を高めるため、企業などの社員食堂やアルビレックス新潟と連携した「ちよいしおプロジェクト」に取り組みます。	2,723 千円
生活習慣病健診・各種がん検診	本市の死亡原因の半数以上を占める生活習慣病の予防、早期発見・早期治療につなげるため、特定健康診査やがん検診が受診しやすい体制を整備し、受診勧奨・意識啓発を行います。また、健康診査・検診の結果を生活習慣の見直しにつなげます。	1,519,625 千円
歯科保健事業(妊婦乳幼児歯科健康診査事業・成人歯科健診事業・オーラルフレイル予防事業)	健康寿命の延伸に向け、歯科疾患予防の推進、口腔機能の育成・維持・回復を支援するため、各種歯科健診(妊婦乳幼児歯科健診、成人歯科健診、オーラルフレイル予防事業)を実施します。	32,896 千円

事業名	事業概要	予算額
企業・団体と連携した健康増進		
【拡充】 成人歯科健診事業	職場健診時における歯周病リスク検査の対象者を全年齢に拡大するとともに、高リスク者に歯科受診を促し、成人期の歯周病対策を強化します。	12,978 千円
健康寿命延伸推進事業	働き盛り世代の健康づくりを進めるため、「健康経営®」に取り組む事業所を認定するほか、健康づくり関連情報の提供など、各事業所の健康経営の取組を支援します。 ※「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。	9,117 千円
介護予防・健康づくり・社会参加の推進		
フレイル予防事業	フレイルチェックを活用し、健康な状態と要介護状態の間であるフレイル(虚弱)の予防を通じて、健康寿命の延伸を目指します。	8,925 千円
地域の茶の間支援事業	住民同士が支え合うしくみづくりの構築を進めるため、多世代が集まり交流する「地域の茶の間」開催団体に対して運営費を助成します。	39,763 千円
地域での支え合い・認知症施策の推進		
認知症施策推進事業	認知症の方が住み慣れた地域で尊厳を保ちながら安心して生活を継続できるよう、認知症サポーターを養成するほか、地域ぐるみで認知症の方や家族を見守り、支援する体制を進めます。	65,231 千円
重層的支援体制整備事業	複雑化・複合化する支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、各区社会福祉協議会へコミュニティソーシャルワーカーを配置するなどにより、分野を問わない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施します。	69,815 千円
認知症予防のための補聴器購入費助成事業	認知症の発症・進行予防に難聴対策が重要との観点から、聴力の低下により日常生活に支障をきたしている中高年者のコミュニケーション能力の維持向上を図るため、補聴器購入費の助成を実施します。	7,879 千円
生活支援体制整備事業	高齢者が安心して暮らし続けていく環境を整備するため、支え合いのしくみづくり推進員が中心となって、地域の現状把握や課題の抽出を行い、関係団体とネットワークを構築しながら、地域で不足する支援やサービスの創出を図り、住民主体による地域の支え合いのしくみづくりを進めます。	164,901 千円
介護サービスの充実と生活基盤整備		
介護テクノロジー導入補助金 (再掲)	介護事業所の生産性向上や介護人材の確保及び定着促進を図るため、介護現場の省力化や業務負担の軽減が期待される介護テクノロジー(ICT機器、介護ロボット等)の導入を支援します。	(繰越分) 30,000 千円
小規模多機能型居宅介護事業所建設事業費補助金	地域密着型サービスの基盤整備を進めるため建設事業費の補助を行います。	87,150 千円
施設開設準備経費等支援事業	施設等の円滑な開設のため、新たに整備(新規開設・増床)を行う事業者に対し、開設準備に要する経費の助成を行います。	200,772 千円
医療と介護の出前スクール事業	介護職のイメージアップや理解促進を図るため、介護サービス事業所で勤務する職員に協力を募り、小・中学校、高校を訪問して介護の魅力を発信します。	152 千円
介護職員等キャリアアップ支援事業	介護職員などの資質向上および定着化、キャリアアップを図るため、専門的な研修会の開催や資格を取得するための費用などを法人が負担した場合にその費用の一部を助成します。	1,625 千円
必要な医療が提供される体制づくり		
【新規】 循環器救急医療体制強化事業 (再掲)	新潟大学に寄附講座を設置し、循環器疾患の急性期から回復期・慢性期への医療連携の基盤整備に係る研究を行うことで、持続可能な循環器救急医療体制の構築を図ります。	20,000 千円
【新規】 マイナ保険証を活用した救急業務円滑化事業(マイナ救急)	マイナンバーカードに健康保険証としての利用を登録しているマイナ保険証から受診歴や薬剤などの情報を救急隊が閲覧することで、会話が困難な傷病者であっても適切な処置や迅速な医療機関の選定を実施し、救急活動体制の強化を図ります。	1,744 千円

事業名	事業概要	予算額
必要な医療が提供される体制づくり(つづき)		
救急業務ICT化推進事業	救急業務支援システムを効果的に運用することで、病院収容所要時間の短縮による傷病者(市民)の負担軽減と、増加する救急要請(出動)に迅速に対応します。	13,538 千円
救急医療体制の整備	市民が安心して適切な医療を受けられるよう、病院群輪番制参加病院や救急指定病院における救急患者の受け入れの促進に向け、病院の体制強化に係る補助金を交付します。	346,456 千円
在宅医療・介護連携の推進		
在宅医療・介護連携推進事業	在宅医療・介護連携センター／ステーションを拠点として、医療・介護連携の強化、在宅医療ネットワークとの協働、医療人材の育成および市民への在宅医療等に関する普及啓発などの取組を推進します。	77,883 千円
地域医療を支える看護人材確保事業	地域医療を支える訪問看護師の人材確保・育成を支援し、訪問看護ステーションの体制強化を図ります。	3,000 千円
治療と社会参加の両立		
がん患者アピアランスサポート事業	がん治療によるアピアランス(外見)の変化を補完するウィッグ、胸部補整具、人工乳房などの購入費用を助成することによりQOLの向上を図り、がん患者の治療と社会参加の両立を支援します。	9,175 千円
障がいのある人の社会参加の推進		
聴覚障がい者意思疎通支援事業	聴覚障がい者の社会参加の促進や安心した日常生活の実現に向けて、手話通訳者や要約筆記者を派遣することで、意思疎通の円滑化を図ります。	8,790 千円
文化芸術による共生社会推進事業	障がいのある人が制作した作品の発表や、福祉施設と文化芸術団体の交流、施設のネットワーク化を目指すワークショップを通じ、障がいのある人とない人との相互理解を深める環境づくりに取り組みます。	567 千円
障がい者の成年後見制度支援利用支援事業	判断能力が充分でない知的障がいのある人及び精神障がいのある人に対して、権利擁護及び法的地位の安定性を図るため、成年後見制度利用に係る費用を助成します。	45,817 千円
障がい者福祉センター事業	手話通訳者や要約筆記者等の養成を行うとともに、社会適応訓練や創作活動などの事業を実施して、障がいのある方の生きがいを高め、社会参加を促進します。	12,870 千円
地域生活の支援体制の充実		
生活困窮者自立相談支援事業	自立相談支援機関に「住まいの相談窓口」を設置するとともに「住まい相談支援員」を配置し、居住支援の強化を図ります。	51,244 千円
グループホーム運営費補助事業	グループホームの運営費に補助を行うことで、重度障がい者の地域での住まいを安定的に確保します。	113,887 千円
強度行動障がい者(児)支援職員育成事業	強度行動障がいの支援に専門的知見を有する者が、障がい福祉サービス事業所等における支援の困難事例に対して助言等を行うことで、職員の支援力の向上を図ります。	2,123 千円
新潟市障がい者地域自立支援協議会の設置	障がいのある人が重度化・高齢化しても、安心して地域での生活ができる支援体制の構築に向けて、障がい者地域自立支援協議会で協議するとともに、地域生活支援拠点の整備に向けた検討を行います。	151 千円
障がい者基幹相談支援センターの運営	障がいのある人が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、自立と社会参加を支援することを目的に、専門の相談員が各種相談や情報提供などの支援を総合的にを行います。また、医療的ケア児とご家族への相談支援にも対応できる医療的ケア児等コーディネーターの配置を行います。	184,905 千円
雇用促進と就労支援の充実		
新潟市障がい者就業支援センターの運営	障がい者雇用の中心施設として、就職を希望する障がい者や障がい者雇用を促進する企業に対し、相談・助言等の支援を行います。	37,211 千円

事業名	事業概要	予算額
雇用促進と就労支援の充実(つづき)		
障がい者就業能力向上支援事業	職業訓練やセミナー、企業見学会などの開催及び企業や障がい者向けのガイドブックの作成を行うことで障がい者雇用を推進します。	463 千円
まちなかほっとショップ運営事業	障がいのある人が通う施設等で作られた製品を展示・販売することにより、工賃向上や理解促進を行います。	1,453 千円
地域と連携した子育て支援		
妊娠・出産サポート体制整備事業	各区の妊娠・子育てほっとステーションに助産師や保健師等の専門の相談員を配置し、地域の関係機関と連携しながら、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の整備を図ります。	38,954 千円
ファミリー・サポート・センター事業	核家族化の進展や、近所付き合いが希薄になるなど、親類や地域での助け合いが難しくなるなか、子育ての援助を行いたい人(提供会員)と援助を受けたい人(依頼会員)をマッチングさせ、依頼会員のニーズを踏まえ提供会員を紹介することにより、地域社会全体で子育てを支えます。	11,790 千円
社会全体で子育てを応援する機運の醸成		
にいがたつすこやかパスポート事業	地域を挙げて子育て世帯を応援するため、協賛店で様々なサービスを受けることができるすこやかパスポートを妊婦及び高校3年生相当年齢以下のこどもを持つ家庭へ配布するとともに、連携市町(新発田市、胎内市、聖籠町、田上町、加茂市、阿賀町)でも本市と同様に相互利用できるようにしています。	769 千円
結婚・子育てを応援するまちづくり事業	結婚・子育て応援サイトを中心に、結婚応援結パスポートと、にいがたつすこやかパスポートなどをPRし、民間と連携しながら社会全体で結婚と子育てを応援する気運の醸成に取り組みます。また、「にいがた子育て応援アプリ」や、新潟市公式LINEを通じて子育て情報を発信します。	3,028 千円
男女共同参画の理解の促進		
男女共同参画推進事業	男女共同参画社会の実現に向け、市民・事業者・市民団体や庁内外の関係機関と連携し、意識啓発および理解促進に向けた事業を行います。	2,408 千円
男女共同参画推進センター事業	男女共同参画を推進する拠点施設「アルザにいがた」において、各種講座の開催などの啓発事業や情報提供を行います。	4,007 千円
アルザフォーラムの開催	市と市民による実行委員会の主催により、若い世代を含め幅広い世代を対象に、基調講演や分科会、上映会など、誰もが気軽に参加でき、「アルザにいがた」の周知や男女共同参画への関心を高める各種イベントを開催します。	1,300 千円
男女共同参画推進センター相談事業	フェミニストカウンセラーによる相談や男性相談員による男性専用相談など、家族や対人関係、生き方など様々な悩みについて相談に応じます。	4,631 千円
外国籍市民にも暮らしやすい環境づくり		
外国人との共生社会推進事業	日本人と外国人の相互理解を深めるため、パンフレットなどの多言語化や、翻訳機を活用した相談体制の強化などに取り組みます。また、市内在住外国人に対し、本市の暮らしやすさなどについての調査を行います。	8,300 千円
新潟市国際交流協会運営費補助金	(公財)新潟市国際交流協会への補助を通じて、国際文化理解講座の開催、市内在住外国人への情報発信や日本語学習支援、外国語による相談窓口の運営など、市内在住外国人にも暮らしやすい多文化共生のまちづくりを進めます。	45,500 千円
市民が文化芸術に親しむ機会の創出		
アニメーションを活用したまちの魅力向上事業 (再掲)	アニメーション映画のコンペティションやシンポジウム、人材育成プログラムなどを実施する「新潟国際アニメーション映画祭」を支援し、「マンガ・アニメのまち にいがた」のイメージアップとマンガ・アニメによる地域振興を図ります。	5,000 千円
市民芸術文化会館文化事業補助金	質の高い舞台芸術作品を創造・発信する文化事業などを通じて、本市の舞台芸術の振興を図るとともに、市民の文化芸術活動を支援します。また、ジュニア音楽教室の運営などにより、次代を担う人材を育成します。	155,000 千円
新潟市美術展開催事業	美術を愛好する方の創作作品を発表する場として、洋画・日本画・書道・彫刻・工芸・版画・写真の作品を募集し、「新潟市美術展」を開催します。	2,161 千円

事業名	事業概要	予算額
市民が文化芸術に親しむ機会の創出(つづき)		
にいがた市民文学発刊事業	市民の文芸活動の振興を図り、創作意欲を高めるため、文芸作品を募集し、審査のうえ優秀作品を「にいがた市民文学」に収録し、発刊(年1回)します。	4,029 千円
(公財)新潟市芸術文化振興財団運営費補助金(アーツカウンシル新潟)	アーツカウンシル新潟による相談窓口や助成事業を通じて、市民による主体的な文化芸術活動を支援します。	5,211 千円
新潟市美術館・新津美術館企画展	市民が芸術に触れる機会の提供、地域の美術活動の発展・向上のため、幅広い種類の展覧会を開催します。	64,764 千円
誰もが参加できるスポーツの機会創出		
新潟シティマラソンの開催 (再掲)	フルマラソン等に加え、年齢や障がいの有無を問わず参加できる種目、ユニバーサルランを実施し、市民の健康保持・増進を図ります。さらに、姉妹大会の佐渡トキマラソンとの連携により、一層魅力的な大会を開催します。	37,500 千円
氷上スポーツ体験学習推進事業	新潟市アイスアリーナにおいて、市内小学校・保育園等の校外活動利用時、施設利用料金とバス送迎に係る費用を助成します。多くの小学生・園児等に氷上スポーツを体験してもらうことで、氷上スポーツ愛好者のすそ野拡大を図ります。	2,400 千円
子どもスポーツふれあい促進事業	小・中学生を対象としたサッカー教室の開催や、地元プロ選手による指導の実施、中学生と地域スポーツクラブのマッチング機会創出などを通じて、子どもたちの健全な育成と競技力の向上を図るとともに、地域スポーツの持続的な発展、振興を図ります。	3,500 千円
循環型生涯学習の推進		
公立夜間中学の設置準備	様々な理由により学齢期に十分な教育を受けられなかった方々に教育を受ける機会を提供するため、令和9年4月の開校に向けて、生徒の募集や施設改修工事を行います。	(繰越分) 24,400 千円 2,712 千円

出会いから子育てにかけてライフステージに応じた切れ目ない支援を行うとともに、子どもと子育てを支える関係機関や団体との連携のもと、温もりのある支援を行います。子育てと教育を連携させ、一人一人の子どもの最善の利益と権利保障を第一に考えながら施策を推進するほか、地域や企業をはじめ社会全体で子育てを応援する機運を醸成します。

また、これからの社会の変化を前向きにとらえ、主体的に物事を成し遂げることができる人材の育成に学・社・民が一体となって取り組んでいきます。

事業名	事業概要	予算額
出会い・結婚に対する支援		
【拡充】 思春期等相談事業	プレコンセプションケアに関する正しい知識を持ち、自分の望む人生を設計できるよう思春期における健康教育に取り組みます。令和8年度は中学生を対象にした共通の資料を作成し、モデル事業を実施します。	3,117 千円
出会い・結婚サポート事業	出会い・結婚に係る支援を強化するため、新潟県が運用する婚活マッチングシステム「ハートマッチにいがた」の登録料を市が補助することにより、出会い・結婚を希望する方の第一歩を後押しします。	1,500 千円
結婚新生活支援補助金	結婚に伴う経済的不安の軽減を図るため、新婚世帯の住居費(入居費、賃料、住宅購入費等)や引っ越し費用を支援します。	40,000 千円
妊娠・出産・子育て期の包括的な支援		
【新規】 デジタル化による利用者支援事業	保育料の口座振替など、子育てに関する手続きの負担軽減のため、デジタル技術の活用によるWeb口座振替受付サービスを導入します。	3,600 千円
【新規】 市立地域子育て相談機関運営事業	子育て世帯を取り巻く環境の変化により、地域のつながりが希薄化する中で、孤立化や負担感を抱える家庭からの子育てに関する相談に応じるため、市立地域子育て支援センターの相談機能を強化し、相談機関として位置づけ、こども家庭センターと連携しながら、必要な情報の提供や助言、支援につなげていきます。	3,900 千円
【新規】 予防接種事業(RSウイルス)	生まれてくる子のRSウイルス感染症を予防するため、妊娠28週～36週の妊婦を対象にRSウイルスワクチンの接種を行います。	105,275 千円
不妊治療費助成事業 (再掲)	こどもを持ちたいという夫婦の経済的負担軽減のため、不妊治療(一般不妊治療・生殖補助医療・先進医療)費用の一部を助成します。	75,491 千円
新生児聴覚検査費用助成事業	すべての新生児を対象に、新生児聴覚検査費用の助成をすることで、聴覚障がいの早期発見・早期療育につなげます。	17,900 千円
新生児マスキリーニング(先天性代謝異常等)検査実証事業	新生児の先天性疾患を早期に発見し、生涯にわたって障がいなどの発生を予防するため、国の実証事業を活用し、対象2疾患に係る検査費用を支援します。	13,000 千円
産後ケア事業	出産後の一定期間、産婦及び乳児に産後の母体管理、沐浴、授乳指導、その他必要な保健指導を実施することにより、こどもを産み育てやすい体制の整備を図ります。	109,710 千円
出産・子育て応援事業	妊婦のための支援給付として、1回目に5万円、2回目に胎児の数あたり5万円を支給するとともに、妊娠期から出産・子育てまで身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ相談支援を組み合わせて実施します。流産・死産等された方にも2回目の給付金を支給します。	434,432 千円
産婦健康診査事業	産婦の経済的・精神的負担を軽減するため、産婦健康診査の費用を助成します。	39,802 千円
児童手当の給付	家庭における生活の安定と、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的に、高校生年代までの児童を養育している方へ児童手当を支給します。	13,920,265 千円
子育て応援情報発信	新潟市公式LINEアカウントやにいがた子育て応援アプリを活用し、市の制度や事業、イベント等について子育て世帯が必要とする情報をわかりやすく提供します。	3,926 千円

事業名	事業概要	予算額
妊娠・出産・子育て期の包括的な支援(つづき)		
妊娠・出産サポート体制整備事業 (再掲)	各区の妊娠・子育てほっとステーションに助産師や保健師等の専門の相談員を配置し、地域の関係機関と連携しながら、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の整備を図ります。	38,954 千円
こんにちは赤ちゃん訪問事業	生後4カ月までの乳児がいる家庭を助産師や保健師が訪問し、計測や育児相談、子育て支援に関する情報提供、親子の心身状況、養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供につなげます。	24,237 千円
妊産婦医療費助成	妊産婦の健康の保持・増進を図るため、すべての妊産婦に医療費の助成(出産の翌月末まで)を行います。	199,127 千円
こども医療費助成	こどもの健康の保持・増進を図るため、0歳から高校3年生相当年齢までの児童に医療費の助成を行います。	2,603,657 千円
良好な教育・保育環境の確保と質の向上		
【新規】 保育士の魅力発信事業 (再掲)	市内保育施設への就業促進を図るため、本市で保育士として働く魅力を伝える動画を制作し、保育士養成校学生や中高生等に広く発信します。	2,000 千円
【拡充】 多様な保育・子育て支援サービスの充実事業 (再掲)	多様な保育・子育て支援ニーズに対応するため、休日保育や一時預かりなどを実施するほか、保育コンシェルジュを全区に配置し、利用者に応じた適切なサービスを提供します。また、病児・病後児保育の予約システム導入や隣接自治体と連携して利用可能施設を拡充することで、保護者の利便性向上を図ります。	712,121 千円
保育士の確保事業	保育士確保に向け、保育士の宿舍借り上げ費用の補助や保育士養成施設の学生への修学資金等の貸付、潜在保育士への再就職支援、保育士資格取得のために要した費用の補助を行います。	42,027 千円
こども誰でも通園制度(乳児等通園支援事業)	就労要件等を問わず、月一定時間のなかで、生後6か月から2歳のこどもの保育を行うとともに、保護者に対して必要な支援を行う「こども誰でも通園制度(乳児等通園支援事業)」に取り組みます。	15,244 千円
保育定員の確保事業	待機児童ゼロの維持に必要な保育定員数を確保するため、保育施設の新設にかかる費用の一部補助や、適切な定員調整等を行います。	593,219 千円
多子世帯の保育料等軽減事業	多子世帯の経済的負担の軽減を図るため、国基準を上回る市独自の保育料等軽減を行います。	568,722 千円
保育園等ICT化推進事業	保育士の業務負担軽減等を図るとともに、こどもの安全対策を強化するため、保育の周辺業務や補助業務(保育に関する計画・記録や、登降園管理等の業務)に係る業務システムの活用や、キャッシュレス導入の促進を図ります。	33,409 千円
子どもが安心して過ごせる居場所づくり		
【拡充】 子どもの学習・生活支援事業 (再掲)	生活保護世帯等の中学生等を対象とした学習会の会場を5区から全区に拡大し、どの区に住んでいても身近なところで支援を受けられる環境を整備します。	35,350 千円
放課後児童の健全育成(放課後児童クラブ)	放課後児童クラブにおいて、狭あい化しているクラブの環境改善対策、クラブ活動費の支援など利用者の利便性向上に取り組みます。	3,379,301 千円
こどもの居場所づくり支援体制強化事業	こどもの視点に立った多様な居場所づくりが行われるよう、居場所づくりコーディネーターを配置し、居場所の運営や立ち上げ、地域資源の活用を支援します。また、NPO団体等と連携し、こどもの居場所づくりに取り組みます。	16,148 千円
空調設備整備事業	良好な教育環境を確保するため、既存空調設備の更新を計画的に進めると同時に、理科室、図工室など特定の教科で使用する特別教室や給食調理室への空調設置を早期に完了させるため、集中的に整備を進めます。	(繰越分) 2,027,100 千円 62,600 千円

事業名	事業概要	予算額
子どもが有する固有の権利の保障		
【拡充】 こどもの意見表明支援事業	児童相談所等から独立した立場にある意見表明支援員が定期的またはこどもの求めに応じて訪問、面談し、生活の不安や措置の内容に関する意見等を形成することや関係機関に対して表明することを支援します。これまでの一時保護施設や児童養護施設に加え、令和8年度からは自立援助ホームを対象とします。	9,508 千円
新潟市子ども条例推進事業	新潟市子ども条例を、権利の主体であるこどもをはじめ、幅広い市民に周知・啓発するとともに、こどもの意見表明及び社会参加を促進します。また、子どもの権利相談室「こころのレスキュー隊」において、こどもの権利侵害に係る相談を受け、権利救済活動を進めます。	25,000 千円
子どもの貧困対策と困難を抱える子どもへの支援		
ヤングケアラー支援体制整備事業	こども自身や保護者・支援者などのヤングケアラーへの理解促進を図るとともに、当事者やその家庭を適切な福祉サービスにつなげます。また、引き続きケアラー同士の交流会を試行的に実施するほか、市民向けの研修会を開催します。	9,328 千円
ひとり親家庭への支援		
ひとり親家庭サポーター事業	ひとり親家庭サポーターを配置し、養育費や離婚後の親子交流の取り決めなどを学ぶ親支援講座の開催や、離婚前後のひとり親が必要とする支援が適切に受けられるよう家庭裁判所や公証人役場などへの同行支援を行います。	3,500 千円
養育費履行確保事業	養育費に係る公正証書の作成や調停に要した費用の補助、保証会社と養育費保証契約を締結した際の本人負担費用の初回保証料の補助、強制執行の申立てや第三者からの情報取得手続きの申立て費用の補助を行い、ひとり親家庭を経済的に支援します。	1,000 千円
児童扶養手当の給付	父または母と生計を同じくしていない児童の健やかな成長のため、生活の安定と自立の促進を目的として児童扶養手当を支給します。	2,204,576 千円
配慮が必要な子どもや家族への支援		
【新規】 5歳児健康診査事業 (再掲)	言語の理解能力や社会性が高まる5歳児に対して健診を行い、こどもの特性を早期に把握し、関係機関が一体となって特性に合わせた適切な支援につなげます。令和8年度は試行的に1区で実施します。	3,375 千円
【拡充】 子育て家庭支援事業	保護者が入院等により、こどもを養育することが一時的に困難となった場合に、こどもを泊まりで預かり、その育成を支援し、対象年齢をこれまでのおおむね2歳までから18歳までに拡充します。そのほか、家事・子育て等の支援が必要な家庭への訪問支援員による育児・家事援助を実施します。	25,429 千円
児童の発達支援	地域の中核的な支援機関として、児童発達支援センターにおいて、発達に心配のあるこどもとその家族、関係機関に対する支援を行います。	341,751 千円
1歳6か月児健診・3歳児健診	幼児期の健全な育成を図るため、身体の発育発達及び精神発達の確認を行い、必要時保健・栄養・発達相談を行い、継続的な支援へつなげます。	55,681 千円
療育教室	言葉や社会性の発達に遅れがみられる概ね2歳児に、親子遊びを通してこどもの発達を支援し、こどもの特性に合わせた関わり方を保護者に学んでもらう機会を提供します。	16,438 千円
医師による発達相談	発達の遅れ、障がいの可能性があり、またそれにより日常生活や集団生活への適応に困難があるこどもに対して、専門医による発達の見極め、助言等を行い、必要に応じて専門機関へつなぎます。	15,502 千円
発達支援コーディネーター養成事業	保育園等における障がい児の受け入れ体制の強化を図るため、各園等において支援のリーダー的役割を担う発達支援コーディネーターを養成します。	357 千円
医療的ケア児保育支援事業	保育園等における受け入れ体制や必要な物品等を整備し、看護師等への研修支援を充実させ、医療的ケア児への地域生活支援の向上を図ります。	88,822 千円
社会全体で子育てを応援する機運の醸成		
にいがたっすこやかパスポート事業 (再掲)	地域を挙げて子育て世帯を応援するため、協賛店で様々なサービスを受けることができるすこやかパスポートを妊婦及び高校3年生相当年齢以下のこどもを持つ家庭へ配布するとともに、連携市町(新発田市、胎内市、聖籠町、田上町、加茂市、阿賀町)でも本市と同様に相互利用できるようにしています。	769 千円

事業名	事業概要	予算額
社会全体で子育てを応援する機運の醸成(つづき)		
結婚・子育てを応援するまちづくり事業 (再掲)	結婚・子育て応援サイトを中心に、結婚応援結パスポートと、にいがたっすこやかパスポートなどをPRし、民間と連携しながら社会全体で結婚と子育てを応援する気運の醸成に取り組みます。また、「にいがた子育て応援アプリ」や、新潟市公式LINEを通じて子育て情報を発信します。	3,028 千円
男性の家庭活躍推進事業	職場や家庭での性別による固定的な役割分担意識を解消し、ワークライフ・バランスの推進を図るため、育児休業を取得した男性及び事業主に奨励金を支給します。	13,525 千円
地域の防犯啓発活動の推進		
区民の安心・安全対策事業	地域ごとに異なる犯罪発生実態に対応するため、各区が必要な個別の防犯対策(街頭防犯活動や防犯ボランティアへの支援等)を講ずることにより、安心・安全な地域づくりを実現します。	1,388 千円
自己表現していく力の育成		
こども・学校サポーター配置事業	特別な教育的支援を必要とする児童にきめ細やかな学習支援・自立支援を行うために、“こどもサポーター”を、また担任や養護教諭の負担軽減につながるよう出張・休暇取得等の際に“学校サポーター”を希望する小学校に退職教員の派遣を行う。学校教育活動の充実を図り、教員の働き方改革を一層推進します。	6,780 千円
公立幼稚園の教育環境の充実(預かり保育事業)	保護者の生活スタイルやニーズに合わせ、預かり保育の実施など、公立幼稚園における教育環境の整備を行うことにより、幼児教育の質の向上を図り、幼児の生活全体が豊かなものとなるよう取組を推進します。	12,793 千円
教育DX推進事業	1人1台端末を活用した教育をさらに充実させ、こどもの情報活用能力を伸ばすため、中学校でプログラミング教材、小中学校でデジタルAIドリルと新聞データベース教材を提供します。	98,085 千円
食と農のわくわくSDGs学習推進事業 (再掲)	主に小学校高学年から専門学校・大学までを対象とした食と農に関する探究的な学習を推進し、本市の豊かな食や農への理解を深め、地域への誇りや愛着、生きる力を培うとともに、本市の農業や食品産業を支える人材づくりにつなげます。	7,113 千円
学力向上対策事業	各学校が自校の学力実態を的確に把握し、きめ細かな指導を行ったり、指導法を工夫・改善したりすることにより、児童生徒の学力の向上を図ります。	4,095 千円
外国語指導助手(ALT)派遣事業	ALTを市内の全ての学校に派遣し、英語を用いたコミュニケーション力の向上を図ります。	14,180 千円
ICT機器を活用した学習活動の充実	GIGAスクール構想における一人一台端末と高速ネットワーク環境を整備し、これらを活用した学習活動の充実を図ることを通して、「学習の基盤となる資質・能力」である情報活用能力等を育成します。	474,448 千円
探究学習推進事業 (再掲)	市立高等学校等の魅力化・特色化を図るとともに、将来の市内就労やUJターンにつながるよう、地元への誇りと愛着の醸成を図るため、市立高等学校等の探究的な学習の充実に向けた取組を実施します。	2,472 千円
豊かな心と健やかな身体の育成		
【拡充】 不登校対策事業 (再掲)	不登校を未然に防止するとともに、不登校児童生徒の登校復帰を支援するために、SSR設置校を拡大するとともに、支援するスタッフを配置します。また、潜在している事案を早期に発見し、問題を深刻化させないために、SCやSSWを配置します。SSWは処遇改善を行い、配置を充実させ支援体制を強化します。	92,308 千円
【拡充】 学校給食の充実	安心・安全な学校給食の提供や、食育の推進に取り組むとともに、令和8年度から国が始める「小学校給食費の抜本的な負担軽減」の制度や交付金活用を通じて、給食費の保護者支援を図ります。	7,185,166 千円
巡回通級指導教室整備事業	他校通級に伴う保護者送迎の負担軽減や、こどもが在籍校の慣れた環境で安心して指導を受けられるよう、通級指導教室について巡回指導(教員が該当することも在籍する学校を訪問し指導を行う)の対象校の拡大を図ります。	19,664 千円
児童生徒等の食育・健康づくり推進事業	児童生徒が規則正しい生活習慣や望ましい食習慣を身につけられるよう、生活習慣病健診を実施するほか、家庭や地域にも訴求するよう民間等と連携しながら健康教育・食育の取組を展開します。	7,676 千円
個別の教育支援サポート事業	個別の教育支援計画等作成に係るシステムの活用促進を図り、一人一人のニーズと課題に対応した支援を行い、就学・進級・進学等において個別の教育支援計画等が有効に活用される仕組みづくりを進めます。	31,317 千円

事業名	事業概要	予算額
安心して学べる環境づくり		
奨学金貸付事業	大学等への修学のために経済的支援が必要な学生へ奨学金の無利子貸付を行うことで、高等教育における教育の機会均等を図ります。また、返還特別免除制度により若者の定住と経済的支援を推進します。	74,480 千円
就学援助事業	教育の機会均等を図るため、経済的理由により就学困難なこどもの保護者へ学用品費などに係る経費を助成します。	509,479 千円
文化芸術の鑑賞・体験機会の創出		
水がつなぐ各地域の歴史・文化の魅力発信事業（広域合併20周年企画）	(再掲) 広域合併20周年を記念し、本市に特徴的な川湊や潟の歴史・文化を発信する映像を作成し、文化観光の発展を図ります。	3,000 千円
子ども向け文化プログラム体験事業	本市の文化や歴史などへのこどもたちの興味・関心を醸成するため、市内の文化・歴史に着目した体験プログラムを実施します。	1,300 千円
子どものための芸術文化体験事業	日頃、文化芸術に接する機会の少ないこどもたちに鑑賞・体験機会を提供するため、プロオーケストラによる演奏会を開催するほか、小学校などへのアウトリーチを実施します。	9,000 千円
市民芸術文化会館文化事業補助金	(再掲) 質の高い舞台芸術作品を創造・発信する文化事業などを通じて、本市の舞台芸術の振興を図るとともに、市民の文化芸術活動を支援します。また、ジュニア音楽教室の運営などにより、次代を担う人材を育成します。	155,000 千円
美術館教育普及事業（アートリップ）	美術館学芸員による学校への出張授業と、美術館での実際の鑑賞を組み合わせたプログラムを実施します。学校との連携を深め、こどもたちが美術に触れることで想像力と感受性を養うことを目指します。	500 千円
誰もが参加できるスポーツの機会創出		
新潟シティマラソンの開催	(再掲) フルマラソン等に加え、年齢や障がいの有無を問わず参加できる種目、ユニバーサルランを実施し、市民の健康保持・増進を図ります。さらに、姉妹大会の佐渡トキマラソンとの連携により、一層魅力的な大会を開催します。	37,500 千円
氷上スポーツ体験学習推進事業	(再掲) 新潟市アイスアリーナにおいて、市内小学校・保育園等の校外活動利用時、施設利用料金とバス送迎に係る費用を助成します。多くの小学生・園児等に氷上スポーツを体験してもらうことで、氷上スポーツ愛好者のすそ野拡大を図ります。	2,400 千円
子どもスポーツふれあい促進事業	(再掲) 小・中学生を対象としたサッカー教室の開催や、地元プロ選手による指導の実施、中学生と地域スポーツクラブのマッチング機会創出などを通じて、子どもたちの健全な育成と競技力の向上を図るとともに、地域スポーツの持続的な発展、振興を図ります。	3,500 千円
将来にわたって望ましい教育環境の提供		
【拡充】 多忙化解消対策推進事業	学校現場にゆとりを生み出し、全ての教職員が生き生きと児童生徒に向き合えるように、教員業務支援員を拡充し、多忙化解消を図ります。インターネットバンキングを導入し、学校徴収金業務の負担軽減を図ります。	466,665 千円
キャリアステージに関わる研修・教職員の専門性向上に関わる研修	教育の動向や学校現場のニーズ、それぞれの教職員のキャリアステージに応じた研修を行います。また、教職員の専門性を向上させるため、様々な教育課題に対応した研修を行います。	5,427 千円
循環型生涯学習の推進		
公立夜間中学の設置準備	(再掲) 様々な理由により学齢期に十分な教育を受けられなかった方々に教育を受ける機会を提供するため、令和9年4月の開校に向けて、生徒の募集や施設改修工事を行います。	(繰越分) 24,400 千円 2,712 千円
にいがた市民大学の開設	幅広い世代の主体的な学習活動を支援するため、新潟市の歴史、文化から人工知能まで様々なテーマを扱った講座を開設します。一部の講座では学んだ内容をさらに深めるゼミナールを設け、多様な学びの機会を提供します。	3,217 千円
公民館事業	人づくり、地域づくりにふさわしい生涯学習社会を目指し、市民の学習活動を推進するため、地域の特性や資源を生かした事業を展開します。学校や地域団体との協働に努め、こどもから大人まであらゆる世代の交流や学びを深められる機会を提供し、地域コミュニティの活性化を図ります。	4,119 千円

事業名	事業概要	予算額
地域と学校・社会教育施設の協働		
【拡充】 中学生のための地域クラブ活動支援事業 (再掲)	地域クラブ活動を持続可能で充実したものにするため、指導者謝金等の補助に加えて要望のある物品購入費補助を拡充します。また、令和9年度から認定地域クラブ制度を開始し、中学生がより安心・安全なクラブ活動を実施できるよう、令和8年度中に指導者登録制度を構築します。	88,300 千円
コミュニティ・スクール推進事業 (再掲)	各学校の学校運営協議会において保護者、地域、学校が一体となっ てこどもを取り巻く課題や育てたいこどもの姿について議論や協働を重 ね、共にこどもの成長を支える学校づくりを進めます。	29,094 千円
地域とともにある学校づくり推進事業 (再掲)	コミュニティ・スクール講座の開催により、学校運営協議会の協働プロ セスの構築やマネジメントスキルの向上など機能の充実を図ります。 また、学校や地域を取り巻く課題解決に先進的に取り組んでいる学校 を募集し、その取組を支援します。	2,628 千円
こどもふれあいスクール事業 (再掲)	小学校PTAと教育委員会の共催により、週1～3回平日の放課後や土 曜日の午前中に小学校の体育館や余裕教室などで、児童の自由遊び を基本にした「こどもふれあいスクール」を開催します。	21,910 千円
地域と学校パートナーシップ事業 (再掲)	学校教育活動のさらなる充実を図り、学・社・民の融合による教育を 進めることを目的として、地域教育コーディネーターを配置し、学校と 社会教育施設、地域活動を結ぶネットワークづくりなどに取り組みま す。	167,286 千円
教職員研修における大学との連携	各種教職員研修に大学の教員を招聘することにより最新の知見を生 かした質の高い研修を実施し、教職員の資質・能力の向上を図ります。	1,101 千円
活動の担い手育成・確保		
地域力UPチャレンジ事業 (再掲)	地域コミュニティ協議会が実施する、地域課題解決の実践にかかる経 費の一部を補助します。本事業を通じて、地域課題を解決に導ける地 域人材の育成や新たな担い手の発掘、課題解決力の向上を目指しま す。	4,805 千円
市民活動支援センターの運営 (再掲)	市民活動支援センターにおいて、市民公益活動に関する情報収集・情 報提供や各種団体の交流支援、人材育成などの事業を行い、さまざま な団体の市民公益活動を全般的に支援します。	27,115 千円
新潟暮らしの魅力発信		
【拡充】 市内就労促進事業 (再掲)	次代の担い手である若者の地元就職への意識醸成を促進するため、 経済団体や地元大学など関係機関と連携して交流会などを開催する とともに、新たに新潟で暮らす魅力・働く魅力を伝えるためのセミナー を実施するほか、市内外に企業情報を発信することで人口の流出抑制 と流入促進を図ります。	4,000 千円
テレワーカー移住・定住促進事業 (再掲)	地域おこし協力隊を活用した情報発信などにより、テレワーカー移住 者を本市に呼び込むとともに、オンラインのコミュニティを通じ、移住 者が移住者をさらに呼び込みます。また、三大都市圏から一定要件を 満たして移住したテレワーカーや本市で体験居住をした方に支援金を 交付し、移住・定住を促進します。	29,950 千円
新潟暮らし魅力発信事業 (再掲)	新潟暮らしの優位性や魅力について、移住定住ポータルサイトや移住 相談、移住セミナーなどで市内外に広く発信し、本市へ移住者を呼び 込みます。また、移住後の生活を安心して送れるよう、移住者の定住 に向けた取組を行います。	8,500 千円

多様な保育サービスを提供するとともに、女性のみに負担がかかることのないよう男性の家庭でのさらなる活躍を促すなど、男女共に仕事と家庭生活の両方で活躍できるよう支援します。

企業とのパートナーシップのもと、働き方改革を推進し、官民協働で仕事と生活の調和の実現を図ります。そして、誰もがいきいきと働きながら地域活動や子育てができたり、家族や友人との充実した時間が持てる、心豊かに暮らせる新潟市を築きます。

事業名	事業概要	予算額
働き方改革など職場環境の整備		
【新規】 女性に魅力ある職場づくり支援事業	(再掲) 女性が働きやすく・活躍できる職場を増やすために、中小企業等を対象に、専門家や学生の生の声を聴く機会を設け、企業の意識向上を図ります。	1,000 千円
働き方改革推進事業	(再掲) 経営者等に向けたセミナーの開催、働きやすい職場づくりに取り組む企業の表彰を実施します。また、専用サイトを活用し、国・県・市の支援制度の情報発信や企業間ネットワークの活性化を図り、支援機関や経済団体等と連携しながら、企業の働き方改革の推進及び人材確保・定着を支援します。	5,716 千円
多様な就労の機会の創出		
デジタル技術を活用した地域就労モデル構築事業	(再掲) 事業者の人手不足の解消と多様で柔軟な働き方ができる環境を広げるため、本市公式の単日短時間就労マッチングサービス「にいがたCITYマッチボックス」を運営するとともに、在宅テレワーカー育成・活用支援のための施策を実施します。	32,200 千円
新潟地域若者サポートステーション事業	就職に向けて動き出せない若者や就職氷河期世代を含む幅広い世代の方の職業的自立に向け、説明会やセミナーを開催するなど、国と連携して就労支援に取り組めます。	20,245 千円
男女共同参画の理解の促進		
男女共同参画推進事業	(再掲) 男女共同参画社会の実現に向け、市民・事業者・市民団体や庁内外の関係機関と連携し、意識啓発および理解促進に向けた事業を行います。	2,408 千円
男女共同参画推進センター事業	(再掲) 男女共同参画を推進する拠点施設「アルザにいがた」において、各種講座の開催などの啓発事業や情報提供を行います。	4,007 千円
アルザフォーラムの開催	(再掲) 市と市民による実行委員会の主催により、若い世代を含め幅広い世代を対象に、基調講演や分科会、上映会など、誰もが気軽に参加でき、「アルザにいがた」の周知や男女共同参画への関心を高める各種イベントを開催します。	1,300 千円
女性の参画拡大と男女とも仕事と家庭生活が両立できる環境整備		
男性の家庭活躍推進事業	(再掲) 職場や家庭での性別による固定的な役割分担意識を解消し、ワーク・ライフ・バランスの推進を図るため、育児休業を取得した男性及び事業主に奨励金を支給します。	13,525 千円
女性活躍応援事業	女性の職業生活における活躍の推進や、仕事と生活との両立支援に向けて、経済界や労働団体との情報交換を行うほか、働く女性や再就職を目指す女性向けのセミナー等を開催します。	196 千円
良好な教育・保育環境の確保と質の向上		
【新規】 保育士の魅力発信事業	(再掲) 市内保育施設への就業促進を図るため、本市で保育士として働く魅力を伝える動画を制作し、保育士養成校学生や中高生等に広く発信します。	2,000 千円
【拡充】 多様な保育・子育て支援サービスの充実事業	(再掲) 多様な保育・子育て支援ニーズに対応するため、休日保育や一時預かりなどを実施するほか、保育コンシェルジュを全区に配置し、利用者に応じた適切なサービスを提供します。また、病児・病後児保育の予約システム導入や隣接自治体と連携して利用可能施設を拡充することで、保護者の利便性向上を図ります。	712,121 千円
保育士の確保事業	(再掲) 保育士確保に向け、保育士の宿舍借り上げ費用の補助や保育士養成施設の学生への修学資金等の貸付、潜在保育士への再就職支援、保育士資格取得のために要した費用の補助を行います。	42,027 千円
保育定員の確保事業	(再掲) 待機児童ゼロの維持に必要な保育定員数を確保するため、保育施設の新設にかかる費用の一部補助や、適切な定員調整等を行います。	593,219 千円

事業名	事業概要	予算額
良好な教育・保育環境の確保と質の向上(つづき)		
多子世帯の保育料等軽減事業 (再掲)	多子世帯の経済的負担の軽減を図るため、国基準を上回る市独自の保育料等軽減を行います。	568,722 千円
子どもが安心して過ごせる居場所づくり		
放課後児童の健全育成(放課後児童クラブ) (再掲)	放課後児童クラブにおいて、狭あい化しているクラブの環境改善対策、クラブ活動費の支援など利用者の利便性向上に取り組みます。	3,379,301 千円
社会全体で子育てを応援する機運の醸成		
にいがたっすこやかパスポート事業 (再掲)	地域を挙げて子育て世帯を応援するため、協賛店で様々なサービスを受けることができるすこやかパスポートを妊婦及び高校3年生相当年齢以下のこどもを持つ家庭へ配布するとともに、連携市町(新発田市、胎内市、聖籠町、田上町、加茂市、阿賀町)でも本市と同様に相互利用できるようにしています。	769 千円
結婚・子育てを応援するまちづくり事業 (再掲)	結婚・子育て応援サイトを中心に、結婚応援結パスポートと、にいがたっすこやかパスポートなどをPRし、民間と連携しながら社会全体で結婚と子育てを応援する機運の醸成に取り組みます。また、「にいがた子育て応援アプリ」や、新潟市公式LINEを通じて子育て情報を発信します。	3,028 千円
人材確保・育成に向けた支援		
企業参加型奨学金返済支援事業 (再掲)	若者の市内就労の促進と企業の人材不足解消を目指し、奨学金の返済を抱える新規学卒者等の経済的負担を諸手当等により支援する企業の支援額の一部を支援します。	4,400 千円

市民、団体、地域の事業者のパートナーシップのもと、徹底した省エネルギーとライフスタイルの転換を推進します。また、再生可能エネルギーの地産地消に取り組むことで、地域の脱炭素化を進めるとともに、エネルギーに関する地域外への資金流出を減らし、地域内経済循環にもつなげます。

併せて、食品ロス削減に向けた取組など、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進するとともに、環境教育の充実や多様な主体と連携・協働した環境美化活動を推進し、廃棄物の減量と適正処理を進めます。

事業名	事業概要	予算額
気候変動適応策の推進		
浸水対策の推進	浸水被害の軽減に向け、気候変動の影響を踏まえ緊急度が高い地区を優先した浸水対策施設の整備を推進します。	3,699,360 千円
省エネ・再エネの推進		
住宅用再生可能エネルギー等導入促進事業	家庭部門における脱炭素の推進を目的として、太陽光発電設備、蓄電池、V2H、燃料電池(エネファーム)の導入に要する費用の一部を補助します。	57,000 千円
新潟地域脱炭素社会推進パートナーシップ会議運営	(再掲) 市内事業者や団体等と行政をメンバーとし、勉強会や情報交換等を通じて、省エネ・再エネなど脱炭素に関する事業展開を支援します。	2,390 千円
ゼロカーボン戦略推進事業	国交付金を活用し、太陽光発電設備の導入等をモデル的に進め、効果を発信することで同種設備の普及を図ります。	30,699 千円
公共施設のZEB関連調査事業	本市の公共建築物の省エネを推進するため、既存施設のZEB化に向けた現況性能把握及び改修設計提案・検討を実施します。	8,000 千円
都心部の戦略的な再開発促進		
市街地再開発事業等の促進	(再掲) 都市再生緊急整備地域の規制緩和や市街地再開発事業、優良建築物等整備事業等の補助事業を活用し、民間開発事業を促進します。	656,259 千円
デジタル化・脱炭素化による競争力強化		
【新規】ペロブスカイト太陽電池社会実装推進事業	(再掲) 次世代型太陽電池「ペロブスカイト太陽電池」の原料の産地である本市において、地域の活性化及び脱炭素の加速化につなげるため、同電池の実証支援や普及啓発等により、地域の需要創出を図ります。	8,000 千円
業務効率専門家派遣事業	(再掲) デジタル技術活用による市内中小企業者の業務効率化・生産性向上を図るため、民間専門家派遣を実施し、デジタル化に向けた取組を支援します。	(繰越分) 10,000 千円
LED照明導入促進補助金	(再掲) エネルギー価格高騰の影響を受ける市内中小企業者に対し、消費電力を大幅に抑え、電気料金の削減を図るため、投資効果の高いLED照明の導入を支援します。	(繰越分) 100,000 千円
省エネ・創エネ対応設備導入支援事業	(再掲) エネルギー価格高騰の影響を受ける市内中小企業等に対し、太陽光発電設備等の導入への補助を通じ、電力価格高騰への対策を促し、脱炭素経営を支援します。	(繰越分) 40,000 千円
人材育成支援事業	(再掲) 製造業及び物流業のデジタル化や生産性向上を図る人材を育成するとともに、情報通信業において不足するIT人材の育成を促進するため、研修費用の一部を助成します。	2,300 千円
省力化・省エネ化補助金	(再掲) 製造業及び物流業における、人手不足の緩和や生産コストの削減を図るため、省力化・省エネ化に資する生産設備やデジタル技術の導入に要する費用の一部を補助します。	26,000 千円
生産性向上と持続性の両立に向けたスマート農業技術の導入促進		
みどりの農業推進事業(J-クレジット普及推進事業)	(再掲) 温室効果ガスの排出削減量・吸収量を国が認証する「J-クレジット制度(AG005:水稲栽培における中干し期間の延長)」を活用し、環境に配慮した持続可能な農業を推進するとともに、事業で得られたクレジットにより、地域農業や企業の環境保全活動の活性化を図ります。	6,300 千円

事業名	事業概要	予算額
3Rの推進によるごみの減量		
製品プラスチック分別収集・再商品化実証事業	製品プラスチックの分別収集・再商品化の本格実施に向け、地区及び期間を限定して実証事業を実施します。	1,800 千円
新焼却施設の整備 (亀田清掃センターの建替え)	安定かつ効率的なごみ処理体制を構築するため、令和12年度の稼働開始に向け、亀田清掃センターの建替えを進めます。	1,590,292 千円
食品ロス削減推進事業	エコレシビコンテストの開催や、「20・10・0運動」、「てまえどり」の展開など食品関係事業者と連携した取組により食品ロスの削減を図ります。	6,089 千円
脱炭素社会に向けたバイオマスプラスチック利用促進事業	資源米を原料にしたバイオマスプラスチック製のごみ指定袋を使用してもらうことで、市民への脱炭素社会に向けた機運醸成につなげるほか、農業体験との連携による環境教育を実施します。	84,930 千円
新潟市資源とごみの情報紙「サイチョプレス」	ごみの減量・資源化を推進するため、新聞折込による広報紙を定期的に発行するとともにホームページ・SNSなどで発信し、広く市民にごみ・リサイクルに関する情報を提供します。	17,863 千円
新潟市環境優良事業者等認定制度	環境分野における様々な課題解決に向け、SDGsのゴールやターゲットを意識し、積極的に取り組む事業者等を、環境優良事業者(愛称 ONEカンパニー)に認定し、その取組内容を広く周知します。	241 千円
地域の環境美化の推進		
地域清掃等補助金	町内会・自治会などの地域団体やその他環境美化を推進しようとする団体による、地域での一斉清掃などの美化活動を支援することで、環境美化活動を推進します。	14,961 千円
自然との共生		
【新規】 世界湿地都市ネットワーク市長会議	(再掲) ラムサール条約の湿地都市認証を受けた都市による国内初の国際会議「世界湿地都市ネットワーク市長会議」を、令和8年11月30日～12月2日に本市で開催します。	35,000 千円
【拡充】 ラムサール条約都市推進事業	(再掲) 11月の「世界湿地都市ネットワーク市長会議」の開催に向けて、様々なプロモーション等を展開しながら、都市と自然が調和する本市の特色や保全・利活用の取組を「国際湿地都市NIIGATA」として、内外に発信するとともに、市民団体等の活動への支援のほか、佐潟の再生などに引き続き取り組みます。	27,200 千円
佐潟野鳥観察舎建替事業	能登半島地震の被害等により、国が解体した佐潟野鳥観察舎について、地域からの要望を受け、本市施設として新たに建設することとし、11月に本市で開催される「世界湿地都市ネットワーク市長会議」までの完成を目指します。	(繰越分) 33,000 千円

10 安心・安全で災害に強いまちづくり

災害時に市民一人一人が適切な行動をとれるよう、さらなる地域防災力の向上に取り組むとともに、市の危機管理体制の強化にも取り組みます。

住宅・建築物の耐震化促進や、道路・橋りょう、上水道・下水道など都市を支えるインフラ施設の長寿命化や耐震化により、災害時の機能確保などを進めます。加えて、広域交通基盤が整備されている新潟市の拠点性を国・県との連携のもとさらに高め、有事の際の救援・代替機能につなげていきます。

事業名	事業概要	予算額
地域の防犯啓発活動の推進		
【新規】 AI防犯カメラ整備事業 (再掲)	新潟駅周辺繁華街にAI防犯カメラを整備し、悪質な客引きを防止するとともに、客引き行為の実態を把握し、環境健全化と安心・安全なまちづくりを推進します。	9,000 千円
【拡充】 獣害対策事業	イノシシやクマなどの大型獣の出没時において、猟友会等と協力し、罠による捕獲のほか、麻酔銃猟や緊急銃猟といった緊急時の対策を強化するとともに、人と野生鳥獣の住み分けにつながる地域主体の取り組みを支援するため、引き続き、電気柵の貸出しや緩衝帯整備費用の助成などを行います。	7,528 千円
区民の安心・安全対策事業 (再掲)	地域ごとに異なる犯罪発生実態に対応するため、各区が必要な個別の防犯対策(街頭防犯活動や防犯ボランティアへの支援等)を講ずることにより、安心・安全な地域づくりを実現します。	1,388 千円
交通安全意識の普及		
新潟市交通対策協議会補助金	市、警察、及び各種民間団体が相互に連携し、新潟市における交通安全活動(街頭指導・広報、交通安全教室等)を効果的に推進することを目的に設立された新潟市交通対策協議会の活動に対して補助を行います。	2,100 千円
高齢者安全運転サポート事業	民間企業等と連携した高齢運転者特有の危険発生と自己の運転能力の変化を認識できる運転能力診断、参加型交通安全教室の実施や自動車学校と連携した技能講習会を実施します。	560 千円
校区交通安全推進協議会補助金	主に児童の交通安全の推進を目的に小学校区単位で結成された校区交通安全推進協議会に対する活動(街頭指導や交差点への横断旗設置、危険個所の点検及び対策等)に対して補助を行います。	8,964 千円
地域防災力・減災力の向上		
【新規】 総合ハザードマップ更新事業	本市において想定されている最新のハザード(災害リスク)を周知するため、既存情報(総合ハザードマップ・H30年度作成)の更新に着手します。 ※ハザード:洪水土砂、津波、浸水など	45,000 千円
【新規】 災害リスク読み上げツール導入事業 (再掲)	視覚障がいのある方や外国人等へ向けて、スマートフォンアプリにより気象情報や周辺の災害リスク等を読み上げる多言語対応のシステムを導入します。	2,000 千円
【新規】 感震ブレーカー設置促進事業 (再掲)	過去の教訓を踏まえ、大規模な地震による住宅からの出火および延焼火災による被害を防止・軽減するため、感震ブレーカーの設置費用を助成します。	20,000 千円
街区単位の液状化対策事業 (再掲)	液状化対策検討範囲内の土地所有者に事業内容を丁寧に説明するとともに、事業実施に関する意向確認アンケート調査を実施します。試験施工を実施するとともに、集水管などの施設配置計画を作成します。	(繰越分) 280,000 千円
		440,000 千円
地域防災力育成事業 (再掲)	自主防災組織の防災訓練に対し助成金を交付し、地域における防災力向上及び自主防災組織の機能強化を図ります。また、防災訓練の実施促進のための講習会などを開催します。	27,000 千円
地域防災リーダー育成事業 (再掲)	地域の防災リーダー育成のため、防災士の資格取得に係る費用の助成人数を拡充します。また、西区において、モデル事業として防災士のスキルアップを後押しする講習会を開催します。	2,772 千円
水防対策事業	河川管理者などの関係者との協働により、信濃川及び阿賀野川における水防訓練を実施し、水防対応能力の向上を図ります。	2,857 千円

事業名	事業概要	予算額
地域防災力・減災力の向上(つづき)		
避難行動要支援者支援制度促進事業	避難行動要支援者支援制度の取組を一層促進するため、地域向け講習会などを実施するとともに、優先度が高い要支援者については、福祉専門職などとの連携により、同制度に係る個別避難計画の作成を推進します。	2,126 千円
避難体制の充実		
避難環境等整備事業 (再掲)	津波からの避難時に、階段が登れない高齢者などを上層階へ避難させるためのストレッチャーや、備蓄物資としての蓄電池などを整備します。	(繰越分) 110,000 千円
避難所運営デジタル化事業 (再掲)	新潟県と県内市町村が連携して開発した「新潟県避難者支援システム」の運用を通して、避難所における入退手続きの簡素化が図られるとともに、避難者情報を迅速に把握できることにより、避難生活の支援向上に繋がります。	4,821 千円
避難所運営促進事業 (再掲)	避難所運営委員会の新規結成に向けて、講習会などを開催するとともに、既存の避難所運営委員会の実践力強化を図るため、模擬訓練などを実施します。また、避難所運営のさらなる女性参画に向けた啓発を行います。	10,950 千円
備蓄物資整備事業 (再掲)	防災直後における本市の想定避難者数に基づき、避難者が必要とする食料や保存水等の備蓄物資を整備します。	33,749 千円
危機管理体制の整備		
【新規】 防災行政無線更新整備事業	災害時等に市からの緊急情報を伝達するため、津波浸水想定区域等に設置している防災行政無線について、機器の経年劣化や一部で利用していた民間サービスの終了に伴い、機器の更新、音域範囲の見直しによる削減、必要な箇所への増設などを令和8年度から10年度の3カ年でを行い、確実な緊急情報の伝達体制の強化を図ります。	745,000 千円
【拡充】 防災情報システム機能強化事業	緊急情報を発信する「災害情報伝達一元化システム」の運用により、にいかた防災メールやLINEなど、11のツールを活用して市民へ避難情報や災害情報を迅速に伝えます。また、スマートフォンを所有していない高齢者世帯や視覚障がいのある方がいる世帯への情報発信手段を拡充するため、電話配信サービスを導入します。	3,820 千円
災害時被害情報収集事業 (再掲)	災害発生時の被害情報をAIを活用して、SNSなどから収集するシステムにより、速やかな被害状況の把握と市民への情報提供を図ります。	4,752 千円
災害対策センター施設管理費	災害対策本部や区役所などの拠点施設を結ぶWEB会議システムなどの適切な管理を行うことで、災害発生時における迅速な対応を図ります。	19,217 千円
安心・安全で快適な住まい・住環境づくり		
空家等対策	空き家取得費補助等を継続実施するなど、空き家の活用や流通の促進を図るとともに、子育てしやすいまちの形成や移住定住の促進などに繋がります。また、引き続き略式代執行を実施するとともに管理不全空家等への指導体制を強化します。	95,800 千円
住宅・建築物耐震改修等補助事業 (再掲)	建築物の地震対策の重要性について市民理解を深めるとともに、民間の住宅・建築物の耐震改修工事等や旧耐震基準の住宅の除却に係る費用の一部を助成します。	40,860 千円
災害・事故対策の推進		
道路防災対策事業	法面及びトンネルでの災害や事故を未然に防ぐため、防災点検で「要対策」と判定された箇所を重点的に、落石防護等の防災対策を実施します。	(繰越分) 73,000 千円
交通安全施設整備事業	地域ごとの基本的方針をまとめた「通学路交通安全プログラム」に基づき、小学校の通学路において、防護柵の設置や路側帯のカラー化などの交通安全対策を実施します。	(繰越分) 9,000 千円
持続可能な維持管理体制の構築		
【新規】 道路台帳デジタル化事業	道路台帳平面図をデジタル化し、持続可能な道路台帳の維持管理を目指すとともに、庁内外で利活用するための環境を整えます。また、データの公開により、市民や事業者等の利便性の向上を図ります。	280,000 千円
除雪対策事業	冬期間の安心・安全な道路交通を確保するため、効率的・効果的な除雪体制を整備するとともに、担い手確保に取り組みます。	4,985,619 千円

事業名	事業概要	予算額
道路施設の長寿命化の推進		
橋りょうの維持補修	橋りょうの損傷や劣化を把握するため、新技術を積極的に活用し、効率的な定期点検を実施します。また、市民の安心・安全を確保するため、橋りょうの計画的な補修を行い、健全性の維持・回復を図ることで、長寿命化を推進します。	(繰越分) 603,000 千円 2,336,789 千円
道路の維持補修	道路利用者の安全性および快適性を確保するため、主に交通量の多い幹線道路において、舗装状態を把握する路面性状調査等を実施し、その結果に基づいた適切な補修を推進します。	3,372,944 千円
災害に強い水道施設の構築		
施設整備事業(耐震化)	浄水場機能の信頼性と安定性を維持するため、計画的に老朽化設備の更新を進めます。また、主要な土木構造物の耐震化・長寿命化を行い、自然災害等による被災を最小限にとどめて早期復旧が可能となる施設の整備を進めます。	985,600 千円
基幹管路更新事業(耐震化)	事故発生時の影響が大きい主要な管路について、老朽度や耐震性を踏まえて優先付けし、長期的な更新費用の平準化を図りながら、計画的に管路の更新と耐震化を行います。	2,553,100 千円
下水道施設の機能確保と計画的な改築		
【拡充】 下水道施設の機能確保 (再掲)	令和8年1月に発生した東区の道路陥没事故を受け、陥没箇所の本復旧工事を進めるとともに、下水道管路における点検・調査の強化を踏まえた計画的な改築更新を行い、老朽化が進む下水道施設の予防保全的な維持管理を着実に実施します。	13,372,898 千円
雨に強いまちづくりと耐震化・耐水化の推進		
浸水対策の推進 (再掲)	浸水被害の軽減に向け、気候変動の影響を踏まえ緊急度が高い地区を優先した浸水対策施設の整備を推進します。	3,699,360 千円
下水道施設の耐震化・耐水化の推進	大規模地震の被災時にも最低限の機能を確保することで、市民生活に及ぼす影響を最小限に止めるため、下水道施設の耐震化・耐水化を推進します。	146,250 千円
拠点機能の充実・強化		
【新規】 新潟空港特定天井改修工事費負担金 (再掲)	新潟空港の耐災害性を強化するため、ターミナルビルの特定天井改修に係る工事費について、県と連携して支援します。	102,000 千円
新潟空港整備事業費負担金 (再掲)	国が行う新潟空港の滑走路改良や、灯火施設等の整備費を負担することで、空港機能の改善、強化を図ります。	120,887 千円
新潟空港利用活性化促進事業 (再掲)	県や関係団体と連携し、既存路線の維持・拡充や新規路線の誘致、新潟空港の利用促進に向けた機運醸成に取り組めます。食や自然、佐渡島への周遊など、本市の観光の魅力をPRすることで路線の認知度向上を図り、利用促進に繋がります。	206,587 千円
みなと拠点化・活性化推進事業 (再掲)	新潟港の利用活性化を図るため、コンテナ貨物の輸出支援や、ポートセールス、港湾施設の整備促進等に取り組めます。	1,500 千円
放射・環状型の道路ネットワークの強化		
新潟中央環状道路の整備	多核連携型の都市構造を支え、各地域拠点間の交流・連携軸となる新潟中央環状道路の整備を推進します。なお、国道8号から国道49号区間のうち、事業効果の高い工区の整備を優先し、早期供用を目指します。	731,500 千円
幹線道路の整備	地域の社会・経済活動を支えるとともに、安心・安全なまちづくりに資する幹線道路の整備を推進します。国道403号では4車線化に向け調査・設計を推進します。	6,019,174 千円
直轄国道の整備促進	本市の拠点性を高め、多核連携型の都市構造を支える放射環状型の幹線道路ネットワークの骨格をなす直轄国道の整備を促進します。	2,151,000 千円

**活力と魅力あふれる区づくりに
向けた取組の強化**

区予算について

区長の裁量で執行できる予算を充実させ、より区民の皆さまに近い立場から区政を推進できるようにすることで、区民の皆さまをはじめ、多様な主体と一体となって、活力と魅力あふれる区づくりを積極的に進めています。

各区の課題解決に向けて

～区長による事業提案を継続的に予算化～

区民の皆さまの要望を踏まえた区長からの事業提案を継続的に予算化し、住民起点でのより良い地域づくりを推進します。

○ 各区で実施する区長提案事業 : 3億8,809万4千円

- 北区 海辺の森リニューアル事業
松浜エリアリノベーション推進事業
- 東区 産業のまち東区オープンファクトリー
地域と水辺と共生プロジェクト
- 中央区 ハマベリング!!!～しもまち地域魅力向上事業～
在来線高架下利用促進事業（公園整備）（R7繰越）
- 江南区 江南区商・農・福連携推進事業
江南区ふるさと愛育成プロジェクト
- 秋葉区 こども真ん中プロジェクト
アキハ移動式こどもの居場所づくり
アキハ「鉄道物語」
- 南区 チャレンジ農家応援事業
かぼちゃ電車線情報発信事業
白根まち歩き空間整備事業（旧白根配水塔）（R7繰越）
白根高校とのまちづくり連携事業
- 西区 北国街道活性化プロジェクト
佐潟活用プロジェクト（ハード事業）
新潟大学前駅地下道エレベーター整備事業（本庁配当予算）
Meetup! NiigataWEST2040～若者未来会議～
地域と大学連携事業
- 西蒲区 MOKUMOKUにしかん
にしかん・やひこ 遊・誘・湯めぐりプロジェクト



直接区役所に配分する予算

区役所が区民の皆さまの声に、迅速かつ柔軟に対応することができるよう、本庁の所管部署を通さず、直接区役所に配分する予算については、下表のとおりとなります。

(単位：百万円)

項 目	令和8年度	令和7年度	差引増△減
区 政 推 進 事 業	801	808	△7
うち 特色ある 区づくり予算	240	240	0
うち 緊急対応予算	262.5	262.5	0
地域施設の維持管理費	6,740	6,457	283
地域のイベントなど	157	160	△3
市道、公園などの管理費	3,504	3,495	9
生活道路、公園などの整備費	1,922	1,982	△60
地域施設の整備費	1,106	456	650
合 計	14,230	13,358	872
総予算に対し	3.2%	3.2%	

※人件費を除きます。

活力と魅力あふれる
区づくりをさらに推進します



【北区】 予算概要	区の強みである自然環境の魅力を発信し交流人口の拡大を図ります。また、大学生など若者の発想や民間企業の専門的知見を活かすとともに、多様な団体と連携を深めて賑わいを創出し、地域課題の解決及び地域活性化に努め、住み続けたいまちづくりに取り組みます。
----------------------	---

事業名	事業概要	予算額
自然の魅力輝くまち		
【新規】 キタクなる福島潟みらいプロジェクト	福島潟の現状とあり方を関係団体で共有し、今後の取り組みの指針とするため、福島潟全体の中・長期的な将来計画の策定に向けた検討を行います。	1,800 千円
【新規】 豊かな水辺環境保全事業	ひょうたん池、十二潟及び濁川自然生態観察園において、希少動植物の保護や外来動植物対策などの保全活動を実施するとともに、観察会等を通じたPR活動を行い、水辺環境への理解と保全意識を高め、自然環境の維持を推進します。	1,200 千円
海辺の森リニューアル事業	海岸線の保全と交流人口の拡大を目的に、海辺の森キャンプ場のオートサイト化や管理道路等を整備します。	14,800 千円
キタクなるみどりの景観共創事業	海辺の森や桜並木等の美しいみどりの景観を将来に残すため、協働による森林保全活動や美化活動等を促進することにより環境整備を図り、交流人口の拡大を図ります。	4,500 千円
松浜海岸の自然環境保全と地域の魅力づくり事業	松浜海岸に近接する住宅地の飛砂被害を軽減する為、継続的に飛砂対策を行うことで、生活環境の改善を図ると共に、地元誇りである【ひょうたん池】(市民文化遺産)を埋没から守り、安らぎあふれる自然環境を保全します。また、官民協働で行うことにより、地域の愛着や環境保護への意識啓発を図ります。	2,700 千円
未来へ続く活力あるまち		
【拡充】 大学連携「未来のまちづくり」事業	大学の知見を活かした講座を開催することにより、大学と地域との交流を深め、まちの活性化を図ります。あわせて、新たに学生を対象とした取組として、新潟市での生活や働き方をイメージできるよう支援することで、市内定住の促進を図ります。	2,000 千円
松浜エリアリノベーション推進事業	松浜地区の遊休不動産や、エリア内外の人的資源を活用し、新しいまちづくりプレイヤーや不動産オーナーの発掘、育成、事業化支援を行います。	3,500 千円
キタクなる魅力創造プロジェクト	民間事業者と連携したバスツアーの開催やSNSを活用した観光情報の発信などにより、観光資源の掘り起こしや磨き上げによる魅力向上を図るとともに、交流人口の拡大に取り組みます。	3,400 千円
北区トマト王国プロジェクト	県下一の出荷量を誇る北区産トマト(豊栄とまと・にがりかわトマト)の魅力を県内外へ発信し、ブランド力強化と園芸産地の活性化を図り、「儲かる農業」実現を目指します。	2,000 千円
商店街ブランディング事業	地場産品を集めたイベント開催などによる人流拡大やまちの賑わい創出により、市場や地元商店の魅力や販売力の向上につなげます。	2,600 千円
産学官豊栄まちなかりノベ事業	産学官が連携し、まちなかにある空き店舗をコミュニティスペースとして活用し、まちなかの活性化を図ります。	3,500 千円
いきいきと心豊かに暮らせるまち		
【拡充】 北区郷土博物館 地域魅力発信事業	伝統文化である葛塚縮の手織り技術を市民に広く知ってもらえるよう実演展示の充実を図るとともに、葛塚縮手織りの布を使ったグッズを制作して葛塚縮を身近に感じてもらう機会を創出します。また、北区の歴史、文化をよりわかりやすく伝えられるよう常設展示の改修を行います。	1,500 千円

事業名	事業概要	予算額
いきいきと心豊かに暮らせるまち(つづき)		
出張児童館事業 (再掲)	既存の公共施設等を活用し、児童館のない地域へのサービスの拡充を図り、こどもの居場所づくりを推進します。	9,900 千円
北区エンジョイスports事業	区民が生涯を通じてスポーツに親しめる取組や各競技団体が行う活動への支援を進め、参加者数増大と交流促進及び健康増進を図ります。	2,000 千円
北区もの忘れ検診	認知機能の低下が疑われる人を早期に発見し、適切な支援・サービスに繋げるため、北区の65歳以上の希望者に対し、国保の特定健康診査、後期高齢者健康診査を受診の際に、「もの忘れ検診」を実施します。	707 千円
子育て応援事業	子育て支援講座や多胎児を妊娠中の方やそのご家族向けの交流会開催、地域団体への子育て支援講座の講師派遣により、子育てを支援します。また、子育て応援イベントの開催により、子育てを支える地域づくりを推進します。	1,390 千円
区自治協議会提案事業		
【新規】 大学連携による地域活性化事業	新潟食料農業大学と区自治協議会が地域の課題解決に向けて、課題を共有し、地域社会とのつながりを深めるイベント・企画などの事業を実施します。	600 千円
【新規】 地域におけるこども・子育て支援事業	地域がこどもの健やかな育ちや子育て世帯を支える”社会の厚み”として機能することを目的に、事業を実施します。	600 千円
【新規】 北区 自然(水辺)環境の活用・魅力発信事業	北区内の自然(水辺)を活用し、住民が自然に親しみながら環境保全の意識を高めるイベントなどの事業を実施します。	600 千円

【東区】 予算概要	「産業と多様な魅力が調和し、心豊かに暮らせるまち」の実現を目指し、東区の活力ある産業や歴史・文化資源を活かしたにぎわいを創出し、交流人口の拡大と地域の活性化を図ります。また高齢者・子育て支援、地域防災力の向上に取り組み、区民や地域団体、地元の企業や大学などとの連携・協働により、心地よく暮らしやすいまちづくりを進めます。
----------------------	--

事業名	事業概要	予算額
活力ある産業と地域の魅力を活かしてにぎわうまち		
【拡充】 地域と水辺と共生プロジェクト	じゅんさい池の自然環境保全活動として、外来種捕獲を継続します。さらに、じゅんさいの再生に展開するため、調査・検討を行います。また、じゅんさい池を含めた東区の水辺環境の魅力について引き続き発信し、地域への愛着の醸成やにぎわいの創出を図ります。	7,100 千円
【拡充】 産業のまち東区オープンファクトリー	「産業のまち」「ものづくりのまち」として発展してきた東区魅力を市内外に発信するため、産学官金連携により「オープンファクトリー」を継続開催し、持続可能な運営構築のため、新たに外部人材の活用を検討します。	4,000 千円
産業E産探求プロジェクト	東区で産業が発展してきた歴史や産業E(遺)産について学ぶまちあるきやイベントを実施し、東区魅力を再発見してもらうとともに、交流人口や関係人口の拡大を図ります。また、大学生などに記者として参加してもらい、WEB上で発信してもらうことにより、若い世代の地域への愛着や誇りの醸成に取り組みます。	4,000 千円
工場夜景バスツアー	区内外の企業や工場の見学などを取り入れた工場夜景バスツアーを実施し、「産業のまち」としての東区魅力の再発見と、地域への愛着や誇りの醸成に取り組みます。	2,000 千円
東区Eとこ「つたえる・ひろめる」プロジェクト	東区の「E(いい)とこ」(=魅力的なモノ・コト・スポットのこと)と、東区公認キャラクター「めたりん」を掛け合わせた広報資料を製作・配布し、東区内の魅力の再発見に取り組みます。また、区バスの認知度向上に取り組みます。	1,000 千円
東区歴史文化プロジェクト	東区市民劇団による演劇公演や、区内を中心に活動している個人・団体の作品展示、区内中学校・高校文化部の活動発表などを通じ、東区のみならず区役所庁舎から文化を発信するとともに、東区の歴史の普及啓発に取り組むことで、にぎわいの創出と地域の活性化を図ります。	3,400 千円
にぎわいのみなとまちづくりプロジェクト	広域交流拠点である「新潟西港」周辺の魅力や歴史、文化などを発信し、にぎわい創出につながるイベントなどを実施します。また、「新潟西港」が持つ拠点性や航路でつながる地域のPRにも取り組みます。	2,500 千円
だれもが互いに学び合い、共に育つまち		
東区2km子育てトライアングル魅力発信	主要子育て支援施設「い〜てらす」、「こども創作活動館」、「わいわいひろば」が2kmの距離で結ばれていることから、「東区2km子育てトライアングル」をキャッチフレーズに3施設の効果的な情報・魅力発信の機会として、「東区こどもまつり」を開催し、子育てにやさしい東区を啓発します。	1,500 千円
子育て応援事業	妊娠期から父母双方に育児知識を得てもらい、知らないことによる虐待リスクの減少と出産後の不安感・孤立感を解消します。また、父親向けの講座を開催し、男性の子育て参加を促進します。	3,157 千円
安心して快適に暮らせるまち		
【新規】 越後石山駅前地域交流拠点施設等整備事業 (再掲)	公共施設の再編に向けた取り組みとして、公民連携による事業手法により、駅前に新施設を設置して老朽化した既存施設(まちづくりセンター、出張所、図書館、公民館)の機能集約を図り、多世代が集える多機能拠点を作ります。令和8年度は、施設整備等を担う民間事業者の募集・選定に向けた準備を進めます。	35,000 千円
東区役所プラっとプロジェクト	南口エントランスホールの床フロアをリニューアルし、テーブル・椅子を配置した憩いの空間を演出することで区民の憩いの基盤(プラットホーム)となり、より気軽に(ぶらっと)利用できる環境づくりに取り組みます。	3,000 千円
地域防災力の向上	自主防災組織や自治会・町内会、学校、企業等を対象に自然災害への備えやハザードマップの見方、正しい避難行動などを周知するため、防災出前講座を開催します。あわせて、避難所運営体制の整備を図り、地域防災力の向上を図ります。	2,900 千円

事業名	事業概要	予算額
安心して快適に暮らせるまち(つづき)		
高齢者見守り訪問介護 予防	高齢者のみ世帯や一人暮らしの高齢者のうち、介護認定を受けている世帯や生活保護受給者などを除く、第三者の目が届きづらい高齢者の現状を確認し、状況に応じて適切なサービスを導入します。また、健康づくり及び介護予防に取り組みます。	834 千円
歯っぴーすまいるプロ ジェクト	東区の歯科保健の課題である子どものむし歯の改善に向け、歯の生え始めの時期である1歳児に好ましい食習慣の普及啓発を図るため、1歳誕生歯科健診で栄養講座を実施するとともに、保育園・幼稚園などと連携し、歯と食育の健康づくりに取り組みます。	1,500 千円
美しい東区環境づくり	区ビジョンまちづくり計画に掲げた「ごみのない美しいまちづくり」を推進するため、まちの美化や環境保全意識の向上を図る取組により「クリーン東区」のイメージ定着を図ります。	1,000 千円
区自治協議会提案事業		
区自治協議会提案事業	区民と協働し、東区の地域課題の解決やまちの活性化について、3つある専門部会が所管する分野を中心として取り組みます。令和8年度は、各専門部会で設定した課題(テーマ)の解決となる事業を実施します。	3,000 千円

【中央区】 予算概要	「にぎわう都心、豊かな自然、みなとまち文化が織りなす活気あふれる拠点のまち」を目指し、中央区の魅力を活かした、まちなかの活性化を推進する取り組みや、子育て・高齢者・防災などに関する取り組みを地域と連携・協働しながら行います。
-----------------------	--

事業名	事業概要	予算額
賑わいと活力あふれ訪れたいくなる拠点のまち		
ハマベリング!!!～しもまち地域魅力向上事業～	日高山浜や西海岸公園、しもまち地域内の中心商業エリア「フレッシュ本町」などを中心にこれまで実施してきた賑わい創出イベントや多様な主体と連携した取組の継続・深化や新たな展開を進めるなど、さらなる魅力・賑わい向上、観光推進、移住・定住促進を図ります。	15,814 千円
西海岸公園等利便性向上事業	「ハマベリング!!!～しもまち地域魅力向上事業～」と一体で西海岸公園及び周辺の利便性の向上を図るため、保護者等が見守るベンチを増設するとともに、安全な公園利用を図るため、駐輪場の再整備及び大階段上遊歩道の冠水対策に取り組みます。	8,700 千円
在来線高架下利用促進事業(公園整備)	越後線の高架下用地に地域の拠点となる公園を整備することで、地域の交流の場として活用してもらい、賑わい創出を目指します。	(繰越分) 40,000 千円
だれでも2kmストリート事業	人中心のウォークラブルな空間形成に向けて、バリアフリーの観点から視覚障がい者用の誘導ブロックを整備し、誰もが訪れたいくなる快適な移動空間の実現を目指します。	6,000 千円
共につながり安心して暮らせるまち		
赤ちゃん誕生お祝い会 & 交流会支援事業	地域との協働で「赤ちゃん誕生お祝い会」や「交流会」を開催することにより、子育てで不安や孤立を感じている子育て世帯と地域がつながるきっかけを作り、安心して子育てできる地域づくりを推進します。	500 千円
寄居コミュニティハウス整備事業	寄居コミュニティハウスの老朽化が著しいことから、旧大畑少年センター跡地へ移転するための建設工事を行います。	395,400 千円
地域防災力育成事業	地域や防災士と連携し、起震車体験や中学生向けの避難所運営・資機材使用講習会の開催により、防災意識を高めるとともに、地域防災の担い手育成を推進します。	2,020 千円
水と緑に囲まれた自然と都市が共生するまち		
鳥屋野潟環境啓発事業「とやの物語」	鳥屋野潟の認知度と環境意識を高め、広く市民等の取組を促し、都市と自然豊かな水辺が共生するまちづくりを推進するため、学校への出前講座、体験学習会、啓発パネル展等の環境啓発事業を行います。	5,170 千円
区民協働森づくり事業	新潟島の海岸林の必要性・重要性を広く周知し、防風対策を図るため、西海岸公園の汐見台エリアにおいて、クロマツの管理を行います。また、公園としても魅力向上を図るため、区民協働で植栽を行います。	4,000 千円
松くい虫防除事業	松くい虫による松枯れ被害を収束させるため、被害木の伐倒・駆除及び被害跡地への地域との協働による植栽などを行います。	38,500 千円
歴史と文化を受け継ぎ発展するまち		
みなとまち新潟 次世代に向けた古町芸妓魅力発信事業	中央区の伝統的産業であり、新潟湊の繁栄を象徴する「古町芸妓」「古町花街」を若い世代から知ってもらい、若い世代自身が古町芸妓の魅力を市内外に向けて発信し、古町に行ってみたいと思うように関心を喚起することで、交流人口の創出と産業の振興に繋がります。	1,628 千円
地域のお宝！再発見事業	区内の歴史的建造物や貴重な文化等の地域資源に誇りと愛着を持ってもらうため、テーマ性のあるまち歩き、情報発信などに取り組みます。	5,977 千円

事業名	事業概要	予算額
区自治協議会提案事業		
区自治協議会提案事業	区自治協議会が地域の課題解決や活性化につながる取組を提案し、深掘り調査や効果検証するためのモデル事業などを実施します。自治協委員で構成する専門部会において、各分野における身近な課題を洗い出し、取組テーマを決め、課題解決を図っていきます。	1,525 千円

【江南区】	都市的なたまたまいと緑豊かな田園・自然がバランスよく共存している地域特性や、地域が持つ宝、地域資源を活かすことでまちの魅力・活力を向上させるとともに、区民の安心安全で健康な生活を守ることで「緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち」を目指します。
予算概要	

事業名	事業概要	予算額
自然環境と都市機能を活かした快適に暮らせるまち		
みんなで語り、考える 使いやすい 公共交通	区バス・住民バスのさらなる利用促進に向け、啓発活動を実施するとともに、地域の実情に応じた移動手段の確保への支援を行うなど、より使いやすい公共交通の実現に繋がります。	1,500 千円
ピバ、リバー！憩い空間 活用事業	小阿賀野川の水辺空間(サイクリングロード・小阿賀野川酒屋広場)を活用し、区の魅力を体験できる機会(「こあがの川フィッシング大会」・「江南体験隊 エンジョイ！ サイクルツアー」)を創出します。	4,300 千円
人と人とのつながりを大切にする安心・安全なまち		
【新規】 出張児童館事業	(再掲) コミュニティセンターなどの既存施設を活用して、児童館のない地域でこどもの健全な遊びの場を提供することで、こどもの居場所づくりを推進します。	2,000 千円
江南区商・農・福連携 推進事業	区内の商・農業者と障がい福祉事業所とのマッチングを促進し、仕事の受注や魅力ある授産品の開発による障がい者の工賃アップと、商・農業者の労働力不足の解消を目指します。	3,000 千円
江南区安心・安全な地 域づくりの推進	周囲を河川に囲まれる江南区において、激甚化する自然災害などに対して、区民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識の醸成を図り、安心安全な地域づくりを推進します。	230 千円
江南区ふれあい・ささ えあいプランの推進	「ふれあい・ささえあい交流事業」を通じて、地域交流と共生社会の実現に向けた機運醸成を図り、「みんなで、ささえあい安心して暮らせるまち“江南区”」の実現を目指します。	2,990 千円
地域で子育て・地域で 見守り応援事業	地域の中で、子育てを応援したい人、認知症高齢者を支援したい人を掘り起こし、地域全体で子育て世代や高齢者を支え、安心して暮らせる地域を実現します。	450 千円
産業と地域の魅力が輝くまち		
【新規】 江南区ふるさと愛育成 プロジェクト	歴史文化施設への見学授業を希望する区内小学校に対して、講師やガイド、交通手段の確保などの学習支援を行います。また、江南区産農産物を区内の学校給食として提供し、食材を通じて地域の魅力を知ってもらうことで、ふるさとへの愛着と誇りを育みます。	2,100 千円
亀田縞つなぐ・ひろがる プロジェクト	地域ブランド亀田縞について、引き続き地域のアイデンティティの醸成や2ndラインを含めた利用拡大を進めるとともに、にいがた2kmエリアを中心とした露出拡大などの取り組みを通じて市内外への発信を強化することにより、地域産業の振興と亀田縞の地位向上を目指します。	3,000 千円
江南区まるごとプロ モーション	江南区の魅力である農産物や観光資源などを、官民連携により一体的にプロモーションすることで、シビックプライドの醸成と区の魅力発信の強化を図るとともに、いきいきフェスタやよこごし公園マルシェなどのイベント開催を通じてさらなる賑わいの創出に繋がります。	6,900 千円
地域商業活性化支援	商業関係者らによる江南区魅力“彩”発見実行委員会に参画し、区内全体の商業の活性化につながる取組を行います。	3,000 千円
人が輝き文化が育まれ健やかに過ごせるまち		
文化芸術の創造・発信	区の文化芸術の発信拠点である江南区文化会館において、独創性に富んだ質の高い文化芸術公演を区民に提供し、文化の創造と振興を図ります。	3,200 千円

事業名	事業概要	予算額
区民が主役となる協働のまち		
【拡充】 大江山農村環境改善センター改修事業 (再掲)	大江山地域実行計画に基づき、多世代交流を図る、地域の拠点施設を目指し、現在の施設規模を維持したまま、コミセン化に向けた大規模改修を行います。令和7年度の基本設計に引き続き、令和8年度は実施設計、令和9年度は着工の予定です。	20,000 千円
区自治協議会提案事業		
区自治協議会提案事業	自治協議会委員で構成する3つの専門部会「まちづくり」「環境・教育」「安心安全」で令和7年度に取り組んだ地域課題の調査・研究を基に、課題解決に向けた事業を実施するほか、地域の活性化に向けて、区内外の団体等の持つ多様なリソースや新たな視点によるアイデアを活用した取り組みを実施します。	5,000 千円

【秋葉区】 予算概要	里山や川などの豊かな自然や、歴史・花・鉄道などの魅力を区内外へ発信し、移住・交流・関係人口づくりの取り組みを推進します。さらに環境に配慮した、やさしさのあるまちづくりをすすめ、「住んでよかった」と思える笑顔咲きそろうまちを目指します。
-----------------------	---

事業名	事業概要	予算額
環境に配慮した潤いとやすらぎのあるまち		
秋葉区の花と緑にふれあい隊	自然豊かな区の魅力をさらに高め親しんでいただくために、新津川・秋葉公園でのクリーン作戦の開催や国道403号フラワーロード事業の実施など、区民協働で花と緑にふれあえる環境整備や保全活動を進めます。	6,000 千円
廃止石油坑井封鎖	廃止石油坑井から湧出する石油の河川への流出防止に向けて、朝日地区の坑井封鎖に向けた周辺地域の測量や仮設通路の造成などを行います。	120,000 千円
やさしさがあふれる楽しく元気なまち		
秋葉区児童館設置事業 (再掲)	既存の公共施設「新津健康センター」を有効活用して、児童福祉法に基づく秋葉区初の児童館を、秋ごろを目途に整備し、子どもたちがいつでも自由に利用できる遊びや学びの場を提供します。	(繰越分) 108,000 千円
【拡充】アキハ移動式こどもの居場所づくり (出張児童館事業) (再掲)	地域で子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所づくりを推進するため、コミュニティ協議会と協力し、コミュニティセンターなど既存施設を活用して、子どもたちに様々な遊びや学びを提供する「移動式こどもの居場所づくり」を、5地域に拡大して実施します。	5,000 千円
こども・若者公共交通乗車促進	区内を運行する対象路線バスの学生の運賃を割引する社会実験を実施し、乗車体験から継続した利用につなげるとともに、併せてアンケート調査を行い、生活交通の改善に寄与することを目的とします。	770 千円
児童期・思春期のこどもと保護者の支援	不登校など、児童期や思春期のこどもと保護者が抱える課題について、解決に向けてのきっかけとなるよう、親子が気軽に参加できる講演会や相談会を、関係機関と連携して開催します。	590 千円
げんきに育つ親も子も～妊娠期から支え、見守る～	親も親として育つことを支え、子育ての不安感や負担感を軽減し、地域で安心して子育てができるよう、子育てサポーターの訪問などを通じて、妊娠期からの親子を支援します。	4,175 千円
アキハで生涯げんき！～地域ぐるみで体も心もいきいきフレイル予防～	身近な地域で住民が支えあいながら健康づくり活動を継続できるように、地域の運動サポーターと連携し、高齢者が歩いて行ける地域のお茶の間などで、フレイル予防やラジオ体操などの普及啓発を図ります。	400 千円
歴史と個性を活かすまち		
【拡充】アキハ「鉄道物語」	区民・事業者と協働で秋葉区のカラーコンテンツ”鉄道”を活用した魅力の発信やまちづくりに取り組むことで、「鉄道の街」への愛着と誇りを育むとともに、交流人口の拡大によるまちなかの活性化を図ります。また、鉄道関連サミット開催により、全国への「鉄道の街」の発信を強化します。	5,480 千円
アキハ石油文化学習	秋葉区の代表的な遺産である国指定史跡「新津油田金津鉞場跡」を中心とした石油産業遺産群など日本の産業を担ってきた歴史や文化などの継承と啓発を行い、区の魅力を発信します。	790 千円
アキハの宝こども探検ツアー	緑豊かな里山や歴史ある文化遺産など区独自の宝(個性)を地域や団体と連携し、こどもたちの発見、体験の場として活用することにより、地元への愛着と誇りを醸成します。	180 千円
可能性を生み出し・育て・活かすまち		
アキハ大麦・小麦・もち麦推進	稼げる農業の実現に向けて、国産の需要が見込まれる麦類(大麦・小麦・もち麦)への作付け転換を進める取り組みを生産者や関係団体と連携して行い、水田フル活用による収益確保を図ります。	1,350 千円

事業名	事業概要	予算額
可能性を生み出し・育て・活かすまち(つづき)		
【拡充】 アキハスムプロジェクト vol.3	秋葉区の特性や魅力をブランド化し、地域主体のまちづくりとシビックプライドの醸成を推進するとともに、さらなる交流・関係人口の創出や移住促進を図るため首都圏などの大学生を対象に伝統行事や農業・産業、暮らしを体験する「フィールド体験ツアー」を拡充して実施します。	6,430 千円
花まる鉢花支援	生産者並びに関係団体と連携した秋葉区産鉢花の宣伝PRにより、「花のまち」の認知度を上げるとともに、鉢花商談会の地元開催や園芸教室の開催など販路拡大の取り組みを通じた花き・花木産業の振興を図ります。	800 千円
アキハ人財育成	活力あふれ持続可能なまちづくりを推進するため、シビックプライドの醸成及び地域コミュニティの強化を目指し、秋葉区の特性と魅力を理解し発信できる人財や地域活動を担える人財の発掘と育成に取り組みます。	1,300 千円
区自治協議会提案事業		
こども真ん中プロジェクト	こどもが秋葉区に愛着を持ち、親が子育てを楽しめる環境をつくるため、自治協議会と区内子育て支援団体が連携し、こどもを中心に据えたイベントを開催します。また、この事業を通じて地域全体で「こども真ん中の秋葉区」を実践し、持続的な支援体制を整えます。	650 千円
きらめきサポートプロジェクト	「きらめく」秋葉区に向けて、地域の様々な課題の解決につながる事業を区内の団体から募集して、区自治協議会が協働しながら、地域の人財を発掘し、継続的に取組が進められるよう支援していきます。	1,400 千円
生活交通の検討と防災講座	秋葉区の公共交通に関する課題の把握や解決策の検討、他地区の先進事例の研究を行います。さらに、区内の公共交通利用を促進するため、効果的な情報提供を行います。また、防災講演会や避難所運営訓練などを開催し、区民が災害時の行動を習得できるよう支援します。	500 千円

南区

区の将来像 風と大地の恵みに新たな希望が芽吹く、郷土愛あふれるまち
～みんなでつくる暮らし続けたい南区～

【南区】 予算概要	南区が誇る伝統や文化、大地の恵みを基盤として、多様な主体による協働が新たな力を引き出す、活力あふれるまちを目指します。また、誰もが健康で安心して暮らし続けることができるまちづくりに取り組みます。
----------------------	---

事業名	事業概要	予算額
地域の宝に気づき、守り、魅力あふれるまち		
【新規】 チャレンジ農家応援事業	新たな取組に挑戦する農家や新規就農者への支援及び地産地消の推進に向け、区役所内にミニ直売所を設置し、農家の取組をPRします。	600 千円
HOTに発信！白根大 凧合戦プロモーション	白根大凧合戦のライブ配信や凧合戦参加などの体験を通して凧合戦の魅力を広くPRするとともに、誘客を図ります。	4,000 千円
かぼちゃ電車線情報発信事業	旧新潟交通電車線の駅跡地を活用し、「かぼちゃ電車」が走っていた当時の風景や周辺の観光情報などをデジタルコンテンツで広く発信します。	1,700 千円
【拡充】 笹川邸 和のおもてなし	国指定重要文化財である邸宅の魅力を生かした和のおもてなしイベントを開催し、南区の魅力発信と、交流人口の拡大につなげます。大学や地域との連携を継続するとともに、プロジェクトマップのリニューアルを行います。	3,900 千円
白根まち歩き空間整備事業 (旧白根配水塔)	建設から90年経過し老朽化した旧白根配水塔の外壁修繕を実施し、中ノ口川の親水護岸階段とあわせ、散策しなくなる空間とにぎわいを創出します。	(繰越分) 19,100 千円
探検！発見！ぐるっと南区	区内の特色あるスポットや、凧合戦をはじめとする各種イベントに足を運んでもらい、南区の魅力を再発見し、愛着を深めてもらうため、デジタルスタンプラリーとまち歩きを実施します。	2,000 千円
伝えたい南区の”宝” ～いいところ撮りコンテスト～	南区の特色あふれるフォトコンテストを開催し、区の宝を再発見するとともに、応募作品を広報紙やSNSなどで活用して魅力を広く発信します。	1,000 千円
果樹 新規担い手等支援事業	果樹産地の存続に向け、新たに果樹農家を目指す方を支援するとともに、樹園地の円滑な引継に向け樹園地の状況調査を実施します。	1,000 千円
地域おこし協力隊を活用した地域活性化事業	総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用して、都市圏から南区に移住可能な方を「みなみーて地域応援隊」として委嘱し、隊員の経験や能力を活かした地域活性化策を推進します。	4,388 千円
行き交う人びとがにぎわいをもたらすまち		
【新規】 生活交通効率化事業 (本庁配当予算)	(再掲) 予約型乗合バスの社会実験を南区、西蒲区の一部地域で開始し、利便性向上を図ります。	40,600 千円
区バス乗車促進事業	高校生世代やシルバーチケット適用が始まる65歳年齢の区民への区バスチケット配布により、区バスの乗車促進や利用啓発を図ります。	1,100 千円
ともに築く安心に支えられるまち		
みなみく「未来」へつなげるSDGs	未来を担う子どもたちを対象に、誰でも、身近で、楽しく、簡単に取り組める段ボールコンポストを活用して、民間団体及び地域と連携しながらSDGs教育を実施し、今後の環境問題等への関心や意識を育む環境づくりに取り組みます。	700 千円

事業名	事業概要	予算額
ともに築く安心に支えられるまち(つづき)		
地域と取り組む防災事業	防災セミナーや中学校防災教室の開催により、幅広い世代に対する防災知識の普及と啓発を行うとともに、地域防災活動を支援し、災害時に自助・共助・公助が高いレベルで展開される「災害に強い地域づくり」を進めます。	2,000 千円
やさしさの輪が広がり、誰もが主役として活躍できるまち		
白根高校とのまちづくり連携事業	区内唯一の高等学校である県立白根高等学校との連携を深め、高校生によるボランティア活動などを通し、地域とのネットワークづくりを推進するとともに、まちづくりの人材育成につなげ、地域へと還元します。	2,150 千円
【拡充】児童館利用促進事業～もっと身近に児童館～(出張児童館事業)	(再掲) 地域でのこどもたちの居場所づくりを推進するため、児童館・児童センターの職員が出向いて、こどもたちに様々な遊びや体験を提供する「出張児童館」の実施回数を増やします。	3,240 千円
みんなで子育てネットワーク事業	安心して子育てができるよう、地域住民からなる子育て支援リーダーとともに、子育て広場や家族交流会を開催します。	998 千円
健康づくり推進事業	食育・運動講座や糖尿病予防相談会を実施し、区民の健康づくりを推進します。	502 千円
南区未来創生事業	区内の若手民間団体からなる「にいがた南区創生会議」が「南区の明るい未来」を実現するために策定した「南区未来ビジョン」を具現化するための活動を支援します。	1,700 千円
未来創造教室	区内各小中学校の実情に合った地域学習を促進し、将来の自分や地域とのかかわりを見つめ直す学びの場を提供することで、郷土に誇りと愛着を持って社会に貢献する人づくりを目指します。	3,150 千円
区自治協議会提案事業		
安心・安全意識啓発事業	防災や防犯意識を高めることを目的に、多くの方が来場するイベントに出展し、防災食の試食や防災・防犯クイズなどを実施します。	500 千円
しあわせなまち・きれいなまち美南区クリーンアップ月間事業	清掃意識やモラル向上に繋げることを目的に強化月間を設け、南区民や南区で活動する団体(事業者・サークル・スポーツ団体など)が参加する清掃活動を南区全体で実施します。	500 千円
南区ふれ愛月間事業	人と人のつながりを大切にし、温かい交流が生まれることを目的に、区内小中学生を対象にふれ愛をテーマとした絵画や川柳の展示や啓発などを実施します。	500 千円
夏休みこども見守り事業	小学校児童が、お互いに宿題などを教え合う意識づくりを目的に、学習や交流の場を設け、地域人材による見守り活動を実施します。	500 千円
南区まちなかにぎわい創出事業	南区の食の魅力発信とまちなかの賑わい創出を目的に、区内農産物や地域の商店の飲食物が並ぶイベントを開催します。	500 千円
南区魅力発見ツアー事業	南区の魅力発信と交流人口の拡大を目的に、区内の企業や文化施設への見学・訪問と、旬な農作物などが味わえる日帰りバスツアーを実施します。	500 千円
南区まちづくり活動サポート事業	南区の地域活動団体等が実施する区のまちづくりや活性化を目的とした事業を支援します。	2,000 千円

西区

区の将来像 快適なくらしと、豊かな自然や食が調和する、
住み心地のよいまち

【西区】 予算概要	豊かな自然環境や特産農産物、高度な学術機関など西区の特性を活かし、地域や大学との連携を通して、高齢者・子育て支援、防災、雪・飛砂対策など多様化する地域課題に未来を見据えて取り組み、すべての区民が安心して心豊かに暮らし、住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。
----------------------------	--

事業名	事業概要	予算額
豊かな自然と食を楽しめるまち		
【新規】 佐潟水鳥・湿地センター運営アドバイザー業務	センターの運営に関する専門的助言を行い、環境教育プログラムの充実、地域資源との連携企画、人材育成支援などを進めることで、佐潟の環境保全と地域活性化を図り、持続可能な運営体制の構築に取り組みます。	1,000 千円
北国街道活性化プロジェクト	令和6年度に策定したブランドビジョンの実現に向け、令和7年度の「オーライ！ 発酵街道開2025」の成果を活かし、観光客や関係人口の流れを生み出す起点と、地域資源をつなぐ基盤を構築します。また、地域のヒト・モノ・コトを活用した持続可能な収益化の仕組みづくりに取り組みます。	2,000 千円
【拡充】 なぎさのふれあい広場改修事業	なぎさのふれあい広場のさらなる利活用を図るため、令和7年度に実施した駐車場排水解消対策に加え、令和8年度はウッドデッキの修繕を行うとともに、施設内の除砂作業を拡充し、快適な施設の維持に取り組みます。	5,500 千円
【拡充】 西区未来を拓く農業支援事業	区内の農家組合等が実施する遊休農地未然防止対策の取組を支援します。また、新たに稲作における省力化や低コスト栽培技術の普及拡大を進めるとともに就業環境の改善を図ることで、多様な担い手農業者の活躍を推進します。さらに、保安林整備ボランティア団体の継続的な活動のため、担い手確保に向けた取組を後押しします。	1,500 千円
【拡充】 西区の魅力に出会う！ まち歩きと食育体験	地場農産物の給食等への活用をこれまでの保育施設・小学校から、中学校までに拡大するとともに、収穫体験を小学校と連携して取り組みます。また、こども農業体験を開催し、食と農への理解を深めます。まち歩きでは、自然景観や地域の歴史・文化などの観光資源を活用し、地域の魅力の再発見と交流人口の拡大を図ります。	5,500 千円
佐潟活用プロジェクト（ハード事業）	日本初のラムサール条約の湿地自治体認証を受け、佐潟公園の景観の確保や快適な利用に向け、維持管理の強化を図り、来訪者の増加につなげます。	7,000 千円
きれいなまちづくりサポート事業	ごみのない、きれいなまちづくりを推進するため、地域と連携して環境美化に取り組むとともに、こどもたちの環境保全への関心と意識を育みます。さらに、区独自の啓発看板を作成・配布し、ほい捨て防止の意識向上を図ります。	2,000 千円
西区のおススメ！ 農産物販売促進事業	国のGI登録産品「くろさき茶豆」や、食と花の銘産品の新潟砂丘さつまいも「いもジェンヌ」、西区産すいか（ルビーームン含む）などの西区産農産物について、生産者、JA、商工会に加え、多様な民間企業等と連携して魅力発信に取り組み、知名度向上・販路拡大を図ります。	7,400 千円
人と人がつながり、支え合うやさしいまち		
健康ステップアップ事業	生活習慣病予防やフレイル予防などを目的に健康教育を実施します。西区の健康課題から健康づくりの必要性を啓発し、健康的な生活習慣を継続できるように働きかけます。	650 千円
認知症オレンジプロジェクト	認知症の方やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりに向けて、関係機関の連携を強化するとともに、認知症あんしん検診事業（認知症の検査・予防セミナー）を実施します。	2,400 千円
地域共生の西区づくり事業	誰もが住み慣れた地域でお互いに支え合いながら暮らす「地域共生社会」の実現に向け、「支え合いのしくみづくり研修会」の開催や地域の茶の間の支援、高齢者等権利擁護に関する事業を実施します。	1,300 千円
子育て応援事業	子育てを支える各種講座を実施し、育児の不安や孤独感の軽減、仲間づくりを支援するとともに、児童虐待の未然予防を図ります。加えて、子育て支援関係者のネットワークの充実を図ります。	1,150 千円

事業名	事業概要	予算額
安心・安全で快適に暮らせるまち		
住民バス利用促進事業	公共交通不便地域である佐潟・赤塚エリアで住民団体が運行するコミュニティ佐潟バスの持続可能な運行を維持するきっかけづくりのため、地元の小・中学生が試乗により利便性を体験できる機会を設け、さらなる利用促進や新規利用者の掘り起こしに取り組みます。	400 千円
区民とともに取り組む地域防災力の向上	自主防災組織や防災士と連携しながら、ハザードマップの見方や適切な避難行動の周知等を行い、地域防災力の向上を図ります。	2,600 千円
新潟大学前駅地下道エレベーター整備事業 (本庁配当予算)	JR越後線の下を南北方向に立体交差する地下道のバリアフリー化対策としてエレベーターを設置し、誰もが安全で快適な利用環境の確保を図ります。	240,000 千円
区民が主役の活力あるまち		
Meetup! 【拡充】NiigataWEST2040 ～若者未来会議～	西区から希望と活力に満ちた未来を創造するため、多様な主体や将来を担う人材が出会い、協働する共創コミュニティづくりに取り組みます。令和8年度は、今後の賑わいのある海辺づくりのきっかけとして、海辺で活動するプレイヤーと連携し、魅力の掘り起こしや海辺のブランドビジョンづくり(魅力の可視化)を行います。	1,900 千円
地域と大学連携事業	地域の課題解決や活性化に向け、大学・短大や学生等から提案を募集し、その取り組みを後押しすることで、地域と大学の関係づくりを進めます。	1,500 千円
海の賑わいスポーツマイルプロジェクト	西区が誇る美しい海と海岸を活用したビーチ・マリンスポーツの振興を通じて、スポーツに親しむ機会を提供するとともに、スポーツを通じた地域の賑わいづくりに取り組みます。	1,700 千円
区自治協議会提案事業		
区自治協議会提案事業	自治協議会委員で構成する、防犯・防災、健康・福祉、区の魅力発信などの各専門部会において、身近な課題解決を図る事業を実施します。	3,600 千円

【西蒲区】 予算概要	西蒲区の魅力である「食・農業」と「観光」を活用し区内外に発信するとともに、地域の魅力発見や愛着を育み、人と人があたたかにつながるまちづくりを進めます。
-----------------------	---

事業名	事業概要	予算額
魅力あふれる農水産物を供給するまち		
【新規】 MOKUMOKUにしかん	国産材木100%(巻産材87.1%、県産材97.7%)で建てられた「ほたるの里交流館」を活用し、こどもから大人まで、木材や木製品との触れ合いを通じて木への親しみを深め、豊かな心を育てる木育の取組を行うことにより、施設の利用増及び区内木材の需要拡大を目指します。	2,000 千円
【新規】 もっと農を身近に！穫・食(もぐもぐ)ガーデン	中之口農業体験公園などでの農村景観に親しみ、農作物の収穫体験や調理実習の機会を提供することで、都市と農村地域の交流を図り、賑わいと活力がある西蒲区を目指します。	620 千円
「にしかん なないろ野菜」消費拡大支援事業	地元農産品に対する誇りと愛着の醸成を目的に、学校給食での活用を促進し、地産地消の推進を図ります。また、越王の里直売所での販売に加え、近隣の直売所における販売・流通体制の整備を段階的に進めることで、本ブランドの販路拡充と消費の拡大に取り組みます。	1,000 千円
観光とスポーツ・レクリエーションのまち		
【新規】 にしかん・やひこ 遊・誘・湯めぐりプロジェクト (再掲)	岩室温泉と弥彦温泉の連携を強化し、泉質の違いを活かした誘客キャンペーンを実施するとともに、広域でのプロモーションを展開することで、エリア全体のさらなる交流人口の拡大と魅力向上を図ります。	8,700 千円
ようこそにしかん誘客事業	県内外の個人や少人数のグループを対象とした現地での観光プロモーション及びセールス活動をはじめ、インバウンド向けモデルツアーや、近隣エリアと連携した取組等を通じて、国内外から訪れたい街として選ばれる西蒲区を目指します。	6,960 千円
【新規】 ホッケーDEにしかんグー	日本ホッケー協会公式ホッケータウンとして、ホッケー人口拡大のため、新潟県ホッケー協会をはじめとした競技団体と連携し、初心者向け体験教室を主軸としたホッケーイベントや区内小学校を対象とした出前教室を開催します。	500 千円
岩室温泉芸妓文化支援事業	岩室芸妓文化の存続・発展を図るため、岩室甚句を始めとしたお稽古体験を通して、岩室温泉の歴史、伝統文化を伝え、新潟県の芸妓発祥の地である岩室温泉の「岩室芸妓」の継承者育成の取組を支援するとともに、観光資源としてPRを推進します。	1,700 千円
西蒲区PR大使事業	PR大使の難波章浩さんから区の事業やイベントに参加してもらい、にいがたらしさがぜんぶある西蒲区を区内外に広く発信します。	300 千円
「矢垂の郷」賑わいづくりプロジェクト	「矢垂の郷」を観光スポットとして定着させ、地域の賑わい創出と交流人口の拡大を図るため、巻ほたるの里公園の整備を行い、イベントを開催します。	920 千円
新潟空港からの二次交通整備事業	新潟空港などから岩室温泉及び新潟ワインコーストを目的地とする乗合タクシーを運行し、空港などを利用する観光客の誘客を図ります。	1,000 千円
にしかん観光周遊バス運行事業	区内の観光施設への周遊性の向上を促進するため、角田山麓・岩室温泉などの魅力あふれる観光資源を巡る周遊バスを運行します。	4,014 千円
歴史と文化が生き続けるまち		
西蒲区の文化再発見	西蒲区の文化資源に注目してもらおう契機となるよう、小学生を対象にした文化施設を巡るバスツアーや江戸時代の建物を復元した澤将監の館でコスプレイベントを実施します。	200 千円

事業名	事業概要	予算額
人が行き交い、にぎわいと活力があふれるまち		
巻駅周辺整備事業 (本庁配当予算)	(再掲) 巻駅について、西口駅前広場、自由通路の整備と併せてバリアフリー化を推進します。	62,500 千円
地域で支える”暮らしの足”プロジェクト	「路線バスの継続運行」と「地域住民が安心して外出できる仕組みの構築」に向けた取組を行います。また、各地域に適した移動手段に関する検討・取組を地域と協働で行います。	2,533 千円
にしかん ともに未来を育むミッション	地域で活動する人材のネットワーク化を図りながら、将来的に、地域・移住者・若者などが「ともに」手を取り合い地域の未来を育むため、互いのつながりの場を提供します。	2,436 千円
西蒲区空き家利活用	西蒲区内の空き家について、管理不全な状態となる前に利活用を進めるため、不動産業界団体との連携のもと、空き家バンクの登録や支援制度の活用推進など、空き家対策に取り組めます。	2,712 千円
人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち		
【新規】 出張！あそVIVA(遊び場)児童館 (出張児童館事業)	(再掲) こどもの居場所づくりの一環として、既存の公共施設等を活用し、児童館等のない地域で出張児童館を開催します。	2,000 千円
西蒲区役所新庁舎整備事業	区民に開かれた区役所の整備に向け、新庁舎の実施設計に取り組むとともに、現庁舎の解体工事に着手します。	(繰越分) 48,400 千円 411,000 千円
中学生 地域の先輩トーク～地域のLOVE & LIFE～	区内の中学生を対象に、生まれ育ったまちに住み続けたいという意識の醸成や、将来転出しても戻って来たいくなるよう、地元で活動する若手人材との出会いや対話を通じたキャリア教育を行い、地域への愛着を育む取組を行います。	2,056 千円
小学生 笑顔で育むふるさと魅力発見プログラム	区内の小学生を対象に、楽しみながら地域の魅力を再発見してもらう授業プログラムを提供し、地域への愛着を育む取組を行います。	2,530 千円
未来につなごう にしかんこども環境事業	西蒲区の豊かな自然環境を未来のこどもたちに残すため、こどもたちを対象に、環境への関心・意識を育む取組を行います。	133 千円
にしかん地域防災共育支援事業	区内の6中学校を対象とした地域防災共育の実施により、地域・防災士・行政・専門家等で支える学校防災教育体制の整備と自主防災組織に対して防災資機材助成を行います。	2,390 千円
地域いきいきながいきサポート	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域の茶の間、医療機関、地域包括支援センター等と連携し、認知症予防・介護予防事業などを展開し、地域包括ケアシステムの構築を推進します。	2,500 千円
にしかん健康プロジェクト～のぼさう健康寿命～	健康寿命の延伸に向け、こどもからお年寄りまで健康意識を向上させるため「栄養」「運動」「お口の健康」の大切さを地域に普及する活動やウォーキングの習慣化に取り組めます。	1,690 千円
区自治協議会提案事業		
住みよい・豊かな・活力あるまちづくり	「観光とスポーツ・レクリエーションのまち」「人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち」を目指すために、総務部会が所管する分野(防犯・防災、公共交通、教育、文化、スポーツなど)の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取組を進めます。	800 千円
あたたかな人の和でつながるまちづくり	「人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち」を目指すために、保健福祉部会が所管する分野(保健、福祉、生活環境など)の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取組を進めます。	800 千円
にぎわいと活力があふれるまちづくり	「魅力あふれる農水産物を供給するまち」「歴史と文化が生き続けるまち」「人が行き交い、にぎわいと活力があふれるまち」を目指すために、まちづくり・産業部会が所管する分野(まちづくり、農業、商工業、観光など)の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取組を進めます。	800 千円

資料編

1 令和8年度会計別予算

(単位：千円)

	令和8年度	令和7年度		比較			
	予算額 A	当初予算額 B	現計予算額 C	A - B	A - C	A/B 増減率	A/C 増減率
a 一般会計	442,500,000	426,700,000	459,915,100	15,800,000	▲ 17,415,100	3.7%	▲3.8%
b 特別会計	255,932,040	252,176,109	253,478,979	3,755,931	2,453,061	1.5%	1.0%
国民健康保険事業会計	68,793,087	69,448,301	69,976,631	▲ 655,214	▲ 1,183,544	▲0.9%	▲1.7%
中央卸売市場事業会計	1,020,214	1,118,148	1,136,607	▲ 97,934	▲ 116,393	▲8.8%	▲10.2%
と畜場事業会計	332,989	531,234	531,234	▲ 198,245	▲ 198,245	▲37.3%	▲37.3%
土地取得事業会計	941,562	1,081,946	1,081,946	▲ 140,384	▲ 140,384	▲13.0%	▲13.0%
母子父子寡婦福祉資金 貸付事業会計	387,698	589,318	589,318	▲ 201,620	▲ 201,620	▲34.2%	▲34.2%
介護保険事業会計	88,921,554	87,306,919	88,027,500	1,614,635	894,054	1.8%	1.0%
公債管理事業会計	81,079,878	80,062,601	80,062,601	1,017,277	1,017,277	1.3%	1.3%
後期高齢者 医療事業会計	14,455,058	12,037,642	12,073,142	2,417,416	2,381,916	20.1%	19.7%
a + b 小計	698,432,040	678,876,109	713,394,079	19,555,931	▲ 14,962,039	2.9%	▲2.1%
c 企業会計	151,124,118	142,604,253	145,520,142	8,519,865	5,603,976	6.0%	3.9%
下水道事業会計	79,761,276	75,672,804	76,110,041	4,088,472	3,651,235	5.4%	4.8%
水道事業会計	35,750,836	30,446,579	32,106,280	5,304,257	3,644,556	17.4%	11.4%
病院事業会計	35,612,006	36,484,870	37,303,821	▲ 872,864	▲ 1,691,815	▲2.4%	▲4.5%
合計	849,556,158	821,480,362	858,914,221	28,075,796	▲ 9,358,063	3.4%	▲1.1%

※ 現計予算額 C は 12 月補正後の数値

※ 端数処理のため、各項目の足し上げが合計数値に一致しないことがあります。

2 令和8年度一般会計歳入・歳出予算内訳

(1) 歳入

(単位：千円)

	令和8年度		令和7年度				比較			
	予算額A	構成比	当初予算額B	構成比	現計予算額C	構成比	A-B	A-C	A/B 増減率	A/C 増減率
1 市 税	144,920,480	32.8%	139,815,803	32.8%	139,815,803	30.4%	5,104,677	5,104,677	3.7%	3.7%
(個人市民税)	(61,979,396)		(57,751,526)		(57,751,526)		(4,227,870)	(4,227,870)	(7.3%)	(7.3%)
(法人市民税)	(10,362,265)		(10,320,624)		(10,320,624)		(41,641)	(41,641)	(0.4%)	(0.4%)
(固定資産税)	(51,325,372)		(50,543,928)		(50,543,928)		(781,444)	(781,444)	(1.5%)	(1.5%)
(その他市税)	(21,253,447)		(21,199,725)		(21,199,725)		(53,722)	(53,722)	(0.3%)	(0.3%)
2 地方譲与税	3,155,112	0.7%	3,220,632	0.8%	3,220,632	0.7%	▲ 65,520	▲ 65,520	▲2.0%	▲2.0%
3 利子割交付金	300,059	0.1%	32,833	0.0%	32,833	0.0%	267,226	267,226	813.9%	813.9%
4 配当割交付金	824,863	0.2%	691,817	0.2%	691,817	0.2%	133,046	133,046	19.2%	19.2%
5 株式等譲渡所得割交付金	612,293	0.1%	612,293	0.1%	612,293	0.1%	-	-		
6 分離課税所得割交付金	134,892	0.0%	114,742	0.0%	114,742	0.0%	20,150	20,150	17.6%	17.6%
7 法人事業税	1,992,637	0.5%	1,970,765	0.5%	1,970,765	0.4%	21,872	21,872	1.1%	1.1%
8 地方消費税	24,862,438	5.6%	21,654,380	5.1%	21,654,380	4.7%	3,208,058	3,208,058	14.8%	14.8%
9 ゴルフ場利用税	16,140	0.0%	19,168	0.0%	19,168	0.0%	▲ 3,028	▲ 3,028	▲15.8%	▲15.8%
10 環境性能割	36,157	0.0%	621,335	0.1%	621,335	0.1%	▲ 585,178	▲ 585,178	▲94.2%	▲94.2%
11 軽油引取税	2,885,491	0.7%	4,936,658	1.2%	4,936,658	1.1%	▲ 2,051,167	▲ 2,051,167	▲41.5%	▲41.5%
12 国有提供施設等所在市町村助成交付金	7,787	0.0%	7,811	0.0%	7,811	0.0%	▲ 24	▲ 24	▲0.3%	▲0.3%
13 地方特例交付金	4,029,034	0.9%	1,085,000	0.3%	1,085,000	0.2%	2,944,034	2,944,034	271.3%	271.3%
14 地方交付税	87,048,000	19.7%	84,914,000	19.9%	84,914,000	18.5%	2,134,000	2,134,000	2.5%	2.5%
普通交付税	83,248,000		80,914,000		80,914,000		2,334,000	2,334,000	2.9%	2.9%
特別交付税	3,800,000		4,000,000		4,000,000		▲ 200,000	▲ 200,000	▲5.0%	▲5.0%
臨時財政対策債							-	-		
普通交付税十臨時財政対策債	(83,248,000)		(80,914,000)		(80,914,000)		(2,334,000)	(2,334,000)	(2.9%)	(2.9%)
15 交通安全対策金	189,883	0.0%	224,711	0.1%	224,711	0.0%	▲ 34,828	▲ 34,828	▲15.5%	▲15.5%
16 石油貯蔵施設等立地交付金	59,997	0.0%	60,274	0.0%	60,274	0.0%	▲ 277	▲ 277	▲0.5%	▲0.5%
17 分担金及び負担金	578,306	0.1%	681,720	0.2%	681,720	0.1%	▲ 103,414	▲ 103,414	▲15.2%	▲15.2%
18 使用料及び手数料	7,508,500	1.7%	7,634,316	1.8%	7,634,316	1.7%	▲ 125,816	▲ 125,816	▲1.6%	▲1.6%
19 国庫支出金	83,948,118	19.0%	79,681,156	18.7%	90,698,116	19.7%	4,266,962	▲ 6,749,998	5.4%	▲7.4%
20 県支出金	26,546,901	6.0%	23,281,663	5.5%	24,290,638	5.3%	3,265,238	2,256,263	14.0%	9.3%
21 財産収入	2,919,102	0.7%	5,168,803	1.2%	5,053,303	1.1%	▲ 2,249,701	▲ 2,134,201	▲43.5%	▲42.2%
22 寄附金	1,516,250	0.3%	1,836,000	0.4%	1,836,000	0.4%	▲ 319,750	▲ 319,750	▲17.4%	▲17.4%
23 繰入金	1,900,827	0.4%	410,913	0.1%	6,464,869	1.4%	1,489,914	▲ 4,564,042	362.6%	▲70.6%
24 繰越金	1	0.0%	1	0.0%	6,305,310	1.4%	-	▲ 6,305,309		▲100.0%
25 諸収入	15,015,732	3.4%	15,590,906	3.7%	15,590,906	3.4%	▲ 575,174	▲ 575,174	▲3.7%	▲3.7%
26 市債対策債(臨時財政対策債は除く)	31,491,000	7.1%	32,432,300	7.6%	41,377,700	9.0%	▲ 941,300	▲ 9,886,700	▲2.9%	▲23.9%
(臨時財政対策債を含む)	(31,491,000)		(32,432,300)		(41,377,700)		▲ (941,300)	▲ (9,886,700)	(▲2.9%)	(▲23.9%)
歳入合計	442,500,000	100.0%	426,700,000	100.0%	459,915,100	100.0%	15,800,000	▲ 17,415,100	3.7%	▲3.8%

※ 現計予算額Cは12月補正後の数値

※ 端数処理のため、各項目の足し上げが合計数値に一致しないことがあります。

(2) 歳出（性質別内訳）

（単位：千円）

	令和8年度		令和7年度				比較			
	予算額 A	構成比	当初予算額 B	構成比	現計予算額 C	構成比	A - B	A - C	A/B 増減率	A/C 増減率
1 人件費	103,256,222	23.3%	94,345,338	22.1%	98,055,259	21.3%	8,910,884	5,200,963	9.4%	5.3%
2 物件費	58,479,409	13.2%	57,356,148	13.4%	60,154,597	13.1%	1,123,261	▲ 1,675,188	2.0%	▲2.8%
3 維持補修費	6,354,486	1.4%	6,706,592	1.6%	6,962,592	1.5%	▲ 352,106	▲ 608,106	▲5.3%	▲8.7%
4 扶助費	96,974,927	21.9%	94,052,983	22.0%	100,196,742	21.8%	2,921,944	▲ 3,221,815	3.1%	▲3.2%
5 補助費等	42,329,994	9.6%	42,914,559	10.1%	45,534,437	9.9%	▲ 584,565	▲ 3,204,443	▲1.4%	▲7.0%
6 公債費	48,961,728	11.1%	48,544,563	11.4%	48,544,563	10.6%	417,165	417,165	0.9%	0.9%
7 出資金貸付金	11,913,052	2.7%	12,516,991	2.9%	12,660,991	2.8%	▲ 603,939	▲ 747,939	▲4.8%	▲5.9%
8 繰出金	22,090,098	5.0%	21,985,380	5.2%	22,053,642	4.8%	104,718	36,456	0.5%	0.2%
9 積立金	4,230,075	1.0%	1,627,973	0.4%	7,307,460	1.6%	2,602,102	▲ 3,077,385	159.8%	▲42.1%
10 予備費	100,000	0.0%	100,000	0.0%	95,000	0.0%	-	5,000		5.3%
小計	394,689,991	89.2%	380,150,527	89.1%	401,565,283	87.3%	14,539,464	▲ 6,875,292	3.8%	▲1.7%
11 投資的経費	47,810,009	10.8%	46,549,473	10.9%	58,349,817	12.7%	1,260,536	▲ 10,539,808	2.7%	▲18.1%
(1) 普通建設	44,250,839	10.0%	44,611,303	10.5%	54,868,647	11.9%	▲ 360,464	▲ 10,617,808	▲0.8%	▲19.4%
補助	23,668,767	5.3%	22,087,239	5.2%	27,466,139	6.0%	1,581,528	▲ 3,797,372	7.2%	▲13.8%
単独	20,582,072	4.7%	22,524,064	5.3%	27,402,508	6.0%	▲ 1,941,992	▲ 6,820,436	▲8.6%	▲24.9%
(2) 災害復旧	3,559,170	0.8%	1,938,170	0.5%	3,481,170	0.8%	1,621,000	78,000	83.6%	2.2%
歳出合計	442,500,000	100.0%	426,700,000	100.0%	459,915,100	100.0%	15,800,000	▲ 17,415,100	3.7%	▲3.8%

※ 現計予算額 C は 12 月補正後の数値

※ 端数処理のため、各項目の足し上げが合計数値に一致しないことがあります。

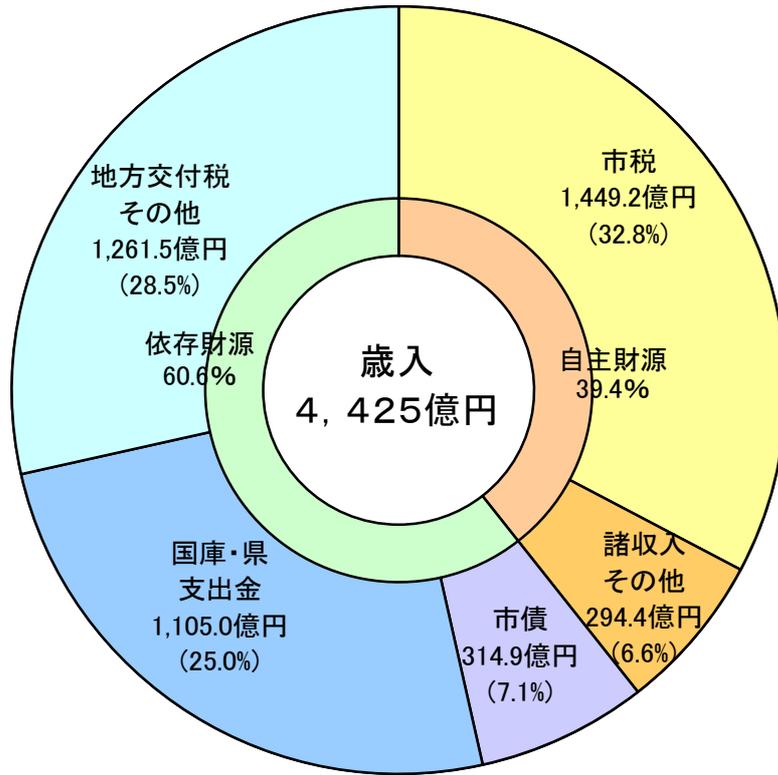
(3) 歳出（款別内訳）

（単位：千円）

	令和8年度		令和7年度				比較			
	予算額 A	構成比	当初予算額 B	構成比	現計予算額 C	構成比	A - B	A - C	A/B 増減率	A/C 増減率
1 議会費	1,006,498	0.2%	1,027,329	0.2%	1,034,323	0.2%	▲ 20,831	▲ 27,825	▲2.0%	▲2.7%
2 総務費	47,539,669	10.7%	47,157,392	11.1%	57,778,783	12.6%	382,277	▲ 10,239,114	0.8%	▲17.7%
3 民生費	146,254,162	33.1%	141,677,540	33.2%	149,251,896	32.5%	4,576,622	▲ 2,997,734	3.2%	▲2.0%
4 衛生費	30,942,054	7.0%	30,711,801	7.2%	31,681,294	6.9%	230,253	▲ 739,240	0.7%	▲2.3%
5 労働費	643,620	0.1%	683,965	0.2%	698,462	0.2%	▲ 40,345	▲ 54,842	▲5.9%	▲7.9%
6 農林水産費	6,018,678	1.4%	6,002,327	1.4%	6,299,515	1.4%	16,351	▲ 280,837	0.3%	▲4.5%
7 商工費	10,238,952	2.3%	11,400,754	2.7%	11,408,928	2.5%	▲ 1,161,802	▲ 1,169,976	▲10.2%	▲10.3%
8 土木費	60,647,191	13.7%	60,849,233	14.3%	62,910,781	13.7%	▲ 202,042	▲ 2,263,590	▲0.3%	▲3.6%
9 消防費	11,773,390	2.7%	11,315,498	2.7%	11,599,074	2.5%	457,892	174,316	4.0%	1.5%
10 教育費	65,977,260	14.9%	60,523,589	14.2%	70,345,072	15.3%	5,453,671	▲ 4,367,812	9.0%	▲6.2%
11 災害復旧費	3,559,170	0.8%	1,938,170	0.5%	3,494,570	0.8%	1,621,000	64,600	83.6%	1.8%
12 公債費	53,044,488	12.0%	48,514,563	11.4%	48,514,563	10.5%	4,529,925	4,529,925	9.3%	9.3%
13 諸支出金	4,754,868	1.1%	4,797,839	1.1%	4,797,839	1.0%	▲ 42,971	▲ 42,971	▲0.9%	▲0.9%
14 予備費	100,000	0.0%	100,000	0.0%	100,000	0.0%	-	-		
歳出合計	442,500,000	100.0%	426,700,000	100.0%	459,915,100	100.0%	15,800,000	▲ 17,415,100	3.7%	▲3.8%

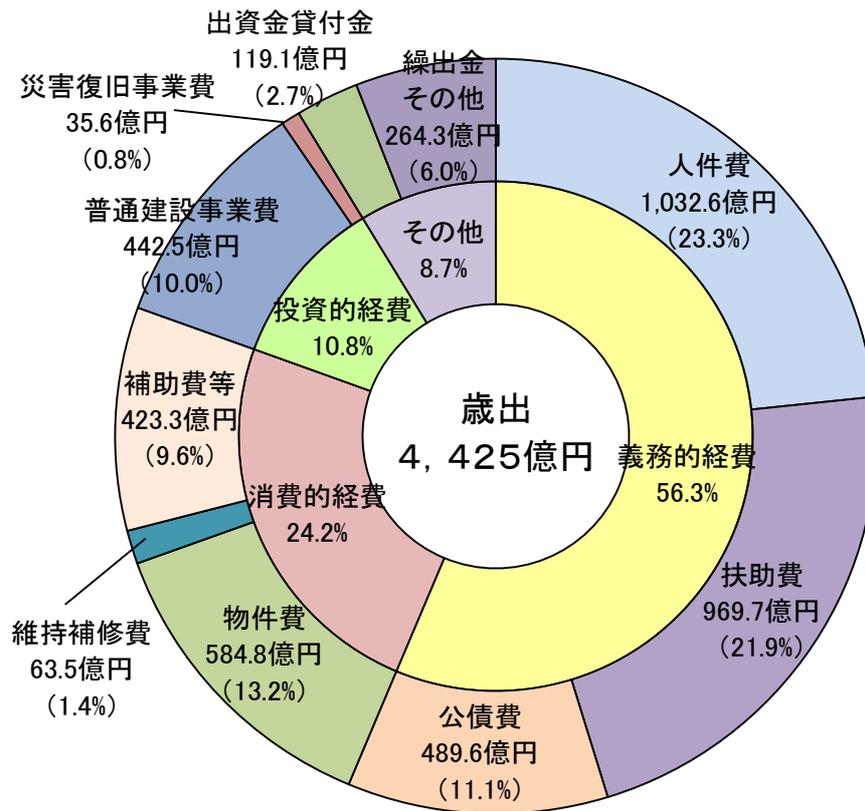
※ 現計予算額 C は 12 月補正後の数値

※ 端数処理のため、各項目の足し上げが合計数値に一致しないことがあります。



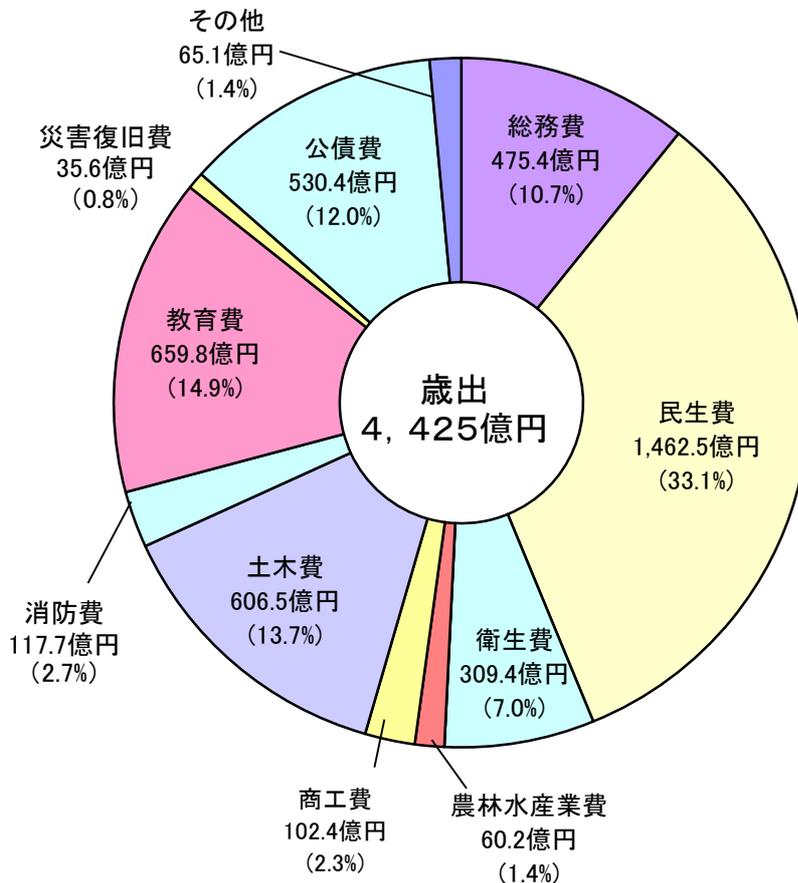
歳出(性質別)

4,425億円



歳出(目的別)

4,425億円



(注)端数処理のため、各項目の足し上げが合計数値に一致しないことがあります。

3 目的税および地方消費税交付金の使途

(1) 目的税

【入湯税】

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳				
		特 定 財 源			一 般 財 源	
		国県支出金	起 債	そ の 他	入 湯 税	そ の 他
観 光 振 興	145,488	2,500	2,700		27,389	112,899
計	145,488	2,500	2,700		27,389	112,899

【事業所税】

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳				
		特 定 財 源			一 般 財 源	
		国県支出金	起 債	そ の 他	事業所税	そ の 他
交 通 施 設 整 備	27,777,001	7,775,130	18,153,700	333,183	1,494,477	20,511
公 園 緑 地 整 備	2,487,942	329,600	575,100		1,561,807	21,435
上 下 水 道 及 び 廃棄物処理施設整備	20,191,418	5,533,147	14,149,919		445,287	63,065
教 育 文 化 施 設 整 備	1,021,715	30,554	897,900	24,000	68,323	938
医 療 及 び 社 会 福 祉 施 設 整 備	87,078		19,600		66,564	914
防 災 関 連 事 業	2,840,710	111,267	1,794,600	71,580	851,575	11,688
市 街 地 開 発 事 業	702,000		702,000			
市 場、と畜場又は火葬場整備	978,000		954,400		23,280	320
住 宅 施 設 整 備	589,000	239,800	349,200			
計	56,674,864	14,019,498	37,596,419	428,763	4,511,313	118,871

※事業所税(4,748,750千円)の5%は事業所税徴収に要する費用に充当

【都市計画税】

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳				
		特 定 財 源			一 般 財 源	
		国県支出金	起 債	そ の 他	都市計画税	そ の 他
都 市 計 画 事 業	22,296,454	6,980,151	15,102,719	36,300	56,954	120,330
街 路	3,414,902	1,764,002	1,614,600	36,300		
公 園	208,000	34,000	174,000			
下 水 道	18,673,552	5,182,149	13,314,119		56,954	120,330
市街地開発事業						
土 地 区 画 整 理 事 業	702,000		702,000			
地 方 債 償 還 額	26,042,032				8,366,283	17,675,749
計	49,040,486	6,980,151	15,804,719	36,300	8,423,237	17,796,079

(2) 地方消費税交付金

令和8年度予算における市町村交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

(歳入)

・市町村交付金（社会保障財源化分） 135.6億円

(歳出)

・社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 135.6億円

【一般会計 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳					
		特 定 財 源			一 般 財 源		
		国県支出金	起 債	そ の 他	社会保障財源化分の市町村交付金	そ の 他	
社会福祉	社会福祉事業	1,396,530	282,315		38,417	24,320	1,051,478
	母子福祉事業	2,493,028	787,644		9,427	337,001	1,358,956
	児童福祉事業	55,756,452	35,399,629	225,700	1,554,182	3,527,209	15,049,732
	障がい福祉事業	29,227,399	19,387,958	2,200	221,580	1,873,922	7,741,739
	生活保護事業	18,072,346	13,503,841			937,695	3,630,810
	高齢者福祉事業	15,950,216	3,618,537		416,889	2,404,388	9,510,402
	小 計	122,895,971	72,979,924	227,900	2,240,495	9,104,535	38,343,117
社会保険	介護保険事業	13,275,878	612,064			2,844,985	9,818,829
	国民健康保険事業	5,540,705	2,346,797			318,589	2,875,319
	小 計	18,816,583	2,958,861	0	0	3,163,574	12,694,148
保健衛生	保健衛生事業	7,066,464	1,223,855	122,000	55,446	488,243	5,176,920
	保健所事業	15,206	57		52	0	15,097
	保健予防事業	7,982,318	890,184		56,241	804,978	6,230,915
	小 計	15,063,988	2,114,096	122,000	111,739	1,293,221	11,422,932
合 計	156,776,542	78,052,881	349,900	2,352,234	13,561,330	62,460,197	

※精査の結果、数値を変更することがあります。

主な事業

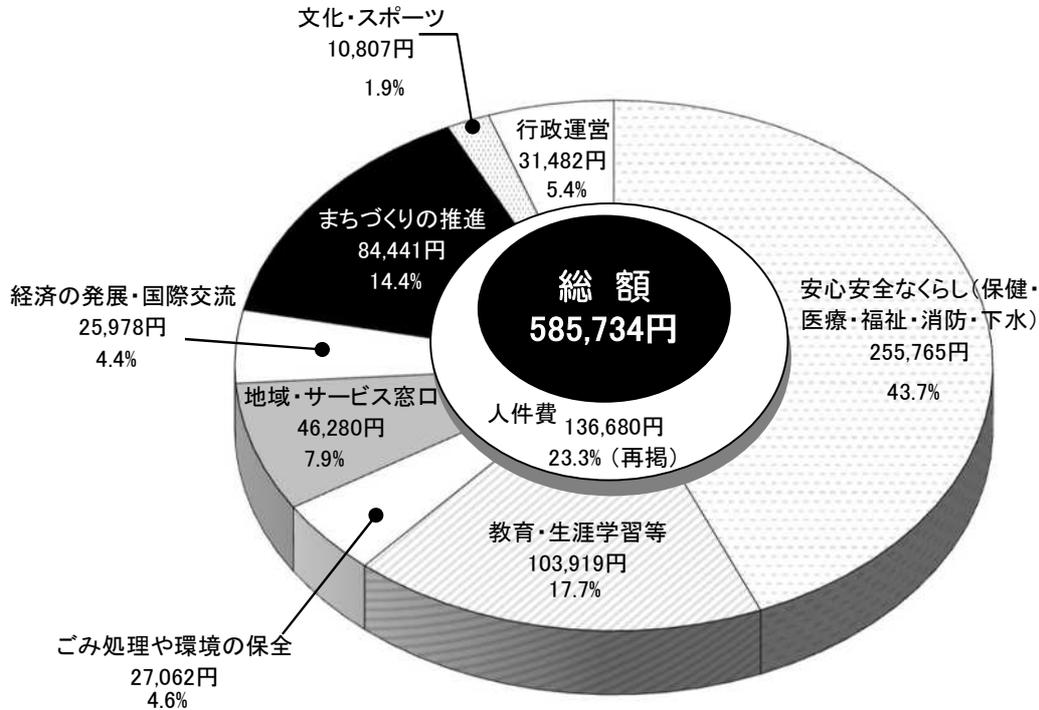
- ・保育園、認定こども園等における子ども・子育て支援
- ・放課後児童クラブにおける支援
- ・障がい福祉サービス事業
- ・高齢者を地域で支えるまちづくりの推進
- ・健康寿命の延伸に向けた取り組み
- ・予防接種費

社会保障4経費

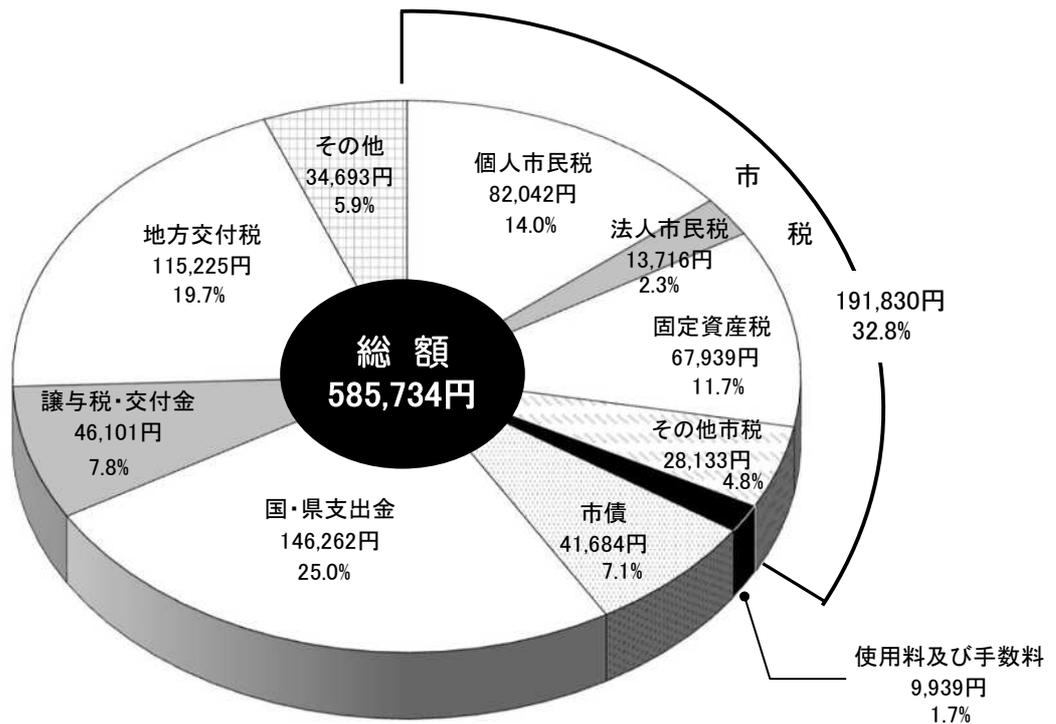
制度として確立された年金、医療及び介護の社会保障給付並びに少子化対策のための施策に要する経費

4 市民一人当たりの予算の内訳など

(1) 市民一人当たりのサービスコスト



(2) サービスに充てる収入内訳

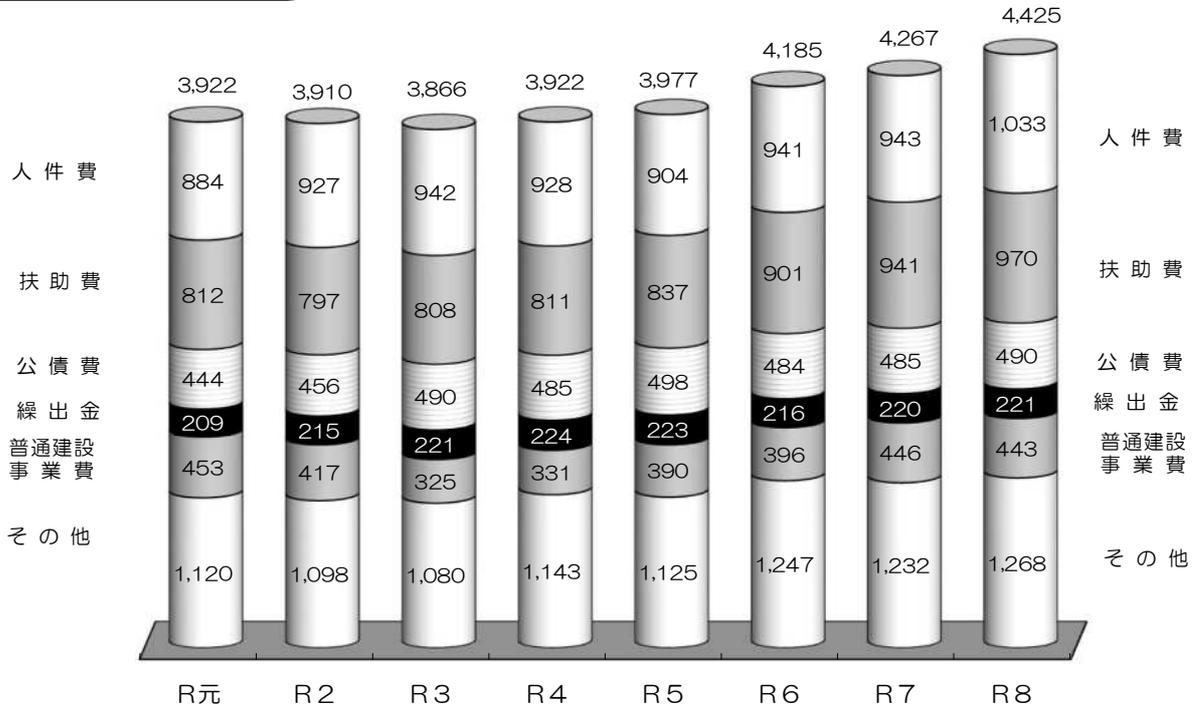


※令和7年12月31日現在の住民基本台帳人口より算出

5 歳出の詳細について

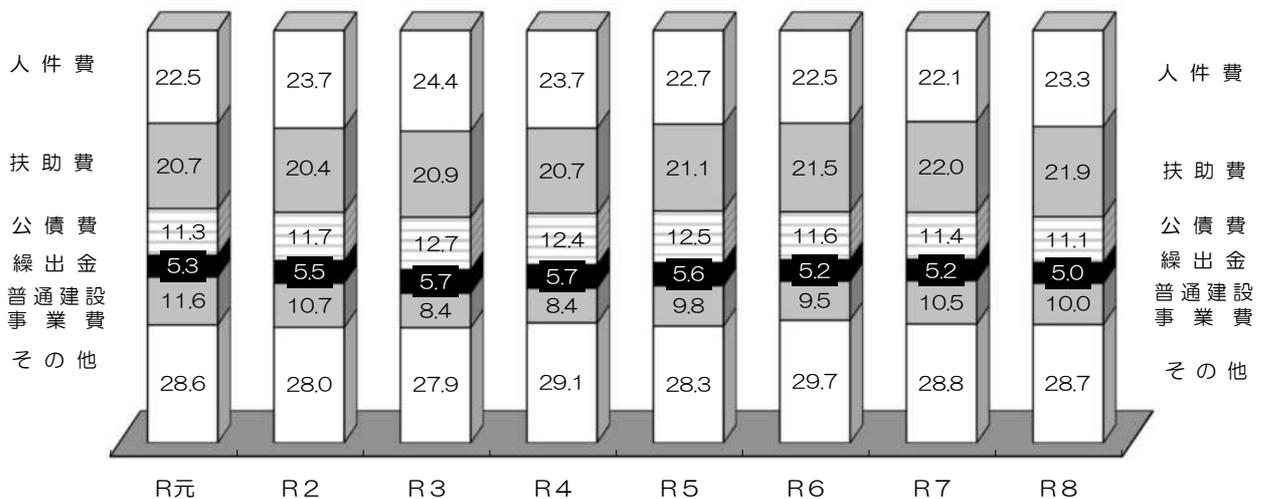
(1) 歳出規模の推移

単位：億円



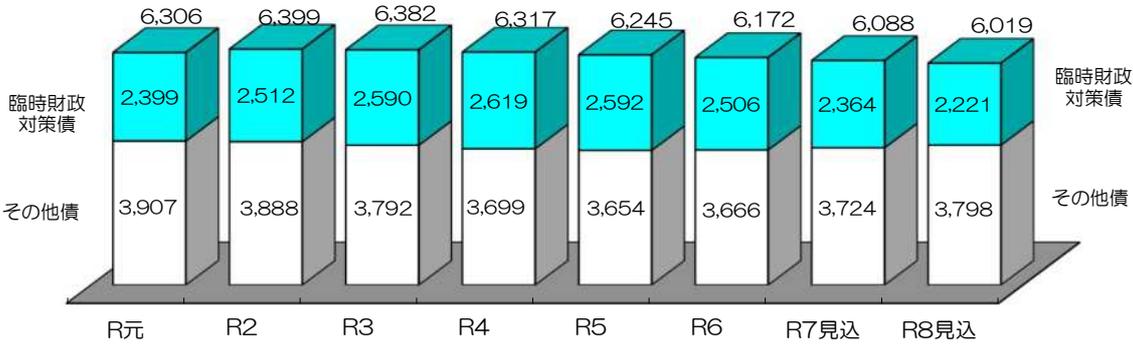
(2) 歳出構成比の推移

単位：%



(3) 市債残高（一般会計）の推移

単位：億円

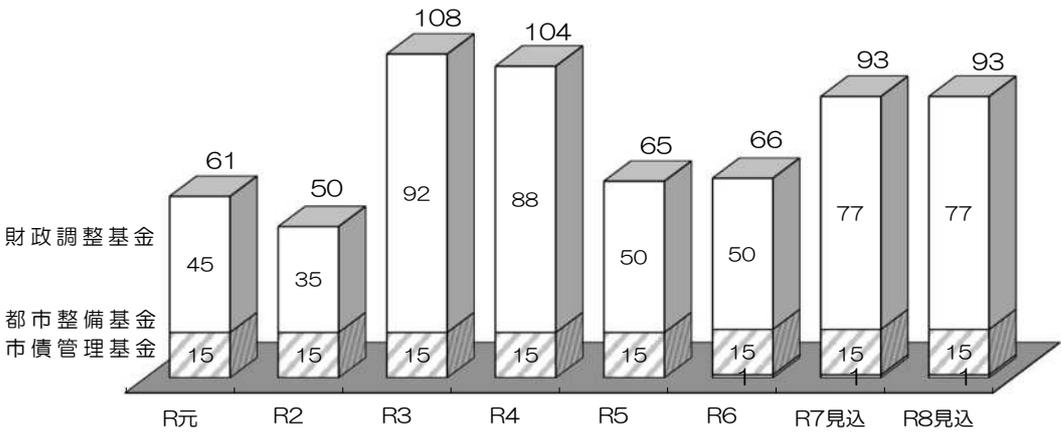


※R7見込、R8見込は、繰越を含んだ決算見込
 ※臨時財政対策債は、地方交付税の振り替え財源。返済にかかる費用が地方交付税で措置される。

臨時財政対策債を除く市債残高は、近年、減少傾向にありましたが、能登半島地震の災害復旧や学校の空調整備を予定していることなどから、令和8年度末にかけては増加する見込みです。

(4) 基金現在高の推移

単位：億円

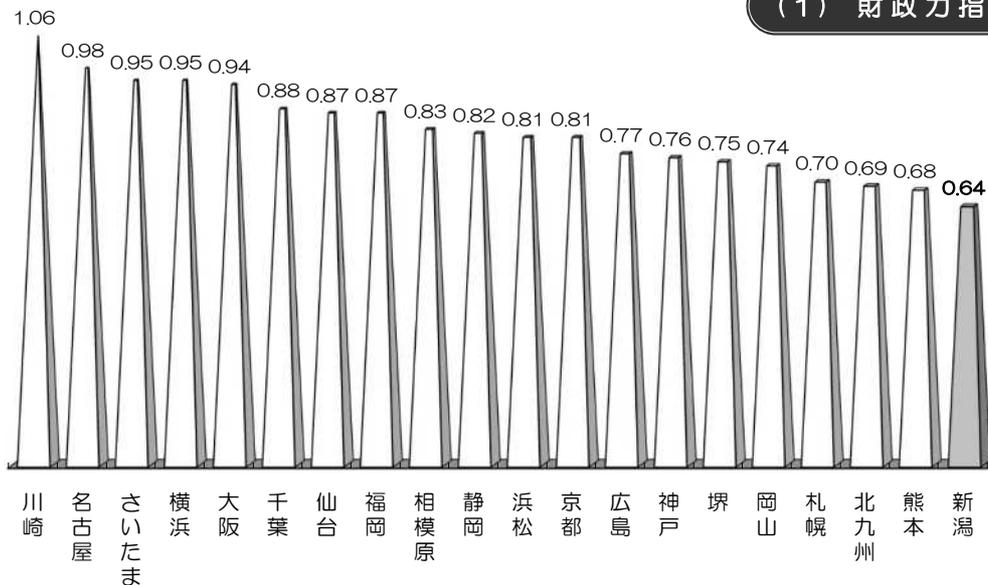


平成30年度以降、基金を取り崩すことなく当初予算を編成しており、令和8年度当初予算編成においても収支均衡を図っています。
 令和2年度には新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和5年度には能登半島地震への対応のために基金の取り崩しを行いました。緊急時に必要な一定水準の確保に努めています。

6 他都市との財政状況の比較（令和6年度普通会計決算）

本市の財政状況を、他の政令市の決算と比較しました。
 指標により大きいほうが良好であったり、逆に小さい数値のほうがより健全であると判定されるものがありますが、以下の比較は左側に位置する団体ほど相対的に良好な財政状況であると言える並びになっています。

(1) 財政力指数

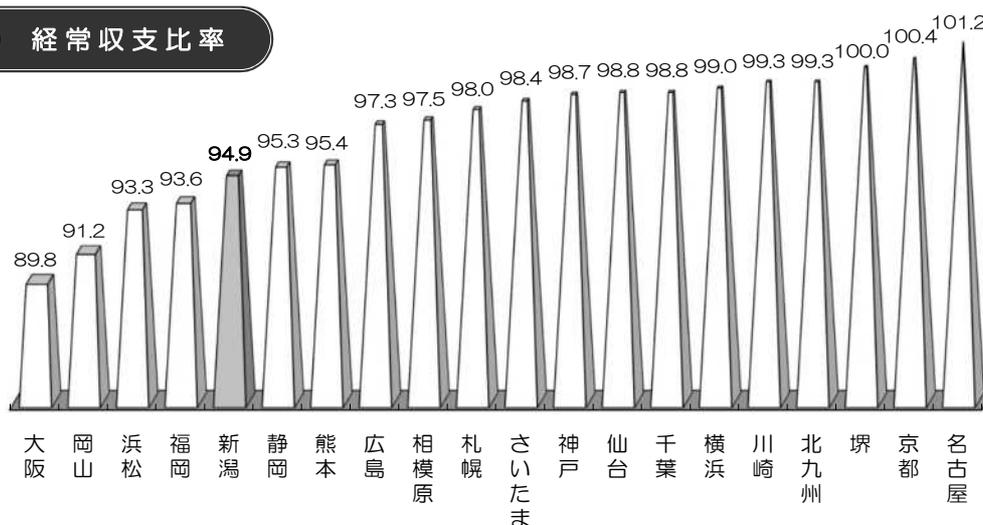


◆ 財政力指数

地方公共団体の財政力を表す指標で、その団体が標準的に収入する市税などの歳入を分子に、その団体が標準的水準で行政を行った場合に要する経費を分母に計算するもので、指数が高いほど財源に余裕があるといえます。

本市は他の政令市に比べ低い水準にあることから、拠点性を高める取り組みの強化を始め、企業誘致や雇用の確保、交流人口の拡大等による地域経済の活性化に積極的に取り組むことにより、安定した税収の確保に努めます。

(2) 経常収支比率

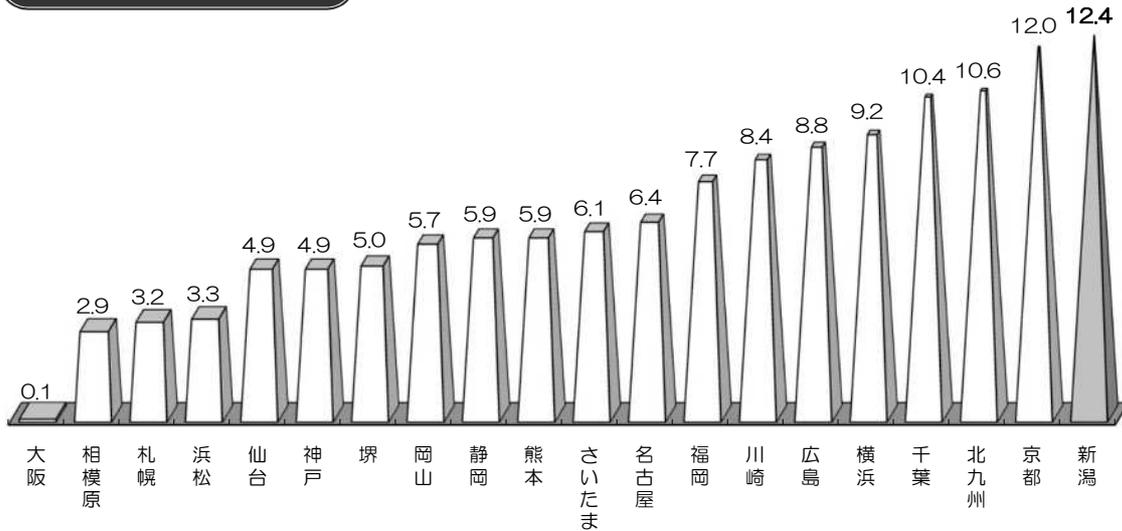


◆ 経常収支比率

財政構造の弾力性を表す指標で、市税などの経常的に歳入される一般財源に対し、人件費、扶助費、公債費などの義務的な経費が、どれだけ占めているか比率で示されています。

本市は他の政令市に比べ良好な位置にあり、より柔軟性があると言えますが、この比率が低いほど臨時的な財政需要に対して柔軟に対応できることから、必要な施策に取り組みながら、経常収支比率のさらなる低減に努めていきます。

(3) 実質公債費比率

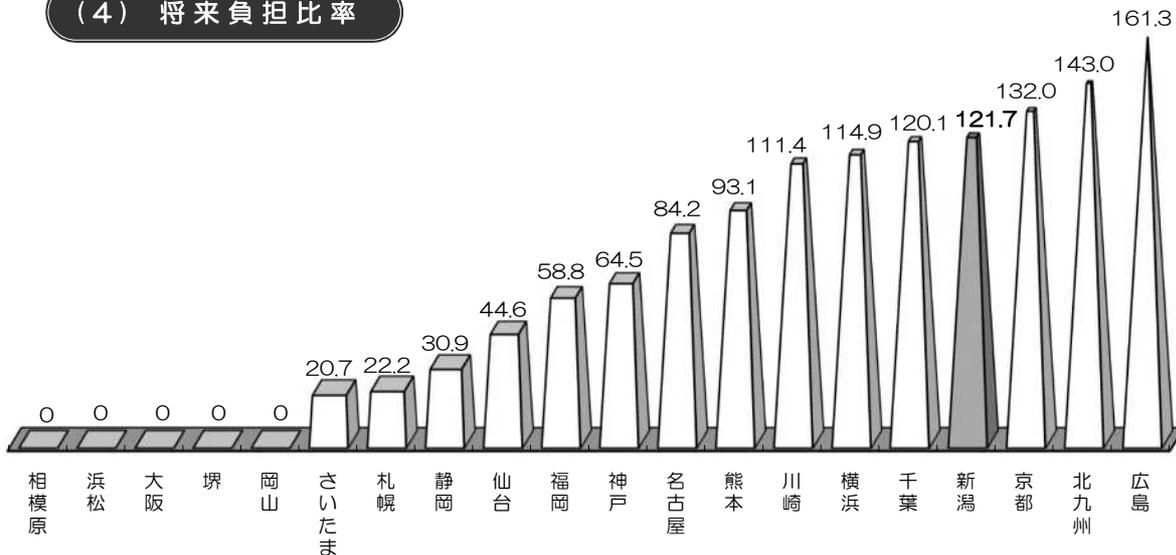


◆ 実質公債費比率

地方公共団体における、公債費による財政負担の度合いを判断する指標で、この数値が「18.0」以上になると総務大臣の許可なしでは市債の発行ができなくなります。

本市は、他の政令市と比べ下位に位置しています。建設事業費の選択と集中や、償還の際に地方交付税措置がある、いわゆる有利な地方債を活用するなど、今後とも、その低減に努めていきます。

(4) 将来負担比率

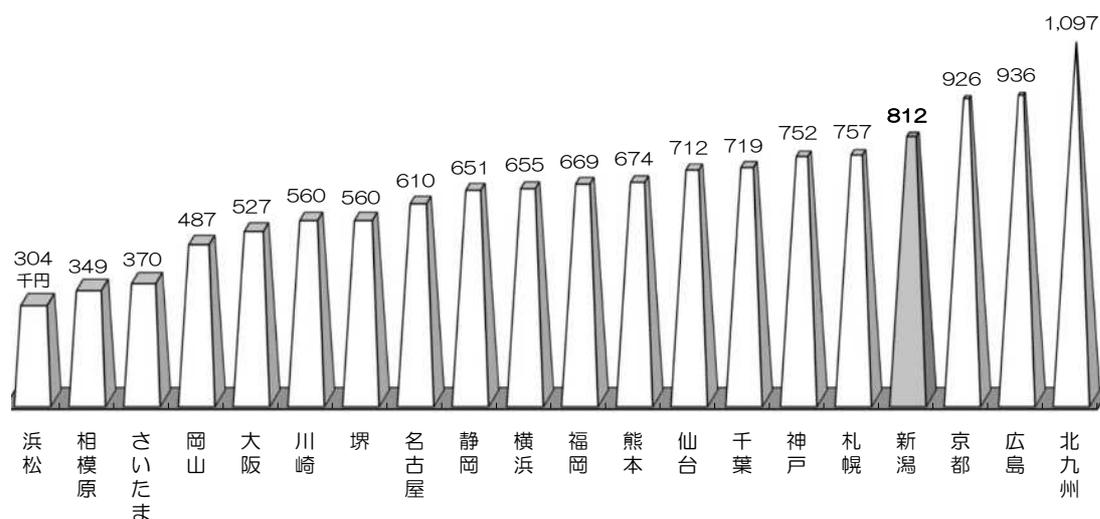


◆ 将来負担比率

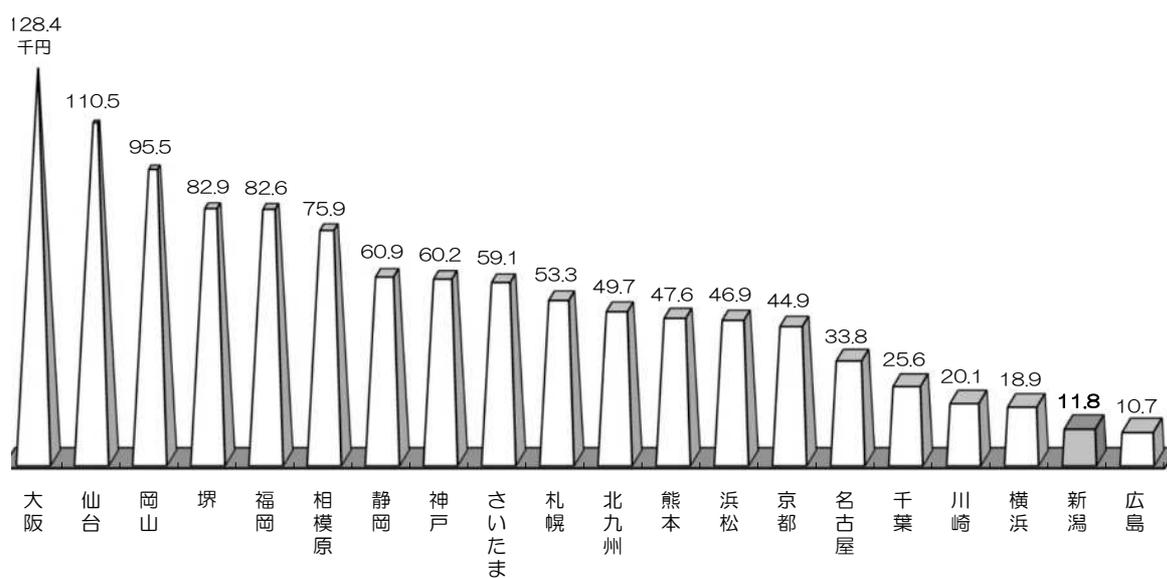
地方公共団体における地方債残高等による将来の財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標で、数値が「400」以上になると財政健全化計画の策定等が必要になります。

本市は、他の政令市と比べ下位に位置しています。数値が高いほど、将来世代に対する負担が大きくなることから、市債残高の縮減に努めています。

(5) 地方債現在高（一人当たり）



(6) 積立金現在高（一人当たり）



一人当たりで見ただけの場合、地方債現在高は、他の政令市と比べ高位に、積立金現在高は、低位に位置しています。

社会情勢の変化に対応した行財政改革に継続して取り組むとともに、建設事業費の選択と集中により地方債の発行を抑制し、安定した財政運営を行っていきます。



田園の恵みを感じながら
心豊かに暮らせる
日本海拠点都市

令和8年2月作成
新潟市 政策企画部 政策調整課
〒951-8550
新潟市中央区学校町通一番町602番地1
電話 025-226-2066
メール seicho@city.niigata.lg.jp